

タイ王国
東南アジア地域気候変動緩和・
適応能力強化プロジェクト
終了時評価報告書

平成 28 年 5 月
(2016 年)

独立行政法人国際協力機構
地球環境部

環境
J R
16-144

タイ王国
東南アジア地域気候変動緩和・
適応能力強化プロジェクト
終了時評価報告書

平成 28 年 5 月
(2016 年)

独立行政法人国際協力機構
地球環境部

目 次

目 次

プロジェクト位置図

写 真

略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

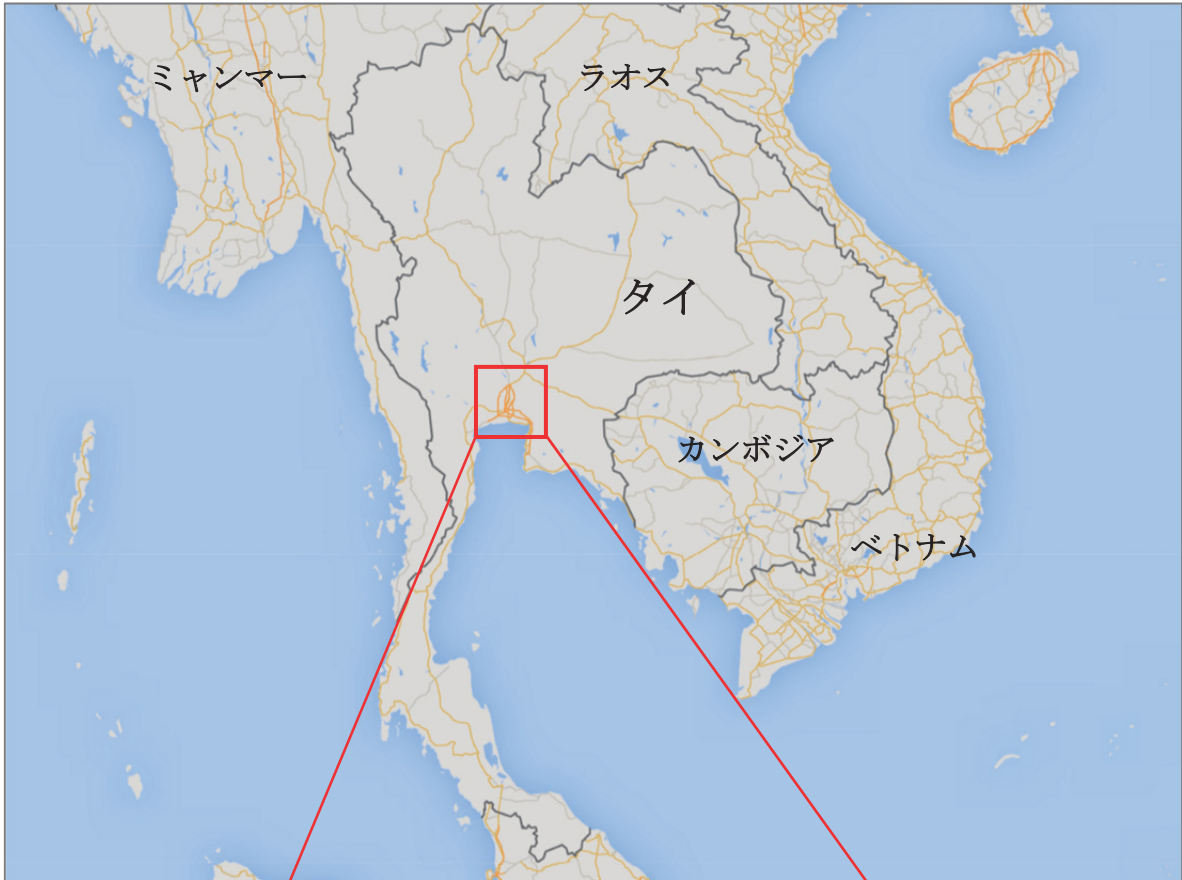
第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 終了時評価調査の背景	1
1-2 終了時評価の手法	1
1-3 調査団構成	2
1-4 調査日程	2
第2章 プロジェクトの概要	5
2-1 プロジェクトの背景	5
2-2 プロジェクトの構成	5
2-3 プロジェクトの実施体制	6
第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス	7
3-1 投入実績	7
3-2 活動の進捗状況	8
3-3 成果の達成状況	12
3-4 プロジェクト目標の達成状況	16
3-5 上位目標の達成見込み	17
3-6 実施プロセス	18
3-7 貢献・阻害要因	18
第4章 5項目評価に基づく評価結果	20
4-1 妥当性：非常に高い	20
4-2 有効性：高い	21
4-3 効率性：中程度	21
4-4 インパクト：高い	22
4-5 持続性：高い	22
4-6 結 論	24
第5章 提言・教訓	25
5-1 提 言	25
5-2 教 訓	25

5-3 団長所感	25
----------	----

付属資料

1. 終了時評価に使用した PDM	29
2. 終了時評価に使用した PO	31
3. 評価グリッド	32
4. 日本側投入実績	47
5. タイ側投入実績	52
6. 研修実施進捗状況	53
7. 主要面談者リスト	55
8. 署名済み協議議事録	57

プロジェクト位置図



プロジェクトサイト：バンコク
タイ政府総合庁舎内
タイ温室効果ガス管理機構（TGO）

バンコク

写 真



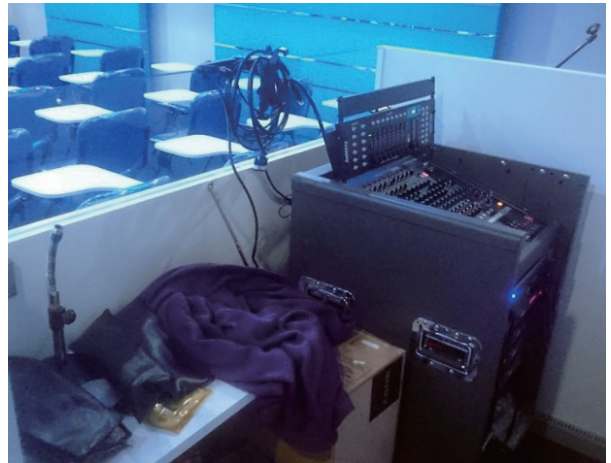
CITCのプロモーション用パネル
撮影日：2016年1月7日/バンコク



研修用の教材（英語/タイ語）
撮影日：2016年1月7日/バンコク



TGO 内に新たに整備された研修室
撮影日：2016年1月7日/バンコク



ストリーミング配信映像の撮影に用いられる機材
撮影日：2016年1月7日/バンコク



80名以上収容可能な研修室
撮影日：2016年1月7日/バンコク



合同評価報告書への署名式
撮影日：2016年1月15日/バンコク

略 語 表

略 語	英 語	日 本 語
AIT	Asian Institute of Technology	アジア工科大学院
APAN	Asia-Pacific Adaptation Network	アジア太平洋地球変動研究ネットワーク
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	東南アジア諸国連合
CDM	Clean Development Mechanism	クリーン開発メカニズム
CITC	Climate Change International Technical and Training Center	気候変動国際研修センター
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit	ドイツ国際協力公社
IGES	Institute for Global Environmental Strategies	地球環境戦略研究機関
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LCRS	Low Carbon and Resilient Society	低炭素でレジリエントな社会開発
LoCARNet	Low Carbon Asia Research Network	低炭素アジア研究ネットワーク
MoC	Memorandum of Cooperation	協力覚書
MONRE	Ministry of Natural Resources and Environment	天然資源・環境省
MRV	Measure, Report and Verification	計測・報告・検証
NAMA	Nationally Appropriate Mitigation Action	国としての適切な緩和行動
NESDB	National Economic and Social Development Board	国家経済社会開発委員会
NESDP	National Economic and Social Development Plan	国家経済社会開発計画
NIES	National Institute for Environmental Studies	国立環境研究所
NMT	National Municipality League of Thailand	タイ国地方自治体協会
OAE	Office of Agricultural Economics	農業協同組合省農業経済局
OECC	Overseas Environmental Cooperation Center, Japan	海外環境協力センター
OECD	Organization for Economic Co-operation and Development	経済協力開発機構
ONEP	Office of Natural Resources and Environment Policy and Planning	天然資源環境政策・計画局

PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operation	プラン・オブ・オペレーション
R/D	Record of Discussion	討議議事録
PSU	Prince of Songkla University	プリンスオブソンクラ大学
SIIT	Sirindhorn International Institute of Technology	タマサート大学シリントン国際工学部
TGO	Thailand Greenhouse Gas Management Organization	タイ国家温室効果ガス管理機構
TICA	Thailand International Cooperation Agency	タイ国際開発協力機構
TNA	Training Needs Assessment	研修ニーズ評価
TTT	Train-the-trainers	指導者育成研修

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：タイ王国	案件名：東南アジア地域気候変動緩和・適応能力強化プロジェクト
分野：環境管理－地球温暖化	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部	協力金額：約 3.3 億円
協力期間	(R/D)：2012 年 12 月 21 日 2013 年 6 月 1 日～ 2016 年 5 月 31 日 (3 年間)
	先方関係機関：タイ国家温室効果ガス管理機構 (TGO) 日本側協力機関：(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル、パシフィックコンサルタンツ (株)、(公財) 地球環境戦略研究機関 (IGES)
	他の関連協力：なし
1-1 協力の背景と概要	
<p>近年、東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations : ASEAN) 開発途上国 (インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ及びベトナム) は急速な経済成長を遂げているが、気候変動の影響に対する脆弱性が高く、気候変動対策 (適応策・緩和策) を効果的に実施するための能力強化に対するニーズが高い。タイ国家温室効果ガス管理機構 (Thailand Greenhouse Gas Management Organization : TGO) は ASEAN 諸国を対象とした「気候変動緩和と低炭素社会」と題する地域会合を 2011 年 8 月に開催し、ASEAN 諸国において気候変動対策を進めるうえでの共通課題について協議を行った。その結果、ASEAN 諸国における共通支援ニーズに基づく、ワンストップ研修センターとしての気候変動国際研修センター (Climate Change International Technical and Training Center : CITC) の重要性が確認された。</p> <p>このような背景により、タイ王国 (以下、「タイ」と記す) のみならず他の ASEAN 諸国の気候変動の緩和 / 適応に関する人材育成を行うため、タイは CITC 設立の支援をわが国に要請した。これを受け、本プロジェクトは、2013 年 6 月から 2016 年 5 月までの 3 年間で実施しているものであり、今次調査団は、協力期間の終了を 4 カ月後に控えた段階で、案件の終了時評価を行う。</p>	
1-2 協力内容	
(1) 上位目標	
気候変動国際研修センター (CITC) が ASEAN 地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤 (プラットフォーム) として機能する。	
(2) プロジェクト目標	
タイ国内及び ASEAN 開発途上国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の気候変動国際研修センター (CITC) のフォーカルポイントとしての能力が強化される。	
(3) 成果	
成果 1 : TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。	
成果 2 : TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。	

成果3：緩和/適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。

(4) 投入（評価時点）

日本側：総投入額約 3.3 億円

- ・日本人専門家：2013年7月から長期専門家1名、短期専門家9名が派遣されている。短期専門家の日本及びタイでの業務の合計は 53.6MM（2015年10月末まで）。短期専門家の担当分野：①総括/気候変動対策、②低炭素開発1、③低炭素開発2/緩和策2/研修計画3、④温室効果ガス（Greenhouse Gas：GHG）インベントリ、⑤適応策/緩和策1、⑥研修計画1、⑦研修計画2/研修マネジメント2、⑧業務調整/研修マネジメント1、⑨ビジネスプラン作成
- ・投入実績機材供与：調達金額合計 29万8,000パーツ（約102万2,736円¹）/スキャナー1台、ノートPC2台、LCDプロジェクター1台、電子白板1台、VDCレコーダー1台、テレビモニター2台
- ・本邦研修：終了時評価時点で3回実施され、延べ27名が参加した。
- ・現地活動費：1,361万7,000パーツ（約4,673万3,544円）（運営費用、謝金、旅費、会議費等）

タイ側：

- ・カウンターパート（Counterpart：C/P）配置：19名〔プロジェクト・ディレクター1名、プロジェクト・マネジャー1名、C/P職員17名、うち能力開発・アウトリーチオフィス（以下、「CBチーム」）正規職員6名〕が配置されている。
- ・ローカルコスト負担：2013年10月から2015年9月までのTGO及びCITCの予算執行額は、TGOが2億5,846万909パーツ（約8億8,700万円）、CITCが1,962万91パーツ（約6,700万円）となっている。

2. 評価調査団の概要

調査者	担当分野	氏名	所属
日本側	団長	池上 宇啓	独立行政法人国際協力機構 地球環境部 気候変動対策室兼環境管理グループ 企画役
	気候変動対策	川西 正人	独立行政法人国際協力機構 国際協力専門員
	協力企画	古川 真理子	独立行政法人国際協力機構 地球環境部 環境管理 第一チーム
	評価分析	岡野 鉄平	株式会社アイコンズ コンサルタント
タイ側	Mr. Pichitpan Satachandra		タイ国際開発協力機構 開発協力員
調査期間：2016年1月4日～1月15日			評価種類：終了時評価調査

¹ 1パーツ= 3.432円（JICA 統制レート 2015年12月）

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 投入・活動実績

プロジェクト活動はプラン・オブ・オペレーション (Plan of Operation : PO) に沿って実施されており、プロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) において計画された成果 1 から成果 3 に係る活動はおおむね完了している。成果 1 に関して、CITC の組織図、活動計画、戦略、サービス内容はプロジェクトの支援の下で作成された CITC の文書に記載されている。2015 年 2 月に開催された合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee : JCC) においては、CITC の 5 カ年活動計画である最新版のビジネスプランが承認された。また、四つのクラスターの研修カリキュラムが作成され、CITC のウェブサイトが一般公開されている。また、成果 2 については、緩和、適応に関する研修が実施され、延べ 426 名が研修に参加した。また、指導者育成研修 (Train-the-trainers : TTT) には延べ 107 名が参加している。一方、C/P の能力強化においても、研修管理に係る技術と知識の着実な向上が確認された。成果 3 に関しては、ASEAN 向けの三つのコースにおいて、研修ニーズ評価、カリキュラム作成、教材準備が実施された。また、ASEAN 向けのワークショップがこれまでに 2 回開催されている。

(2) 成果の達成状況

成果 1 : TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。

成果 1 の指標 1-1、1-2 は終了時評価時点で達成されており、指標 1-3 はプロジェクト終了時までには達成される見込みである。指標 1-1 については、CITC の組織図、活動計画、戦略、サービス内容、収益計画が CITC の 5 カ年計画である CITC ビジネスプラン (2015 年～2019 年) に記載されており、指標は達成されている。また、指標 1-2 については、CITC のウェブサイトが一般公開され、情報伝達及び知識共有の手段として活用されていることから、知識プラットフォームの構築がプロジェクトの計画どおりに実施されたと判断できるが、ウェブサイトのコンテンツは今後もさらに充実されていく予定である。一方、指標 1-3 については表-6 にまとめたとおり、研修教材、もしくはプレゼンテーション資料が七つのコースについて作成済みであり、ASEAN 関係者向けの三つのコースについて作成中である。これらの研修教材は 2016 年 2 月までに完了する予定となっている。

成果 2 : TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

成果 2 に設定された二つの指標は終了時評価時点で既に達成されている。指標 2-1 については、四つの研修コースの受講者のうち、特に優秀な人材を対象に TTT を実施し、合計 107 名の研修指導員候補が育成された。各コースの指導員の内訳は、GHG インベントリ管理コースでは 19 名、低炭素でレジリエントな社会開発コースでは 33 名、気候変動経済コースでは 13 名、緩和メカニズムでは 42 名である。これにより、十分な人数の研修指導員候補者が育成されたと考えられる。また、指標 2-2 については、プロジェクトの直接的な支援によって実施された「低炭素でレジリエントな社会開発コース」において、プロジェクトが質問調査を行った結果、受講者の 70% が研修の質に満足した (80% 以上の評価点) と回答しており、指標の数値目標を達成していると判断できる。

成果3：緩和/適応に関する研修プログラムがASEAN諸国のなかで共有される。

指標3-1は、プロジェクト終了時まで達成される見込みである。ASEAN関係者向けのワークショップの第1回目が2014年5月8日～9日に、第2回目が2015年6月22日～24日に実施された。第3回目のワークショップは2016年3月に実施される予定である。また、プロジェクトはASEAN関係者向けの研修を2016年2月～3月に実施する計画となっている。

(3) プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：

タイ国内及びASEAN開発途上国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGOの気候変動国際研修センター（CITC）のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

プロジェクト目標として設定されているCITCのフォーカルポイントとしての能力強化のためにはさらなる向上の余地があるものの、TGOの強いオーナーシップと積極的なプロジェクト活動への参加により、既に達成されていると考えられる。

指標1) について、CITCのための研修管理、ロジスティクス、ナレッジシステムのための仕組みが、プロジェクトの支援の下で既に構築されている。各研修の準備段階においては、セミナー、ワークショップ、質問票調査を通じた研修ニーズ評価（Training Needs Assessment：TNA）が実施され、それらの結果がCITC、タイ外部専門家によるカリキュラム策定と研修教材準備に活用された。カリキュラムと教材については、ピアレビュー会議による内容の研究も行われている。研修管理の一連のプロセスに係るモデルが確立されており、必要な情報、文書や書式、運営管理ツール、データベース等がCITCの内部に蓄積されている。同時に、CBチーム職員の能力についても研修実施の各過程での積極的な関与を促すことによって、着実に向上している。

指標2) については、国際機関、研究機関、大学など、気候変動に関連する国内外の関係機関とのネットワーク構築が大きく進展した。TGO職員とJICA専門家は気候変動関連の国際会議やタイ国内外における二国間会合に積極的に参加し、ネットワーク強化のための取り組みを継続的に実施している。ASEAN関係者向けの研修を継続的に実施していくうえでは、ASEAN諸国の関連機関とのさらなるネットワーク強化に向けた取り組みが依然として重要であると考えられる。

(4) 上位目標の達成状況

上位目標：

気候変動国際研修センター（CITC）がASEAN地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤（プラットフォーム）として機能する。

CITCによりASEAN向け研修やセミナーが継続的に実施されれば、プロジェクト終了後3年から5年以内に、上位目標が達成される見込みは十分にあると考えられる。ただしCITCの研修管理能力については、さらなる向上の余地があり、今後も能力強化に向けた取り組みを継続的に実施していくことが求められる。プロジェクトの支援の下、タイ国内向けの研修実施のための仕組みとネットワークが構築されたが、気候変動の世界的な潮流に適時に対応するためのCITCの能力は、さらなる向上が求められる。また、CITCは、実施した研修のモニタリング・評価を通じたサービス品質の向上と参加者の満足度の向上への取り組みを重要

視しており、ASEAN 諸国のそれぞれのニーズに合致した研修を提供する努力は、今後より一層積極的に取り組まれる見込みである。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：非常に高い

本プロジェクトは、タイの気候変動緩和・適応に関する関係者の能力強化を目的としている。プロジェクトの内容とアプローチは、タイの国家政策、開発ニーズと合致しており、ASEAN 地域の開発方針、わが国の対タイ協力方針とも整合していることから、プロジェクトの妥当性は「非常に高い」と評価した。

(2) 有効性：高い

プロジェクトが目標とする CITC の能力強化は、成果 1 から成果 3 の達成により、当初プロジェクトが計画していた水準で達成されている。国際的な潮流に合わせたカリキュラム開発や、ASEAN 諸国を対象とした研修の実施に関する CITC 職員の能力はさらなる向上の余地があるものの、プロジェクト目標の指標は既に達成されており、プロジェクトによる支援の成果が十分に確認されたことから、有効性は「高い」と評価した。

(3) 効率性：中程度

日本側投入（専門家派遣、機材の提供、本邦研修の実施、プロジェクト活動費）、タイ側投入（C/P 職員の配置、専門家執務室の提供、プロジェクト活動費）ともに、おおむね適切に実施され、各成果の達成に貢献した。しかしながら、タイ側関係者の一部からは日本人専門家の派遣タイミングについて改善の指摘がなされた。また、タイ側が配置した C/P 職員のうち、直接プロジェクト活動に参加した職員数が限られたことが、技術移転の効率性を高めるうえでの課題として挙げられる。上記のとおり、日本側、タイ側双方の人員配置において、改善すべき課題がみられたことから効率性は「中程度」と評価した。

(4) インパクト：高い

CITC が ASEAN 向けの研修を継続的に実施し、CB チーム職員が国際的な研修の経験を蓄積していくことで、CITC の「ASEAN 諸国を対象とした研修センター」としての役割が広域に認知されることが期待される。上位目標の見込みが十分にあると考えられるため、インパクトは「高い」と評価した。

(5) 持続性：高い

プロジェクト終了後にも十分な人材配置と予算配分が求められ、また C/P の継続的な能力強化に対する取り組みが必要となるが、プロジェクトは既存の国家政策や地域政策と整合しており、C/P の強いオーナーシップの下で積極的な活動の展開が継続されることが見込まれるため、持続性は「高い」と評価した。

3-3 効果発現に貢献した要因

タイ側の強力なオーナーシップがプロジェクトの円滑な実施に貢献している。TGO はプロジェ

クト活動以外でも、研修施設の改修、広報・PR 資料の作成、グッズ等のデザインと印刷、国内のワークショップ開催に係る諸経費、タイ国外のイベントへの参加、ネットワーキング活動に係る諸経費、eラーニング構築、一部研修教材作成等などの予算を確保しており、CITC の活動に係るオーナーシップは非常に高いといえる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

人材配置と能力開発は技術協力の最も重要な投入の一つであるが、本プロジェクトの直接的な C/P である CB チームの職員数は限られており、プロジェクト活動実施のうえでの制約要因となった。

3-5 結論

本プロジェクトは、タイ国内、及び ASEAN 諸国関係者のニーズに応じた CITC のフォーカルポイントとしての TGO の能力強化をめざすものである。プロジェクト、タイの国家政策、地域政策、及び日本政府の援助方針に沿ったものであり、プロジェクトの妥当性は「非常に高い」と評価される。また、CITC のフォーカルポイントとしての TGO の能力強化については、プロジェクト目標が達成されているものの、さらなる継続的な改善の余地があるため有効性は「高い」と判断された。一方、プロジェクトへの投入、特に人材配置に関していくつかの課題が観察されたため、効率性は「中程度」と評価される。C/P の継続的な努力により上位目標の達成が十分に見込まれることからプロジェクトのインパクトは「高い」と評価された。持続性については、十分な人や予算配分と C/P の継続的な能力強化が必要ではあるものの、プロジェクトは既存の政策と整合しており、タイ側による継続的な活動の展開が期待されることから「高い」と判断された。

3-6 提言

(1) CB チーム職員のさらなる能力強化

C/P はプロジェクト終了後も ASEAN 諸国向けの研修コース実施を含め、研修実施活動をさらに拡大させることについて高い意欲をもっている。今後、タイや ASEAN 諸国の研修ニーズを調査し、研修コースの具体的な計画に反映し、適正な予算や人材配置の下で研修を実施することを計画している。以上の実現に向けた CB チーム職員のさらなる能力強化のために、以下の提言を行った。

- ① 気候変動分野の国際的潮流に沿った新たな研修課題に対応した研修カリキュラムを開発する。
- ② 社会経済的状況や環境の多様性を考慮した研修ニーズ評価を含めた ASEAN 諸国向けの研修管理について、さらなる能力向上を図る。
- ③ 研修コースのモニタリングと評価によって、研修の質と研修員の満足度向上を図る。

(2) ネットワークのさらなる拡大

ネットワーキングのプラットフォームとしての役割を強化するため、継続的にタイ国内外のさまざまな関係機関とのネットワークを拡大することが強く推奨される。

3-7 教訓

2010年から2012年にかけて実施した「タイ王国温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」は、2007年に新設されたTGOとJICAの協力関係の下で実施された。同プロジェクトに引き続いて、2013年6月より東南アジア地域における気候変動緩和と適応の能力開発を目的とした本プロジェクトが実施されている。C/PであるTGOは、これら二つのフェーズを通じて、気候変動に関するダイナミックな環境下での幅広い関係者の多様なニーズに対応を続けており、それにより着実に発展を遂げてきている。本プロジェクトは、C/Pの強い意志と、JICA専門家の尽力や専門性により、TGOと関係者の能力向上に多大な貢献をしてきた。

これらは、JICAの技術支援の下、C/Pのリーダーシップ、とりわけ継続的な能力向上に向けた高い志と、品質保証と顧客満足へのこだわりによって、C/Pのビジョンとミッションの大部分が具現化された事例といえる。このような、技術支援の実施における定性的属性の重要性が本調査において確認されている。C/P機関の哲学と特性は、能力開発に向けた協力計画の策定と事業実施を検討するうえで重要な要素の一つであり、他の類似案件にも適用可能な教訓である。

Summary of the Results of the Evaluation Survey

1. Outline of the Project	
Country: The Kingdom of Thailand	Project Title: The Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation / Adaptation in the Southeast Asia Region
Issue Sector :Environmental Management- Global Warming	Cooperation Scheme: Technical Cooperation
Division in Charge: Global environment Department	Total Cost: Approximately 330 Million Japanese Yen
Period of Cooperation: (R/D): 1 June 2013 to 31 May 2016	Partner Country’s Implementing Organization : Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
	Implementing Organization : Oriental Consultant Global, Pacific Consultants Co.,LTD., Institute for Global Environmental Strategies
<p>1-1 Background of the Project</p> <p>The developing countries in Southeast Asia Region, namely Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Thailand and Vietnam (Association of South-East Asian Nations: ASEAN developing countries), face challenges of climate change. Despite their rapid economic growth, ASEAN developing countries still significantly require capacity development and assistance to address climate change and implement related activities effectively and in a timely manner. Recognizing the need to further develop capacity of Thailand and ASEAN developing countries to collectively address climate change at the regional and international levels, TGO proposed to establish the Climate Change International Technical and Training Center (CITC) for capacity development on climate change as a “one stop training center” for ASEAN and other interested countries. The proposal and its importance were discussed and acknowledged among representatives of ASEAN developing countries at the “ASEAN Meeting on Greenhouse Gas (GHG) Mitigation and Low Carbon Society (LCS)” in August 2011 in Thailand.</p> <p>With this background, Thailand requested Japan for technical assistance to enhance CITC in order for the capacity development on climate change mitigation/adaptation not only for Thailand but also for other ASEAN and the Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation / Adaptation in the Southeast Asia Region (hereinafter referred to as “the Project”) was launched in June 2013. Considering the fact that the Project is to be completed in May 2016, Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a terminal evaluation team and conducted the terminal evaluation survey from 3 to 15 January 2016.</p>	
<p>1-2 Project Overview</p> <p>(1) Overall Goal:</p> <p>The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.</p> <p>(2) Project Purpose:</p> <p>Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing counties.</p>	

(3) Outputs:

Output 1: CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations.

Output 2: Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.

Output 3: Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.

(4) Input (As of the terminal evaluation)Japanese Side

Total budget : Approximately 330 million Japanese Yen

- Japanese Experts: (1) Long-term Expert has been dispatched since July 2013 and 9 Short-term Experts have been dispatched (in total 53.6 MM as of the end of October 2015). The expertise of the short term experts are Team Leader/Climate Change Policy, Low Carbon Development 1, Low Carbon Development 2/ Mitigation Measures 2/ Curriculum Development 3, GHG Inventory, Adaptation Measures / Mitigation Measures 1, Curriculum Development 1, Training Management 2 / Curriculum Development 2, Administrator / Training Management 1, Business Plan
- Project operational cost: In total 13,617,000 THB (Approximately 46,733,544 JPY / As of the end of December 2015)
- Equipment: 298,000 THB (Approximately 1,022,736 JPY / As of the end of December 2015) for Scanner 1 pc, Notebook PC 2 pcs, LCD Projector 1pc, Electric active board 1 pc, VDC Recorder 1pc, TV Monitor 2 pcs.
- Training in Japan: The total number of the counterpart personnel having participated in training in Japan is 27 persons.

Thai Side

- Counterparts:19 persons (The Project Director, the Project Manager and 17 counterpart personnel, of which mainly 6 CITC personnel have been assigned for the Project
- Local cost:Budgets for TGO and CITC (amount as actually spent) from October 2014 to September 2015 are 258,460,909 THB (Approximately 887,037,840 JPY) for TGO and 19,620,091 THB (Approximately 67,336,152 JPY) for CITC.

2. Evaluation Team

Members	Designation	Name	Organization
Japanese Side	Mr. Takahiro Ikenoue	Leader	Acting Director, Office for Climate Change and Environmental Management Group, Global Environment Department, JICA
	Dr. Masato Kawanishi	Climate Change	Senior Advisor, JICA
	Ms. Mariko Furukawa	Evaluation Planning	Environmental Management Team 1, Global Environment Department, JICA
	Mr. Teppei Okano	Evaluation Analysis	Consultant, Icons Inc.
Thai Side	Mr. Pichitpan Satachandra	Development Cooperation Officer, Thailand International Cooperation Agency (TICA)	
Period of evaluation: 4 January 2016 to 15 January 2016			Type of Evaluation : Terminal Evaluation

¹ THB 1 = JPY 3.432 / JICA Rate, December 2015

3. Results of Evaluation

3-1 Verification of Achievement

(1) Progress of Activities

The activities have been conducted according to the PO, and most of the activities related to Outputs 1 to 3 have been carried out and completed as planned in the PDM. As to the Output 1, the structure of the CITC, action plan, strategy, service contents are stipulated in the document developed by the Project. Training curriculums for 4 clusters have been developed and a website of the CITC was also launched as a platform for information dissemination and knowledge sharing. Regarding the Output 2, training of Mitigation / Adaptation has been conducted, and in total 426 people participated, while 107 trainers have been trained by the Train-the-Trainers (TTT). The Capacity Building and Outreach Office has been involved in the process of preparation, implementation and evaluation of the training and their skills and knowledge have been improved through the process. About the Output 3, Training Needs Assessment (TNA), curriculum development and training material preparation have been initiated for 3 training courses for ASEAN countries. The training will be conducted in February and March 2016.

(2) Level of the achievement of Outputs

Output 1: CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations

Indicators 1-1 and 1-2 of the Output 1 have been achieved by the time of terminal evaluation, and Indicator 1-3 is expected to be achieved by the end of the Project. Regarding Indicator 1-1, the structure of CITC, action plan, strategy, service contents and profit planning are stated in the CITC business plan: 5 years plan (2015 – 2019). Indicator 1-2 has been achieved since a website of CITC was launched by TGO for the public as an information dissemination tool. The contents of the website are expected to be improved further. As to Indicator 1-3, training material and/or the presentation document are developed for 7 courses, and under revision for 3 courses.

Output 2: Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.

Both Indicators have been achieved by the time of the terminal evaluation. Concerning the Indicator 2-1, 107 trainers has been trained by TTT for 4 courses: 19 trainers for GHG Inventory Management course, 33 trainers for Low Carbon and Resilient Society Development course, 13 trainers for Climate Change Economics course and 42 trainers for Mitigation Mechanism course. Through the implementation of TTT, a sufficient number of candidate trainers have been developed. As for the Indicator 2-2, a level of satisfaction of the trainees for Low Carbon and Resilient Society Development, which was implemented under the assistance by the Project, is high enough to achieve the target number.

Output 3: Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.

Indicator 3-1 is expected to be achieved at the time of terminal evaluation. Workshops for ASEAN stakeholder were held in 8 to 9 May 2014 (1st Workshop) and 22 to 24 June 2015 (2nd Workshop). The 3rd Workshop will be held in March 2016. The Project also plans to provide training for ASEAN stakeholder in February and March 2016.

(3) Level of the achievement of Project Purpose

Project Purpose: Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing counties.

The enhancement of the capacities of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, has been achieved, with room for further continuous improvement, with strong ownership and active involvement.

As to Indicator 1), the system of training management, knowledge and logistics are established by the assistance of the Project. In the preparation stage of training, TNA is carried out through seminars, workshops or questionnaire surveys. Curriculum and training materials are developed by the CITC and/or external experts on the basis of the needs assessment. Peer review for the curriculum is also conducted. The model of the whole process of the training management is established. The necessary information, documents, management tools, format and database are accumulated in the CITC. The capacity of the CITC staff has also been improved through the active involvement in the process of training implementation.

For the attainment of Indicator 2), networking among concerned bodies, such as national/ international organizations, research institutes and universities, has been in great progress for the implementation of training. TGO and JICA experts attended conferences on climate change and bilateral meetings in/outside of Thailand to strengthen the network.

(4) Level of the achievement of Overall Goal

Overall Goal: The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.

Necessary and important steps are being taken by the CITC with a positive prospect for Indicator 1) to be achieved several years after the completion of the Project if the CITC continues regional training and seminars for ASEAN countries. As mentioned in the previous section, regarding the capacity of the CITC, there is room for further continuous improvement to carry out training for ASEAN stakeholders. Systems for training management and foundation of network have been established for both in and outside of Thailand. However, it is challenging to meet the dynamic and evolving needs concerning climate change. In addition, the CITC has not accumulated enough experiences on the preparation and implementation of training in response to various needs of ASEAN stakeholders. With the support of the Project, the CITC gives emphasis to quality assurance and customer satisfaction for monitoring and evaluation for training courses, and it will be continued with even more efforts to meet the distinctive needs of the respective ASEAN countries.

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance : Very High

The Project is intended to develop the capacity on Mitigation / Adaptation for climate change in the Southeast Asia Region. The Project is highly consistent with the national policy and development needs of Thailand. The Project is also consistent with the regional policy and Japan's cooperation policy for Thailand. Thus the relevance of the Project is evaluated as "Very High".

(2) Effectiveness : High

The enhancement of the capacity of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, have been achieved by the attaining of Output 1 to Output 3 at a level that the project had been originally planned. Although there is room for further continuous improvement in the capacity of CITC staff on the development of curriculum to meet the international trends and the implementation of training programs for and ASEAN

countries, the Indicators of the Project Purpose have already been achieved. Therefore the efficacy of the Project is evaluated as “High”.

(3) Efficiency : Fair

For the achievement of outputs, the inputs by Japanese side (Experts, Equipment, Training in Japan and Local cost) and Thai sides (Counterparts, Local cost, facility and equipment) are generally adequate. However, further effort was suggested by Thai side to set the timing of the dispatch of JICA experts in a more adequate manner. Also the number of C/P staff of the Capacity Building and Outreach Office is limited and it was deemed as a inhibiting factor on the effective technology transfer. Since there were some issue to be overcome on the human resource allocation, the effectiveness of the Project is evaluated as “Fair”.

(4) Impact : High

Further accumulation of experiences of the implementation of training is expected to enhance the function and recognition of the CITC as a training center on climate change in the ASEAN region. Since the prospect for the achievement of the Overall Goal is high with the continuous implementation by the CITC of regional training and seminars for ASEAN countries, the Impact of the Project is evaluated as “High”.

(5) Sustainability : High

Although sufficient human resources allocation and budget allocation are required even after the completion of the project and further efforts are required for continued capacity building of the C/P, the project is consistent with the existing national policies and regional policy and CITC is expected to continue their activities under the strong ownership. Thus the Sustainability of the Project is evaluated as “High”.

(6) Conclusion

The Project has been carried out in Thailand for the purpose of enhancing capacity of TGO as focal point of CITC in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries. The relevance of the Project is evaluated to be very high, since the Project is highly consistent with the Thai national policy, the regional policy, and the assistance policy of Japanese Government. The effectiveness is rated to be high because the enhancement of capacity of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, has been achieved, with room for further continuous improvement. The efficiency of the Project is rated to be fair because there were some issues to be overcome regarding input of human resource to the Project. The impact of the Project is considered to be high, given the high prospect on achievement of the indicator for overall goal, “Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC”. The sustainability of the Project is rated to be high because the Project has already been aligned with the existing policies, while for the financial, technical and organizational aspects of sustainability, adequate human and financial resource allocation and continuous capacity building of C/P are required.

3-3 Contributing Factors

Strong ownership of the Thai side for CITC should be noted. Budget has been secured for renovating the training facilities within the TGO, preparing publicity and PR materials, designing and printing of PR goods, holding workshops, attending events outside Thailand, engaging in networking activities, configuring e-learning system, developing training materials and so on.

3-4 Constraining Factors

While human resources planning and development are one of the most important inputs to technical cooperation, the number of staff of the Capacity Building and Outreach Office is limited.

3-5 Conclusion

The Project has been carried out in Thailand for the purpose of enhancing capacity of TGO as focal point of CITC in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries. The relevance of the Project is evaluated to be very high, since the Project is highly consistent with the Thai national policy, the regional policy, and the assistance policy of Japanese Government. The effectiveness is rated to be high because the enhancement of capacity of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, has been achieved, with room for further continuous improvement. The efficiency of the Project is rated to be fair because there were some issues to be overcome regarding input of human resource to the Project. The impact of the Project is considered to be high, given the high prospect on achievement of the indicator for overall goal, “Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC”. The sustainability of the Project is rated to be high because the Project has already been aligned with the existing policies, while for the financial, technical and organizational aspects of sustainability, adequate human and financial resource allocation and continuous capacity building of C/P are required.

3-6 Recommendations

(1) Further Capacity Development of CITC Staff on Specific Issues

Thai side has strong willingness to expand CITC’s training activities including training courses for ASEAN countries even after the completion of the Project. They are planning to formulate concrete plan of future training courses based on careful examination of growing training needs both in Thailand and ASEAN countries, and to implement these training courses with appropriately allocated staff and budget.

For obtaining greater output from future training courses as above-mentioned, further capacity development of CITC staff for dealing with issues listed below is recommended.

- 1) Development of training curriculum by proactively responding to newly emerging training needs in association with international trend of climate change issues.
- 2) Further improvement in managing training courses for ASEAN countries, including training needs assessment with consideration to diversity of socio-economic and environmental conditions of ASEAN countries.
- 3) Quality assurance and customer satisfaction for monitoring and evaluation of training courses.

(2) Further Expansion of Network

It is highly recommended that the CITC will continuously expand its network with various concerned organizations in/outside of Thailand in order to strengthen its function as networking platform.

3-7 Lessons learned

TGO was newly established in 2007, and the “Project for Capacity Development and Institutional Strengthening for GHG Mitigation in the Kingdom of Thailand” was conducted under the cooperation between TGO and JICA from 2010 to 2012. This was followed by the current Project, which has been implemented since 2013 with the aim of capacity development of climate change Mitigation and Adaptation in the Southeast

Asia region. Throughout these two phases of cooperation, TGO has been making solid progress by responding to the evolving needs of its wide range of stakeholders under the dynamic circumstances of the global and national agenda on climate change. With the strong willingness of the C/P to learn, in combination of the dedication and expertise of JICA experts, the technical cooperation has made significant contributions to the enhancement of the capacities of TGO and its stakeholders.

This is a case where the vision and mission of the C/P have been materialized to a great extent with technical assistance of JICA. This has been possible with the leadership of the C/P organization; their aspirations for continuous improvement; and a strong emphasis on quality assurance and customer satisfaction, among others. The importance of these qualitative attributes for the successful implementation of technical assistance is thus affirmed during this evaluation. This is applicable to other cases: The philosophy and the associated attributes of a C/P organization are among the key points to examine in the formulation and implementation of cooperation for capacity development.

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 終了時評価調査の背景

2011年4月にタイ王国（以下、「タイ」と記す）において、東南アジア地域気候変動緩和・適応能力強化プロジェクト（以下、「プロジェクト」）が開始されてから約2年8カ月が経過した。同プロジェクトは2016年5月に終了予定であることから、独立行政法人国際協力機構（JICA）は終了時評価調査団を派遣し、2016年1月4日～1月15日の期間で終了時評価調査を実施した。

1-2 終了時評価の手法

1-2-1 評価プロセス

本終了時評価は改訂版プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）version 1 並びにプラン・オブ・オペレーション（PO）に基づき実施された。また、2011年5月発行の「新JICA事業評価ガイドラン」に沿い、以下の方法にて評価を行った。

- ① これまで実施した協力活動について、投入と成果、PDMで設定された指標に基づいた成果、及びプロジェクト目標、上位目標の達成度合いを確認する。
- ② プロジェクトの設計、実施プロセス等、プロジェクトの実施に貢献した要因、並びに阻害した要因について分析する。
- ③ 評価5項目の観点から妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性の評価を行う。
- ④ 気候変動緩和・適応能力強化に向けたプロジェクト支援のアウトカムを分析する。
- ⑤ プロジェクト関係者への提言、及び類似の技術協力プロジェクトのための教訓を抽出する。
- ⑥ 合同評価団により終了時評価報告書を作成する。

1-2-2 評価項目

本終了時評価調査は、表-1に示すとおり、経済協力開発機構（Organization for Economic Co-operation and Development : OECD）/ 開発援助委員会（Development Assistance Committee : DAC）が定めた評価5項目を用いた評価を行う。

表-1 評価5項目

項目	説明
妥当性	プロジェクトのめざしている効果（プロジェクト目標や上位目標）が、受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当かなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。
有効性	プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいは、もたらされるのか）を問う視点。
効率性	主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいは、されるか）を問う視点。

インパクト	プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的・間接的効果や波及効果を見る視点。予期していなかった正・負の効果・影響を含む視点。
持続性	援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続しているか（あるいは持続の見込みがあるか）を問う視点。

1-2-3 データ収集方法

定量的、定性的なデータを収集し分析を行う。本終了時評価調査におけるデータの収集手法は以下のとおり。

- 文献・既存資料調査（専門家報告書、詳細、中間レビュー報告書等）
- 質問票調査
- インタビュー調査
- 視察調査

1-3 調査団構成

本終了時評価調査は、日本、タイ両国の合同調査として実施された。団員構成は下表のとおり。

(日本側)

担当分野	氏名	所属	派遣期間
団長	池上 宇啓	独立行政法人国際協力機構 地球環境部 気候変動対策室兼環境管理グループ 企画役	2016年1月10日 ～1月16日
気候変動対策	川西 正人	独立行政法人国際協力機構 国際協力専門員	2016年1月10日 ～1月16日
協力企画	古川 真理子	独立行政法人国際協力機構 地球環境部 環境管理 第一チーム	2016年1月10日 ～1月16日
評価分析	岡野 鉄平	株式会社アイコンズ コンサルタント	2016年1月3日 ～1月16日

(タイ側)

氏名	所属
Mr. Pichitpan Satachandra	タイ国際開発協力機構 (Thailand International Cooperation Agency : TICA) 開発協力員

1-4 調査日程

本終了時評価調査は2016年1月4日から1月15日までの期間で実施された。調査日程の詳細は表-2のとおり。

表－２ 調査日程

日順	日付	曜	時間	調査内容	場所
1	1月3日	日	15:50	評価団員（評価分析）バンコク到着	
2	1月4日	月	08:30-09:00	JICA タイ事務所との打合せ	JICA タイ事務所
			11:00-12:00	農業協同組合省農業経済局（OAE）へのインタビュー	OAE
			13:00-15:00	長期専門家へのインタビュー	TGO
3	1月5日	火	09:00-10:00	タイ国地方自治体協会（NMT）へのインタビュー	電話インタビュー
			11:00-12:00	国家経済社会開発委員会（NESDB）へのインタビュー	NESDB
			13:30-14:30	天然資源環境政策・計画局（ONEP）へのインタビュー	ONEP
4	1月6日	水	09:00-10:00	タイ国家温室効果ガス管理機構（TGO）戦略オフィス部長代理へのインタビュー	TGO
			10:00-11:00	TGO 理事へのインタビュー	
			11:30-12:30	国家林野庁（Royal Forest Department）へのインタビュー	
			13:30-14:30	TGO 副局長へのインタビュー	
			15:00-16:00	カセサート大学へのインタビュー	
5	1月7日	木	08:30-09:15	ONEP へのインタビュー	ONEP
			10:30-11:30	TGO 局長へのインタビュー	TGO
			11:30-12:30	TGO 能力開発・アウトリーチオフィス部長へのインタビュー	
			13:30-14:30	アジア工科大学院（AIT）へのインタビュー	AIT
			14:30-15:30	タマサート大学シリントン国際工学部（SIIT）へのインタビュー	SIIT
6	1月8日	金	10:30-11:30	プリンスオブソクラー大学（PSU）へのインタビュー	電話インタビュー
			14:00-16:00	TGO 職員へのグループインタビュー	TGO
			16:00-17:00	バンコク都庁環境課へのインタビュー	電話インタビュー
7	1月9日	土	終日	報告書作成	
8	1月10日	日	午後	評価団員（団長、気候変動対策、協力企画）バンコク到着	
			午後	評価団内会議	JICA タイ事務所
9	1月11日	月	09:00-12:00	評価団内会議	JICA タイ事務所

10	1月12日	火	09:30-11:00	評価団内会議	JICA
			12:30-13:00	合同評価団内会議	TGO
			13:00-15:00	終了時評価報告に係るタイ側、日本側の協議	TGO
11	1月13日	水	11:00-13:00	終了時評価報告に係るタイ側、日本側の協議	TGO
			15:30-16:30	ドイツ国際協力公社（GIZ）へのインタビュー	GIZ
12	1月14日	木	08:30-13:00	合同評価団内会議	JICA タイ事務所
			15:30-16:30	終了時評価報告に係るタイ側、日本側の協議	TGO
13	1月15日	金	09:00-10:00	JICA タイ事務所へ調査結果の報告	JICA タイ事務所
			11:00-12:00	日本大使館へ調査結果の報告	在タイ日本大使館
			14:30	合同評価報告書署名式	TGO
			23:15	評価団員 バンコク発	

OAE : Office of Agricultural Economics (農業協同組合省農業経済局)

NMT : National Municipality League of Thailand (タイ国地方自治体協会)

NESDB : National Economic and Social Development Board (国家経済社会開発委員会)

ONEP : Office of Natural Resources and Environment Policy and Planning (天然資源環境政策・計画局)

AIT : Asian Institute of Technology (アジア工科大学院)

SIIT : Sirindhorn International Institute of Technology (タマサート大学シリントン国際工学部)

PSU : Prince of Songkla University (プリンスオブソンクラーク大学)

GIZ : Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (ドイツ国際協力公社)

第2章 プロジェクトの概要

2-1 プロジェクトの背景

タイ国家温室効果ガス管理機構（TGO）は、タイにおける温室効果ガス（GHG）排出削減のための実施機関として、2007年に天然資源・環境省（Ministry of Natural Resources and Environment：MONRE）の下に設置された独立行政機関であり、低炭素化の促進、GHG排出削減のための投資活動及びマーケティングの推進、GHG情報センターの構築、関係機関への能力強化及びアウトリーチ活動の提供、クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism：CDM）の国家指定機関としての活動を担っている。また、天然資源環境政策・計画局（ONEP）とともに首相府の下に2007年に設置された国家気候変動委員会の事務局機能を担っており、国家レベルでの気候変動政策の策定・承認・評価、特に国として適切な緩和行動（Nationally Appropriate Mitigation Action：NAMA）の推進や国家GHGインベントリの作成、測定・報告・検証（Measure, Report and Verification：MRV）システムの確立等にかかわっている。

技術協力プロジェクト「タイ王国温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」は、TGOのGHG緩和策に対する人材のキャパシティ・ビルディングと組織力強化を目標として2010年1月から2012年1月までの間に実施された。2011年12月に行われた終了時評価では、TGO職員のGHG緩和策に係る専門知識の向上、研修教材の開発による研修提供キャパシティの向上等の成果が確認されたが、それらの成果を活用し、研修プログラムのさらなる拡充や、タイ国内のみならず、気候変動緩和について能力強化を要する国への支援を検討すべきということが提言された。東南アジア諸国連合（ASEAN）諸国においては、気候変動の影響に対する脆弱性が高く、また急速な経済成長を遂げており、気候変動対策（適応策・緩和策）を効果的に実施するための能力強化に対するニーズが高い。上記技術協力プロジェクトのなかで、TGOはASEAN諸国を対象とした「気候変動緩和と低炭素社会」と題する地域会合を開催し、ASEAN各国において気候変動対策を進めるうえでの共通課題について協議を行った。その結果、ASEAN各国における共通支援ニーズに基づき、ワンストップ研修センターとしての気候変動国際研修センター（CITC）の重要性が確認された。

CITCが将来的にASEAN各国における気候変動対策（適応策・緩和策）の推進に資する実践的な研修機関になるためには、CITCの研修実施機関としてのさらなる能力強化とASEAN各国との連携協調の推進が不可欠である。本プロジェクトは、ASEAN諸国のための研修機関としてのCITC設立及び能力強化を目的として、要請された。これを受け、本プロジェクトは、2013年6月から2016年5月までの3年間で実施しているものであり、今次調査団は、協力期間の終了を4カ月後に控えた段階で、案件の終了時評価を行った。

2-2 プロジェクトの構成

本プロジェクトは、2013年6月1日から2016年5月31日までの期間で、タイの首都バンコクにおいて実施されている。プロジェクト活動は2014年7月に開催された合同調整委員会（JCC）にて承認されたPDM version 1、並びにPOに基づく。

表－3 対象プロジェクトの概要

プロジェクト期間：2013年6月から2016年5月（3年間）
プロジェクトサイト：バンコク
カウンターパート機関：タイ国家温室効果ガス管理機構（TGO）
上位目標：気候変動国際研修センター（CITC）がASEAN地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤（プラットフォーム）として機能する。
プロジェクト目標：タイ国内及びASEAN開発途上国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGOの気候変動国際研修センター（CITC）のフォーカルポイントとしての能力が強化される。
成果1：TGOと関係機関の協力を通じてCITC設立の準備がなされる。 成果2：TGOとタイの関係機関によって緩和/適応に関する研修が実施される。 成果3：緩和/適応に関する研修プログラムがASEAN諸国のなかで共有される。

2-3 プロジェクトの実施体制

プロジェクトは、2012年12月21日に署名された討議議事録（Record of Discussion：R/D）に基づく体制により実施されている。各関係者の役割は以下のとおり。

(1) タイ国家温室効果ガス管理機構（TGO）

TGO 局長がプロジェクト・ディレクターとして、プロジェクトの全般的な管理を行っている。また、プロジェクト・マネジャーは能力開発・アウトリーチオフィス（以下、「CB チーム」）部長が務め、プロジェクトの管理面、技術面の責任者としての役割を担っている。その他に、プロジェクト実施のために必要なカウンターパート（C/P）職員が合計13名配置されており、そのうちCBチーム正規職員6名が主にプロジェクト活動に従事している。

(2) JICA 専門家

JICA 専門家は TGO 職員に対し技術的な指導、助言を行っている、また、専門家総括はプロジェクトの実施においてプロジェクト・ディレクター、及びプロジェクト・マネジャーに対する必要に応じた助言、提言等を行っている。短期専門家の担当分野は、気候変動対策、低炭素開発、適応策、緩和策、研修計画、GHG インベントリ、研修マネジメント、ビジネスプラン作成である。

(3) 合同調整委員会（JCC）

関連機関の横断的な調整を行うために合同調整委員会（JCC）が設立された。JCC は少なくとも年に1回の開催に加えて、プロジェクトの実施において必要と判断された場合に開催され、年次活動計画の承認、活動の進捗状況の確認、モニタリング評価の実施、プロジェクト期間中に発生した課題への対処策の検討が行われている。

第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

3-1 投入実績

3-1-1 日本側投入

2014年7月に承認されたPDM version 1における計画と日本側投入実績を表-4に示す（詳細は付属資料4のとおり）。

表-4 日本側投入実績

計画（PDM version 1）	実績																																
1) 専門家派遣 - 長期専門家 - 短期専門家	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年7月から長期専門家1名が派遣されている。 ・短期専門家9名が派遣されており、日本及びタイでの業務の合計53.6MM(2015年10月末時点)であった。短期専門家の担当分野は、①総括/気候変動対策、②低炭素開発1、③低炭素開発2/緩和策2/研修計画3、④GHGインベントリ、⑤適応策/緩和策1、⑥研修計画1、⑦研修計画2/研修マネジメント2、⑧業務調整/研修マネジメント1、⑨ビジネスプラン作成である。 																																
2) 研修 - 本邦研修	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに本邦研修が3回実施され、延べ27名が参加した。 第1回本邦研修（CITC一般職員が参加する一般研修）：参加者9名/2013年11月25日～12月7日 第2回本邦研修（TGO理事会メンバー等の参加する準高級研修）：参加者6名/2014年1月15日～1月22日 第3回本邦研修（TGO職員とタイの地方政府・大学等関係者）：12名/2015年1月19日～1月30日 																																
3) 資機材供与	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャナー1台、ノートPC2台、LCDプロジェクター1台、電子白板1台、VDCレコーダー1台、テレビモニター2台が供与された。調達金額の合計は29万8,000バーツ（約102万2,736円¹）。 																																
4) 現地活動費	<ul style="list-style-type: none"> ・合計で1,361万7,000バーツ（約4,673万3,544円）が、現地活動費として支出された。内訳は下表のとおり。 <p style="text-align: right;">（単位：タイバーツ）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>2013年</th> <th>2014年</th> <th>2015年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修費</td> <td style="text-align: right;">15,600</td> <td style="text-align: right;">730,000</td> <td style="text-align: right;">4,139,000</td> </tr> <tr> <td>教材作成費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">667,000</td> <td style="text-align: right;">76,000</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ開催費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">734,100</td> <td style="text-align: right;">4,023,000</td> </tr> <tr> <td>TGOの設備費</td> <td style="text-align: right;">302,000</td> <td style="text-align: right;">202,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>その他活動費</td> <td style="text-align: right;">349,500</td> <td style="text-align: right;">1,410,800</td> <td style="text-align: right;">968,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: right;">667,100</td> <td style="text-align: right;">3,743,900</td> <td style="text-align: right;">9,206,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">13,617,000</td> </tr> </tbody> </table>	費目	2013年	2014年	2015年	研修費	15,600	730,000	4,139,000	教材作成費	0	667,000	76,000	ワークショップ開催費	0	734,100	4,023,000	TGOの設備費	302,000	202,000	0	その他活動費	349,500	1,410,800	968,000	小計	667,100	3,743,900	9,206,000	合計			13,617,000
費目	2013年	2014年	2015年																														
研修費	15,600	730,000	4,139,000																														
教材作成費	0	667,000	76,000																														
ワークショップ開催費	0	734,100	4,023,000																														
TGOの設備費	302,000	202,000	0																														
その他活動費	349,500	1,410,800	968,000																														
小計	667,100	3,743,900	9,206,000																														
合計			13,617,000																														

¹ 1バーツ＝3.432円（JICA統制レート2015年12月）

3-1-2 タイ側投入

2014年7月に承認されたPDM version 1における計画とタイ側投入実績を表-5に示す（詳細は付属資料5のとおり）。

表-5 タイ側投入実績

計画（PDM version 1）	実績									
1) カウンターパート - プロジェクト・ディレクター - プロジェクト・マネジャー - カウンターパート職員	・プロジェクト・ディレクター1名、プロジェクト・マネジャー1名、C/P職員17名（うちCBチーム正規職員6名）が配置されている。									
2) プロジェクト実施に必要な機材、建物設備、その他必要な維持管理費用	・JICA 専門家の執務スペースが、タイ政府合同庁舎のTGO 事務所内に設置された。また、事務所備品、建物設備、並びに必要に応じてセミナー、会議開催場所が提供された。									
3) その他の費用	<p>・TGO 及び CITC への予算配分状況は、以下のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">（単位：タイバーツ）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">会計年度</th> <th style="width: 30%;">TGO の支出合計</th> <th style="width: 40%;">研修、セミナー、ワークショップに係る支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014 年 (2013 年 10 月～ 2014 年 9 月)</td> <td style="text-align: right;">133,071,199</td> <td style="text-align: right;">8,515,487</td> </tr> <tr> <td>2015 年 (*) (2014 年 10 月～ 2015 年 9 月)</td> <td style="text-align: right;">125,389,710</td> <td style="text-align: right;">11,104,604</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 暫定額</p>	会計年度	TGO の支出合計	研修、セミナー、ワークショップに係る支出	2014 年 (2013 年 10 月～ 2014 年 9 月)	133,071,199	8,515,487	2015 年 (*) (2014 年 10 月～ 2015 年 9 月)	125,389,710	11,104,604
会計年度	TGO の支出合計	研修、セミナー、ワークショップに係る支出								
2014 年 (2013 年 10 月～ 2014 年 9 月)	133,071,199	8,515,487								
2015 年 (*) (2014 年 10 月～ 2015 年 9 月)	125,389,710	11,104,604								

3-2 活動の進捗状況

プロジェクト活動は PO に沿って実施されており、PDM において計画された成果 1 から成果 3 に係る活動はおおむね完了している。

(1) 成果 1 に関する活動の進捗状況

CITC の組織図、活動計画、戦略、サービス内容はプロジェクトの支援の下で作成された CITC の文書に記載されている。2015 年 2 月に開催された JCC においては、CITC の 5 年活動計画である最新版のビジネスプランが承認された。また、四つのクラスター（① GHG インベントリ管理、②低炭素でレジリエントな社会開発、③緩和メカニズム、④持続的な GHG 管理）の研修カリキュラムは、一連のニーズ調査並びに、タイ国内、ASEAN おける研修リソースを明確にしたうえで作成された。CITC のウェブサイトについては、気候変動緩

和・適応に関する情報発信並びに知識の共有のためツールとして、既に一般公開されている²。

(2) 成果 2 に関する活動の進捗状況

緩和、適応に関する研修が実施され、延べ 426 名が研修に参加した。また、指導者育成研修(TTT)には延べ 107 名が参加しており、十分な数の研修指導員候補が育成されている。一方、C/P の能力強化においては、CB チーム職員が研修の準備、実施、実施後の研修評価といった各段階の活動に積極的に参加しており、プロジェクト実施以前と比較して研修管理に係る技術と知識の着実な向上が確認された。また CB チーム職員は研修の実施のみならず、受講生として研修に参加することで、専門的知識の習得にも努めている。

(3) 成果 3 に関する活動の進捗状況

ASEAN 向けの三つのコース（①低炭素でレジリエントな社会開発、②緩和メカニズム、③持続的な GHG 管理 / 気候変動ファイナンス）において、研修ニーズ評価（TNA）、カリキュラム作成、教材準備が実施された。また、ASEAN 向けのワークショップがこれまでに 2 回開催されており、延べ 32 名の ASEAN 諸国関係者の参加を得ている。なお、第 3 回目の ASEAN 向けのワークショップは 2016 年 3 月に、ASEAN 向けの研修コースは 2016 年 2 月、3 月にそれぞれ実施される予定である。

指 標	達成状況																		
活動 1-1 の進捗状況 CITC の組織フレームワークを設立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ CITC ビジネスプランが作成され、2015 年 2 月に開催された JCC において最新版が承認された。また、研修プログラムの開発から実施に至る各プロセスで関与、協力、参加を得るタイ国内外の関係機関を特定し、ネットワークの強化を推進している。 																		
活動 1-2 の進捗状況 タイ国内関係機関、ASEAN の気候変動フォーカルポイントを対象とした研修ニーズ評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ TGO と共同で、CITC に係る研修ニーズ評価を実施した。各研修コースの TNA の対象者、実施時期、手段を下表にまとめた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>TNA 対象者</th> <th>実施時期 / 手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">GHG インベントリ管理</td> </tr> <tr> <td>中央政府実務者向け</td> <td>2013 年 8 月 / 質問票、2013 年 11 月ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者向け</td> <td>2014 年 8 月 / 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低炭素でレジリエントな社会開発</td> </tr> <tr> <td>中央政府実務者、管理者</td> <td>2013 年 6 月 / 質問票、2013 年 8 月 / 会議</td> </tr> <tr> <td>地方実務者、管理者</td> <td>2014 年 8 月 / 参加型ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者</td> <td>2014 年 5 月 / 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 諸国の中央政府、地方政府、学術関係者</td> <td>2015 年 6 月 / 質問票、ワークショップ</td> </tr> </tbody> </table>	TNA 対象者	実施時期 / 手段	GHG インベントリ管理		中央政府実務者向け	2013 年 8 月 / 質問票、2013 年 11 月ワークショップ	ASEAN 関係者向け	2014 年 8 月 / 質問票、ワークショップ	低炭素でレジリエントな社会開発		中央政府実務者、管理者	2013 年 6 月 / 質問票、2013 年 8 月 / 会議	地方実務者、管理者	2014 年 8 月 / 参加型ワークショップ	ASEAN 関係者	2014 年 5 月 / 質問票、ワークショップ	ASEAN 諸国の中央政府、地方政府、学術関係者	2015 年 6 月 / 質問票、ワークショップ
TNA 対象者	実施時期 / 手段																		
GHG インベントリ管理																			
中央政府実務者向け	2013 年 8 月 / 質問票、2013 年 11 月ワークショップ																		
ASEAN 関係者向け	2014 年 8 月 / 質問票、ワークショップ																		
低炭素でレジリエントな社会開発																			
中央政府実務者、管理者	2013 年 6 月 / 質問票、2013 年 8 月 / 会議																		
地方実務者、管理者	2014 年 8 月 / 参加型ワークショップ																		
ASEAN 関係者	2014 年 5 月 / 質問票、ワークショップ																		
ASEAN 諸国の中央政府、地方政府、学術関係者	2015 年 6 月 / 質問票、ワークショップ																		

² CITC ウェブサイトの URL : <http://citic.in.th/>

	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" data-bbox="566 224 1398 271">緩和メカニズム</th> </tr> <tr> <td data-bbox="566 277 914 353">タイ国内4地域における地方政府幹部、実務者</td> <td data-bbox="919 277 1398 353">2014年11月/質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 360 914 436">ASEAN諸国の中央政府、地方政府、学術関係者</td> <td data-bbox="919 360 1398 436">2015年6月/質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="566 443 1398 490">持続的なGHG管理</th> </tr> <tr> <td data-bbox="566 497 914 602">ASEAN諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者</td> <td data-bbox="919 497 1398 602">2015年10月/質問票、ワークショップ</td> </tr> </table>	緩和メカニズム		タイ国内4地域における地方政府幹部、実務者	2014年11月/質問票、ワークショップ	ASEAN諸国の中央政府、地方政府、学術関係者	2015年6月/質問票、ワークショップ	持続的なGHG管理		ASEAN諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者	2015年10月/質問票、ワークショップ
緩和メカニズム											
タイ国内4地域における地方政府幹部、実務者	2014年11月/質問票、ワークショップ										
ASEAN諸国の中央政府、地方政府、学術関係者	2015年6月/質問票、ワークショップ										
持続的なGHG管理											
ASEAN諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者	2015年10月/質問票、ワークショップ										
<p>活動1-3の進捗状況 研修テーマごとにタイ、ASEAN開発途上諸国の関係者と調整を行い、研修に必要なリソースを明確化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ASEAN各国の研修リソースを特定し、協力関係の構築を推進している。 ・プロジェクトの支援の下、国立環境研究所（National Institute for Environmental Studies : NIES）や地球環境戦略研究機関（Institute for Global Environmental Strategies : IGES）、また、低炭素アジア研究ネットワーク（Low Carbon Asia Research Network : LoCARNet）やアジア太平洋地球変動研究ネットワーク（Asia-Pacific Adaptation Network : APAN）といった機関・ネットワークと直接コンタクトし、講師の選定や教授内容の充実に取り組んでいる。 										
<p>活動1-4の進捗状況 研修テーマごとに、タイ関係者、または国外の関係者とともに教材を開発する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「低炭素でレジリエントな社会構築」について①タイ中央政府の幹部コース、②タイ中央政府の実務者コース、③タイ地方政府の実務者コース、④タイ地方政府の政策策定者コースの研修カリキュラムと研修教材をTGOと作成し、カリキュラム作成の際のポイントや研修教材の技術的な内容等についてTGO職員に対して技術移転を行った。 ・「持続的なGHG管理」気候変動ファイナンスコースについてはTNAを受けて研修カリキュラムの改訂中である。 ・ASEAN向けの最初の研修コースとなる「低炭素でレジリエントな社会開発」及び「緩和メカニズム」は、ピアレビューを受けて研修カリキュラムの改訂中である。 ・「GHGインベントリ管理」タイ中央政府実務者コース、「緩和メカニズム」タイ関係者コース、「持続的なGHG管理」タイ国内向け気候変動経済学コースはタイの外部専門家により研修カリキュラムの作成が完了している。 										
<p>活動1-5の進捗状況 ナレッジ・プラットフォーム、ウェブサイトの開発を通じて情報管理システムを強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修やイベントに関する情報発信、タイ国内、ASEAN諸国の気候変動関係者との情報共有、ネットワーク構築の手段、気候変動緩和・適応に関する情報プラットフォームとして、TGOによりCITCのウェブサイトが開設され、一般に公開されている。 ・JICA専門家の技術的な助言を踏まえ、TGOの自己資金によってeラーニングシステムが構築された。TGOは継続的にシステム設計、運用手法の構築、改善に取り組んでいる。 										

活動 2-1 の進捗状況 特定の研修テーマについて、関係者を対象とする研修を実施する。	・ 終了時評価時点で以下の研修コースが実施され、延べ 426 名が参加した。		
	GHG インベントリ管理		
	タイ関係者向け	2014 年 8 月～9 月、 2015 年 5 月、7 月	143 名
	低炭素でレジリエントな社会開発		
	タイ地方政府実務者向け	2014 年 12 月	38 名
	タイ地方政府管理者向け	2015 年 3 月	59 名
	タイ中央政府実務者及び管理者向け	2015 年 9 月	37 名
	緩和メカニズム		
	タイ関係者向け	2015 年 9 月	88 名
	持続的な GHG 管理		
	気候変動経済学（タイ向け）	2015 年 3 月、5 月～6 月	61 名
	合 計		426 名
	・ 以下の研修コースは今後実施される予定となっている。		
	GHG インベントリ管理		
	タイ地方政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定	
	ASEAN 中央政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定	
	持続可能な開発のための気候変動³		
	ASEAN 関係者向け	2016 年 2 月 29 日～3 月 4 日	
	緩和メカニズム		
	ASEAN 関係者向け	2016 年 2 月～3 月	
持続的な GHG 管理			
気候変動ファイナンス	2016 年 3 月		

³ 2015 年 11 月より、研修コース「低炭素でレジリエントな社会開発（Low Carbon and Resilient Society Development : LCRS）」の研修名が「持続的な開発のための気候変動（Climate Change Management for Sustainable Development : CCSD）」に変更となっている。

活動 2-2 の進捗状況 TTT を通じてトレーナーの育成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了時評価時点で以下の TTT が実施され、延べ 107 名が参加した。これにより、研修指導員候補者の育成が進められている。 			
	研修コース	対象者	実施時期	受講者
	GHG インベントリ管理	タイ中央政府実務者	2014 年 8 月～9 月	19 名
	低炭素でレジリエントな社会開発	タイ地方政府実務者	2014 年 12 月	33 名
	持続的な GHG 管理 / 気候変動経済	タイ中央政府関係者	2015 年 3 月 2015 年 5 月～6 月	13 名
	緩和メカニズム	タイ中央政府実務者	2015 年 9 月	42 名
合 計				107 名
活動 3-1 の進捗状況 ニーズ評価に基づき、ASEAN 開発途上諸国向けの研修コース（カリキュラム）を開発する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ASEAN 向けの三つの研修コース（①低炭素でレジリエントな社会開発、②緩和メカニズム、③持続的な GHG 管理 / 気候変動ファイナンス）について、研修ニーズの把握を行い、研修カリキュラムと研修教材の作成を開始した。TNA を実施するにあたり、TNA 対象者の選定のポイントや TNA 手法、質問票の書き方等について TGO 職員に対して技術移転を行った。 			
活動 3-2 の進捗状況 ASEAN 開発途上諸国政府の気候変動対策担当者との知見を共有するためのワークショップを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回 ASEAN ワークショップが、2014 年 5 月 8 日、9 日の 2 日間にわたり、パタヤで開催された。ASEAN 諸国 8 カ国からは 15 名が出席した（カンボジア 2 名、インドネシア 2 名、ラオス 2 名、マレーシア 1 名、ミャンマー 2 名、フィリピン 2 名、タイ 2 名、ベトナム 2 名）。 ・ 第 2 回目 ASEAN ワークショップが 2015 年 6 月 22 日～24 日の期間で、バンコクで開催された。ASEAN 諸国 8 カ国からは 17 名が出席した（ブルネイ 1 名、カンボジア 2 名、インドネシア 3 名、ラオス 4 名、マレーシア 2 名、ミャンマー 3 名、シンガポール 1 名、ベトナム 1 名）。 			

3-3 成果の達成状況

成果 1：TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。

成果 1 の各指標の達成状況の詳細は下表のとおりである。

指 標	達成状況
1-1. CITC の組織図、綱領、配分される予算が CITC の文書に記載される。	<p>指標 1-1 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015 年 2 月に開催された第 3 回 JCC において承認されたビジネスプランの最新版に、CITC の組織図、活動計画、戦略、サービス内容、収益計画が明記された。 ・ TGO より配賦される CITC の予算については、TGO の年度予算計画に記されている。

<p>1-2. ウェブサイトによる情報伝達するための知識プラットフォームが確立される。</p>	<p>指標 1-2 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TGO は CIRC ポータルサイトの内容を継続的に更新している。主な内容は、①研修カリキュラムと実施スケジュール、② CIRC イベントに関する情報、③イベントの様子や参加者インタビューのビデオストーリーミング配信となっている。ウェブサイトのコンテンツは今後もさらに充実される見込みである。 ・ e ラーニングシステムの設計及びモジュール開発計画に関する会合、協議を行い、2015 年末に e ラーニングシステムが完成した。TGO は JICA 専門家の技術的な助言を受けつつ、自己予算でシステム設計、運用手法の構築、改善を行っている。
<p>1-3. 特定の研修プログラムについて研修教材（タイ語及び英語）が開発される。</p>	<p>指標 1-3 は達成される見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修教材、もしくはプレゼンテーション資料が七つのコースについて作成済みである。 ・ 終了時評価時点で ASEAN 向けの 3 コースについては研修教材の作成中であるが、これらの研修教材は 2016 年 2 月までに完了する予定となっている。

成果 1 の指標 1-1、1-2 は終了時評価時点で達成されており、指標 1-3 はプロジェクト終了時までに達成される見込みである。指標 1-1 については、CIRC の組織図、活動計画、戦略、サービス内容、収益計画が CIRC の 5 年計画である CIRC ビジネスプラン（2015 年～2019 年）に記載されており、指標は達成されている。また、指標 1-2 については、CIRC のウェブサイトが一般公開され、情報伝達及び知識共有の手段として活用されていることから、知識プラットフォームの構築がプロジェクトの計画どおりに実施されたと判断できるが、ウェブサイトのコンテンツは今後もさらに充実されていく予定である。一方、指標 1-3 については表 6 にまとめたとおり、研修教材、もしくはプレゼンテーション資料が七つのコースについて作成済みであり、ASEAN 関係者向けの三つのコースについて作成中である。これらの研修教材は 2016 年 2 月までに完了する予定となっている。

表 6 各研修コースの教材作成状況

研修コース対象 / 研修名	研修カリキュラム策定状況
GHG インベントリ管理	
タイ中央政府の実務者コース	完了（英語、タイ外部専門家により策定）
タイ地方政府の実務者コース	延期（将来検討）
ASEAN 中央政府の実務者コース	開発予定
ASEAN 地方政府の実務者コース	開発予定
低炭素でレジリエントな社会開発	
タイ中央政府の幹部コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）

タイ中央政府の実務者コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）
タイ地方政府の実務者コース	完了（英語、タイ語）
タイ地方政府の政策策定者コース	完了（英語、タイ語）
ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中
緩和メカニズム	
タイ関係者コース	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）
ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中
持続的な GHG 管理	
気候変動経済学（タイ）	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）
気候変動ファイナンス（ASEAN）	TNA を受けて改訂を検討中

成果 2：TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

成果 2 の各指標の達成状況の詳細は下表のとおりである。

指 標	達成状況
2-1. 特定の研修コースにおいて、研修トレーナーが育成される。	<p>指標 2-1 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各研修受講者のなかから選定された人材を対象に TTT を実施した。TTT の参加者は延べ 107 名となっており、十分な数の研修指導員候補者が育成されたと考えられる。各コースの研修指導員候補者の内訳は、「GHG インベントリ管理」で 19 名、「低炭素でレジリエントな社会開発」で 33 名、「持続的な GHG 管理 / 気候変動経済」で 13 名、「緩和メカニズム」で 42 名である（TTT の詳細は「活動 2-2 の進捗状況」の内訳を参照）。
2-2. 研修参加者による研修満足度が確保される〔70%以上の参加者が満足（80%以上の高評価）と回答する〕。	<p>指標 2-2 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトが直接実施支援をした研修コースにおいては、指標が達成された。 実施予定のコースについては現時点で判断ができないものの、実施済みの研修についてはすべて高い評価を受けており、CB チーム職員の研修管理能力、並びに TNA を通じた研修カリキュラムの策定においても着実な成果がみられることから、今後実施予定の研修についても適切に研修が運営される可能性が高い。 プロジェクトが直接支援した研修コースである「低炭素でレジリエントな社会開発」では受講者から下表のとおり評価を受けた。

低炭素でレジリエントな社会開発		
研修コース	実施時期	満足度
タイ中央政府の管理者コース	2015年8月31日	88%の受講者が5点中4.0点(80%)以上の評価(平均3.8点)
タイ中央政府の実務者コース	2015年8月31日～9月2日	
タイ地方政府の実務者コース	2014年12月17～19日	100%の受講者が5点中4.0点(80%)以上の評価(平均4.7点)
タイ地方政府の管理者コース	2015年3月5～6日/ワークショップ形式	100%の受講者が5点中4.0点(80%)以上の評価(平均4.5点)

成果2に設定された二つの指標は終了時評価時点で既に達成されている。指標2-1については、四つの研修コースの受講者のうち、特に優秀な人材を対象にTTTを実施し、合計107名の研修指導員候補が育成された。各コースの指導員の内訳は、GHGインベントリ管理コースでは19名、低炭素でレジリエントな社会開発コースでは33名、気候変動経済コースでは13名、緩和メカニズムでは42名である。これにより、十分な人数の研修指導員候補者が育成されたと考えられる。また、指標2-2については、プロジェクトの直接的な支援によって実施された「低炭素でレジリエントな社会開発コース」において、プロジェクトが質問調査を行った結果、受講者の70%が研修の質に満足した(80%以上の評価点)と回答しており、指標の数値目標を達成していると判断できる。

なお、ASEAN諸国向けの研修コースは終了時評価時点で未実施であるが、タイ国内向けに実施した研修は受講者から高い評価を得ており、CBチーム職員の研修管理、カリキュラム作成に係る能力強化においても着実な成果がみられることから、ASEAN諸国向けの研修についても適切に実施されるものと考えられる。

成果3：緩和/適応に関する研修プログラムがASEAN諸国のなかで共有される。

成果3の指標の達成状況の詳細は下表のとおりである。

指標	達成状況
3-1. ASEAN開発途上諸国向けにセミナー・ワークショップ・研修が実施される。	<p>指標3-1はプロジェクト終了時までには達成される見込みである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ASEAN向けのワークショップがこれまでに2回開催された(第1回目2014年5月8日及び9日の2日間、第2回目2015年6月22日～24日の3日間。第3回目2016年3月に実施予定)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2016年2月、3月に ASEAN 関係者向けの研修が3コース実施される予定となっている。予定されている研修コースは、①「持続可能な開発のための気候変動 (CCSD)」、②「緩和メカニズム」、③「持続的な GHG (ASEAN 向け気候ファイナンス)」である。 ・ ASEAN 諸国の関係者をレビュワーとしたピアレビュー会議を開催し、研修カリキュラムの改訂を行っている。
--	--

指標 3-1 は、プロジェクト終了時まで達成される見込みである。ASEAN 関係者向けのワークショップの第1回目が2014年5月8日～9日に、第2回目が2015年6月22日～24日に実施された。第3回目のワークショップは2016年3月に実施される予定である。また、プロジェクトは ASEAN 関係者向けの研修を2016年2月～3月に実施する計画となっている。

3-4 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：

タイ国内及び ASEAN 開発途上国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の気候変動国際研修センター (CITC) のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

プロジェクト目標として設定されている CITC のフォーカルポイントとしての能力強化のためには、さらなる向上の余地があるものの TGO の強いオーナーシップと積極的なプロジェクト活動への参加により、既に達成されていると考えられる。

指標 1) について、CITC のための研修管理、ナレッジ、ロジスティクスシステムは、プロジェクトの支援の下で既に構築されている。各研修の準備段階においては、セミナー、ワークショップ、質問票調査を通じた TNA が実施され、それらの結果が CITC、タイ外部専門家によるカリキュラム策定と研修教材準備に活用された。カリキュラムと教材については、ピアレビュー会議による内容の研究も行われている。また、研修実施段階においては、ロジスティックチェックシートをはじめとした運営管理ツールが活用されており、研修終了後においては、質問票調査等によるフォローアップ活動が行われている。このように、研修管理の一連のプロセスに係るモデルが確立されており、必要な情報、文書や書式、運営管理ツール、データベース等が CITC の内部に蓄積されている。同時に、CB チーム職員の能力についても研修実施の各過程での積極的な関与を促すことによって、着実に向上している。

CITC は既にタイ関係者向け研修を実施するための十分な能力を備えているものの、今後は新しいテーマに対応した研修コースの開発、実施をしていく必要があり、より一層の研修管理能力向上が求められる。ASEAN 向け研修については、開催したワークショップで把握された共通ニーズに合致した研修プログラムは開発されたが、CB チーム職員は国際的な研修実施の一連のプロセスは経験しておらず、ASEAN 諸国の多様なニーズに対応したカリキュラムを適時に開発し、研修実施をすることについては、現時点では難しいと考えられる。気候変動分野の国際的潮流に沿った新たな研修課題に対応し、タイ国内のみならず ASEAN の関係者向けの質の高い研修を実施していくためには、さらなる能力向上の余地が残されている。

指標 2) については、国際機関、研究機関、大学など、気候変動に関連する国内外の関係機関

とのネットワーク構築が大きく進展した。TGO 職員と JICA 専門家は気候変動関連の国際会議やタイ国内外における二国間会合に積極的に参加し、ネットワーク強化のための取り組みを継続的に実施している。また、プロジェクト終了後の持続的な協力関係の構築のために、CITC は海外環境協力センター（Overseas Environmental Cooperation Center, Japan : OECC）、タマサート大学シリントン国際工学部（SIIT）、プリンソブソクラー大学（PSU）とタイ地方自治体協会（NMT）との間で協力覚書（Memorandum of Cooperation : MoC）に署名した。一方、ASEAN 関係者向けの研修を継続的に実施していくうえでは、ASEAN 諸国の関連機関とのさらなるネットワーク強化に向けた取り組みが依然として重要であると考えられる。

指 標	達成状況
1) CITC のための研修管理、ナレッジ、ロジスティクスシステムが構築される。	<p>指標 1) は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ国内向け研修の管理に係る一連のプロセスがモデルとして確立した。研修実施に必要な情報、文書、様式、運営管理ツール等が CITC に蓄積されている。 ・研修実施のための技術や手法を標準化するため、ロジスティックチェックシート等の研修管理ツールが作成された。これらの研修管理ツールは、CB チーム職員により適宜改良され、プロジェクト終了後のさらなるサービス品質の向上に活用されることが期待される。 ・CB チーム職員のプロジェクト活動への積極的な参加を通じて、ロジスティクス技術の向上をはじめ、C/P 職員の能力強化に着実な成果がみられる。
2) 研修プログラムの開発及び実施のために関係機関との協力が持続する。	<p>指標 2) は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修実施、カリキュラム・教材のアップデートのための、タイ国内外の関連機関、大学や研究機関とのネットワーク構築に大きな進展がみられた。 ・IGES や NIES との連携により、LoCARNet の研究者のネットワークを活用する基盤が整った。このようなネットワークは TGO が最新の国際議論や動向をいち早く研修カリキュラム・教材に取り入れるために役立てられる。また、将来的な ASEAN 諸国とのネットワーク構築への活用も期待される。 ・プロジェクト終了後の継続的な協力関係の構築のため、CITC、OECC、SIIT、PSU、NMT との間で協力覚書が署名された。

3-5 上位目標の達成見込み

上位目標：

気候変動国際研修センター（CITC）が ASEAN 地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤（プラットフォーム）として機能する。

CITCにより ASEAN 向け研修やセミナーが継続的に実施されれば、プロジェクト終了後3年から5年以内に、上位目標が達成される見込みは十分にあると考えられる。ただし CITC の研修管理能力については、さらなる向上の余地があり、今後も能力強化に向けた取り組みを継続的に実施していくことが求められる。

プロジェクトの支援の下、タイ国内向けの研修実施のための仕組みとネットワークが構築されたが、気候変動の世界的な潮流に適時に対応するための CITC の能力は、さらなる向上が求められる。CB チーム職員は質の高い研修を実施するための技術と知識の習得に向けた多大な努力を続けてきたが、現時点では ASEAN 関係者のさまざまなニーズに対応した研修を提供するための十分な経験を有しているとはいえない。CITC が継続的に研修を実施し、職員の知識や経験が蓄積されていくことにより、ASEAN 諸国を対象とした研修センターとしての CITC の役割がより広域に認知されていくことが期待される。

また、CITC は、実施した研修のモニタリング・評価を通じたサービス品質の向上と参加者の満足度の向上への取り組みを重要視しており、ASEAN 諸国のそれぞれのニーズに合致した研修を提供する努力は、今後より一層積極的に取り組まれる見込みである。

指 標	達成状況
1) ASEAN 開発途上諸国のニーズに対応した地域研修やセミナーが CITC によって継続的に実施される。	<p>指標 1) については、ASEAN 向けの研修やセミナーの実施を通じて、指標の達成のための取り組みが継続されている。CITC の能力強化については、ASEAN 関係者向け研修実施に向けて、さらなる能力強化を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ国内・国外で開催された各種気候変動関連会議や二国間会議の場の機会を利用して、JICA 専門家チームと TGO が CITC 及び CITC 活動に関する情報を発信している。 ・国内 / 国際機関、研究機関や大学などの関係者間のネットワーク構築が進んでおり、プロジェクト期間終了後にも継続的に ASEAN 諸国のニーズに沿った地域研修を実施する基盤が整いつつある。

3-6 実施プロセス

JICA 専門家と C/P 職員間の日常的なコミュニケーションに問題はみられない。これは、中間レビューの提言に対し、タイ側、日本側双方の努力によって改善されたものである。

3-7 貢献・阻害要因

プロジェクト実施における貢献・阻害要因については、以下の項目が挙げられる。

(1) 貢献要因

タイ側の強力なオーナーシップがプロジェクトの円滑な実施に貢献している。TGO はプロジェクト活動以外でも、研修施設の改修、広報・PR 資料の作成、グッズ等のデザインと印刷、国内のワークショップ開催に係る諸経費、タイ国外のイベントへの参加、ネットワー

キング活動に係る諸経費、eラーニング構築、一部研修教材等作成などの予算を確保しており、CITCの活動に係るオーナーシップは非常に高いといえる。

(2) 阻害要因

人材配置と能力開発は技術協力の最も重要な投入の一つであるが、本プロジェクトの直接的なC/PであるCBチーム以外の職員については、プロジェクト活動への直接的な参加が限定的であったため、技術移転が十分に行われた職員数は限られ、プロジェクト活動実施のうえでの阻害要因となった。

第4章 5項目評価に基づく評価結果

妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性の評価5項目については、「非常に高い」「高い」「中程度」「低い」「非常に低い」という5段階の評価基準を用いて評価を行った。

4-1 妥当性：非常に高い

本プロジェクトは、タイの気候変動緩和・適応に関する関係者の能力強化を目的としている。プロジェクトの内容とアプローチは、タイの国家政策、開発ニーズと合致しており、ASEAN地域の開発方針、わが国の対タイ協力方針とも整合していることから、プロジェクトの妥当性は「非常に高い」と評価した。

(1) 国家政策との整合性

本プロジェクトは、気候変動対策能力強化に関するタイの政策、及び戦略と一致している。2014年9月12日にタイ国首相より発表された国家政策（Government's State Policies）の主要10項目のうち、「政策7：ASEAN共同体における役割と機会」の項目にASEAN地域のネットワーク構築のための方針が記載されており、「政策9：天然資源のセキュリティと保全と持続可能な利用のバランスの維持」の項目に環境・気候変動対策の重要性が明記されている。また、タイ政府は「第11次国家経済社会開発計画（National Economic and Social Development Plan：NESDP）2012-2016」において、「低炭素社会の実現」「持続的な成長の実現」「温室効果ガスの排出削減」を掲げており、気候変動に関する能力強化は、現在策定中の次期開発計画である「第12次国家経済社会開発計画2017-2021」の優先課題の一つとして国家経済社会開発委員会（NESDB）にも認識されている。さらに、タイの気候変動マスタープランにおいては、三つの主要項目として、「気候変動への適応」「気候変動管理のための能力開発」「GHG排出削減と低炭素社会の推進」を掲げている。以上のことから、プロジェクトの目的はタイの国家政策、計画と整合しているといえる。

(2) 地域政策との整合性

東南アジア地域における気候変動緩和・適応のための情報共有と能力開発をめざすCITCの役割は、「ASEANロードマップ（2009-2015）」の以下の記載、「平等性、柔軟性、有効性、責任範囲、各個の能力に関する原則に基づいた緩和策・適応策の実施を通じて、ASEAN諸国における社会経済開発、保健・環境分野への気候変動の影響を含む、総合的な気候変動の課題に対処するための地域間及び国際的な協力関係の強化」と合致している。また、「ASEAN政治・安全保障共同体ブループリント2025」においては、持続的な気候変動対策の戦略として、気候変動適応・緩和のための人材・組織能力開発が掲げられており、CITCの能力強化を支援する本プロジェクトはASEANの地域政策とも整合している。

(3) 日本国政府の援助政策との整合性

わが国の「対タイ王国国別援助方針（2012）」では、三つの重点分野の一つに、環境・気候変動問題が含まれており、本プロジェクトの目的は日本の援助方針と合致している。また、2014年9月の国連気候変動サミットの本会議では、安倍総理大臣が「気候変動分野におい

で合計1万4,000人の人材育成を支援する」ことを宣言しており、プロジェクトは同誓約とも整合している。

4-2 有効性：高い

プロジェクトが目標とするCITCの能力強化は、成果1から成果3の達成により、当初プロジェクトが計画していた水準で達成されている。国際的な潮流に合わせたカリキュラム開発や、ASEAN諸国を対象とした研修の実施に関するCITC職員の能力はさらなる向上の余地があるものの、プロジェクト目標の指標は既に達成されており、プロジェクトによる支援の成果が十分に確認されたことから、有効性は「高い」と評価した。

(1) プロジェクト目標の達成状況

「3-4 プロジェクト目標の達成状況」で述べたとおり、さらなる能力強化の推進が望まれるものの、プロジェクト目標の指標1)と2)は終了時評価時点で既に達成されている。CITCのための研修管理、ロジスティクス、ナレッジシステムのための仕組みがプロジェクトの支援の下で構築されており、関係機関とのネットワーク構築が大きく進展した。

研修実施のための各プロセスにおける作業手順はCITCに定着しており、CBチーム職員は研修管理の経験を着実に蓄積してきた。また、研修実施に用いられる管理ツールがJICA専門家により導入され、状況に応じた改訂を加えながら有効に活用されている。CBチーム職員の能力開発については、プロジェクト活動への積極的な参加を通じた研修管理能力の向上が確認された。研修教材やカリキュラムの開発、更新に向けた、国内外の気候変動関係機関、研究機関や大学等とのネットワーク構築についても、確実な進展がみられる。

一方で、時々刻々と変化する気候変動関連のニーズに対応した研修カリキュラムの開発に向けては、今後も継続的な取り組みが必要となる。CBチーム職員は、プロジェクトの残余期間、及びプロジェクト終了後に計画されている国際研修の実施プロセスにおいて、研修管理の実践経験を蓄積していくことが求められる。また、ASEAN関係者向けの研修を継続実施するためには、さらなるネットワークの拡大、強化を推進していくことが望まれる。

4-3 効率性：中程度

日本側投入（専門家派遣、機材の提供、本邦研修の実施、プロジェクト活動費）、タイ側投入（C/P職員の配置、専門家執務室の提供、プロジェクト活動費）ともに、おおむね適切に実施され、各成果の達成に貢献した。しかしながら、タイ側関係者の一部からは日本人専門家の派遣タイミングについて改善の指摘がなされた。また、タイ側が配置したC/P職員のうち、直接プロジェクト活動に参加した職員数が限られたことが、技術移転の効率性を高めるうえでの課題として挙げられる。上記のとおり、日本側、タイ側双方の人員配置において、改善すべき課題がみられたことから効率性は「中程度」と評価した。

(1) 日本側投入の効率性

プロジェクトの実施においては、これまで長期専門家1名、短期専門家9名が派遣されており、専門知識を生かしたプロジェクト活動を実施してきた。ただし、一部のC/Pからは短期専門家の派遣のタイミングをより適切に設定すべき、という意見も挙げられている（タイ

側 C/P と短期専門家の双方にとって都合の良いスケジュールを調整することが難しかったためと考えられる。中間レビューにてこの点を指摘し、その後はより頻繁なコミュニケーションによって多少の改善がみられた)。供与機材は必要に応じて調達され、プロジェクト活動の実施において効果的に活用され、CITC によって適切に管理されている。また、本邦研修は、タイ側の関係者のスキルと知識の向上のために、これまでに 3 回実施され、延べ 27 名が参加した。

(2) タイ側投入の効率性

人材配置と能力開発は技術協力の最も重要な投入の一つであるが、本プロジェクトの直接的な C/P である、CB チーム職員に対しては十分な能力開発が行われた。タイ側は CB チーム以外の部からも C/P 職員を配置していたが、プロジェクト活動への直接的な参加は限定的であった。よって、技術移転が十分に行われた職員数は限られたことが課題として挙げられ、他部署の職員を巻き込むための日本側の積極的な働きかけと、タイ側による協力がさらに必要であった。また、プロジェクトの実施に必要な設備と JICA 専門家のための執務スペースは計画どおりタイ側によって提供されている。

4-4 インパクト：高い

CITC が ASEAN 向けの研修を継続的に実施し、CB チーム職員が国際的な研修の経験を蓄積していくことで、CITC の「ASEAN 諸国を対象とした研修センター」としての役割が広域に認知されることが期待される。上位目標の見込みが十分にあると考えられるため、インパクトは「高い」と評価した。

(1) 上位目標の達成の見通し

「3-5 上位目標の達成見込み」で述べたとおり、プロジェクト終了後数年以内に上位目標が達成される可能性は十分に高いといえる。プロジェクトの支援の下、タイ国内向け研修実施のための仕組みが確立され、ネットワークの構築に大きな進展がみられた。しかし、ASEAN 諸国向けの研修実施については、国際的な気候変動の潮流に適時に対応するためのさらなる能力強化が必要である。また、現時点では、CITC が ASEAN 関係者のための研修を実施するための十分な経験を有しているとはいえない。

CB チーム職員は研修管理能力の向上を図るとともに、研修実施後のモニタリング・評価を通じた研修の品質向上と受講者の満足度向上に取り組んでおり、ASEAN 諸国のそれぞれのニーズに合致した研修を提供する努力は、今後も継続される見込みである。プロジェクト終了後 3～5 年以内に CITC が ASEAN 地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワークの基盤として機能するためには、CITC は適切な作業設計と人員予算配分の下で、ASEAN 諸国を対象としたプログラムを継続的に実施していくことが求められる。

4-5 持続性：高い

プロジェクト終了後にも十分な人材配置と予算配分が求められ、また C/P の継続的な能力強化に対する取り組みが必要となるが、プロジェクトは既存の国家政策や地域政策と整合しており、C/P の強いオーナーシップの下で積極的な活動の展開が継続されることが見込まれるため、持続

性は「高い」と評価した。

(1) 政策面

CITC のミッションは、2014 年 9 月にタイ首相によって発表された政府の国家政策に沿ったものである。また、タイ政府は気候変動に関する能力開発のための研修センターの重要性を認識しており、CITC の ASEAN 共同体のための気候変動に関する知的ハブとしての役割は、2015 年 12 月には 2015 年の MONRE の重要な成果の一つとして発表された。2015 年度の MONRE アクションプランにおいては、CITC の対象が ASEAN 諸国を含むことについても明確に定められている。MONRE の 5 年計画（2016-2022）においても、TGO は NAMA の推進や気候変動対策の能力開発にかかわる組織として指定されている。これらの政策や計画は、プロジェクトの持続可能性に貢献するものであると考えられる。

(2) 財政面

プロジェクト終了後も、CITC の強いオーナーシップの下で、タイの関係者や ASEAN 諸国を対象とした能力強化活動は継続的に実施、改善されていく予定である。CITC が将来に向けた明確な方向性をもっていることに加え、CITC の活動が政府の優先事項と整合していることから、TGO による人員配置、予算配分といった財政面での後押しを受けながら活動を継続していくことが期待される。

(3) 組織面

タイ国内外において、気候変動関連の能力開発の重要性が増していくなかで、CITC の認知度はタイ国内での研修実績を通じて向上している。しかし、常に変化するニーズに対応し、適切に研修を開発、更新するためには、依然として課題も残る。CITC が適切な研修管理を行うための仕組みは、プロジェクト実施期間中に既に確立されているものの、ASEAN 諸国向けの研修を運営していくため CITC の経験は十分とはいえない。今後の継続的な研修実施により、CB チーム職員に経験が蓄積され、CITC の能力が向上していくことが組織面の持続可能性の向上のための鍵となる。

(4) 技術面

各 TGO 職員はそれぞれの専門知識を組織内で共有し、他部署間との共同作業を推進することが奨励されている。この方針により、CB チーム外の TGO 職員はそれぞれの専門分野に応じ、さまざまな形で CITC の活動にかかわってきた。ただし、TGO 職員は技術的な専門知識を有している一方で、研修講師として効果的な指導を行うためのスキルは十分ではない。CITC の内部資源を強化し、技術的な持続可能性を高めるためには、指導技術についても向上させていく余地がある。

(5) CITC の研修運営に係る持続性

CITC は「気候変動緩和・適応に関する能力強化の推進」「気候変動緩和・適応に関する知識の普及」及び「ネットワークングプラットフォームの推進」といった三つの役割をもっており、その対象範囲はタイの関係者のみならず、ASEAN 諸国の関係者も含まれている。

CITC の研修運営に係る持続性を確保するためには、適切な作業計画に基づく、人的資源と資金の配分を行うことが重要である。

4-6 結 論

本プロジェクトは、タイ国内、及び ASEAN 諸国関係者のニーズに応じた CITC のフォーカルポイントとしての TGO の能力強化をめざすものである。本プロジェクトは、タイの国家政策、地域政策、及び日本政府の援助方針に沿ったものであり、プロジェクトの妥当性は「非常に高い」と評価された。また、CITC のフォーカルポイントとしての TGO の能力強化については、プロジェクト目標が達成されているものの、さらなる継続的な改善の余地があるため有効性は「高い」と判断された。一方、プロジェクトへの投入、特に人材配置に関していくつかの課題が観察されたため、効率性は「中程度」と評価される。C/P の継続的な努力により上位目標の達成が十分に見込まれることからプロジェクトのインパクトは「高い」と評価された。持続性については、十分な人や予算配分と C/P の継続的な能力強化が必要ではあるものの、プロジェクトは既存の政策と整合しており、タイ側による継続的な活動の展開が期待されることから「高い」と判断された。

第5章 提言・教訓

プロジェクトの残余期間、及びプロジェクト完了後のさらなる改善のために、終了時評価団は以下に示すとおり、提言をまとめた。

5-1 提言

(1) CB チーム職員のさらなる能力強化

C/P はプロジェクト終了後も ASEAN 諸国向けの研修コース実施を含め、研修実施活動をさらに拡大させることについて高い意欲をもっている。今後、タイや ASEAN 諸国の研修ニーズを調査し、研修コースの具体的な計画に反映し、適正な予算や人材配置の下で研修を実施することを計画している。今後、より良い研修の成果を残すため、以下に係る CITC 職員のさらなる能力強化が推奨される。

- ① 気候変動分野の国際的潮流に沿った新たな研修課題に対応した研修カリキュラムの開発
- ② 社会経済的状況や環境の多様性を考慮した研修ニーズ評価を含めた ASEAN 諸国向けの研修管理について、さらなる能力向上
- ③ 研修コースのモニタリングと評価による、研修の質と研修員の満足度向上

(2) ネットワークのさらなる拡大

ネットワーキングのプラットフォームとしての役割を強化するため、継続的にタイ国内外のさまざまな関係機関とのネットワークを拡大することが強く推奨される。

5-2 教訓

2010 年から 2012 年にかけて実施した「タイ王国温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」は、2007 年に新設された TGO と JICA の協力関係の下で実施された。同プロジェクトに引き続いて、2013 年 6 月より東南アジア地域における気候変動緩和と適応の能力開発を目的とした本プロジェクトが実施されている。C/P である TGO は、これら二つのフェーズを通じて、気候変動に関するダイナミックな環境下での幅広い関係者の多様なニーズに対応を続けており、それにより着実に発展を遂げてきている。本プロジェクトは、C/P の強い意志と、JICA 専門家の尽力や専門性により、TGO と関係者の能力向上に多大な貢献をしてきたといえる。

これらは、JICA の技術支援の下、C/P のリーダーシップ、とりわけ継続的な能力向上に向けた高い志と、品質保証と顧客満足へのこだわりによって、C/P のビジョンとミッションの大部分が実現された事例といえる。C/P 機関の基本理念は、能力開発に向けた協力計画の策定と事業実施を検討するうえで重要な要素の一つであり、他の類似案件にも適用可能な教訓である。

5-3 団長所感

本プロジェクトは、「タイ国内及び ASEAN 開発途上国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される」ことを目標として 2013 年 6 月より開始され、2016 年 5 月の終了を前に、今回、終了時評価を迎えたものである。本プロジェクトは、その支援によって設立・機能強化された CITC が、タイ国内のみならず

ASEAN 開発途上諸国への裨益をめざす点に、その特徴があるといえる。

本評価調査は、これまでの活動の実績、プロジェクト目標や成果の達成状況等を確認するとともに、CITC の発展に向けた提言を行うことを基本方針として実施した。調査を通じ、専門家チームの支援の下、タイ国内向け研修が CITC により確実に実施され、また ASEAN 開発途上国向け研修開催に向けた準備も進められており、これらを通じて CITC の研修センターとしての能力が着実に強化されていることが確認された。2010 年～2012 年に実施した「タイ王国温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」及び本案件による TGO への継続的な支援が、人材育成拠点整備における成果を確実に残しつつあると考えられる。

また協議を通じ、今後 CITC がタイ国内向け及び ASEAN 向け研修において高い成果を残していくために、気候変動対策分野の国際的潮流に沿って新たに発生する研修ニーズへの迅速な対応能力の強化、及び ASEAN 向け研修実施機関としての経験・知見の蓄積やさらなる能力強化が求められることについて先方との共通認識に至り、これについては合同評価報告書の提言として合意した。

限られた調査期間であったが、協議全体を通じて、先方関係者のプロジェクトに対する非常に高いオーナーシップと、CITC がタイ国内及び ASEAN 向けに質の高い研修を提供することについての強い使命感が感じられた。残り協力期間を含めた今後の継続的な取り組みにより、CITC がタイ国内向け及び ASEAN 向け研修機関として大きく発展することを期待したい。

付 属 資 料

1. 終了時評価に使用した PDM
2. 終了時評価に使用した PO
3. 評価グリッド
4. 日本側投入実績
5. タイ側投入実績
6. 研修実施進捗状況
7. 主要面談者リスト
8. 署名済み協議議事録

プロジェクト・デザイン・マトリックス

Project Design Matrix

The Project for Capacity Development on Mitigation/ Adaptation for Climate Change in the Southeast Asia Region
PDM version 1 (21 June 2014)

Target area: Thailand and ASEAN developing countries

Target group: TGO, Government agencies related to Climate Change

Cooperation period: 2013- 2016, 3 years

Narrative summary	Indicators	Means of verification	Important assumption
Overall goal			
The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.	Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC.	Participants' evaluation sheets of the trainings and seminars.	ASEAN developing countries utilize the CITC for their own capacity building in further implementing Climate Actions.
Project purpose			
Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.	Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established. Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.	Progress Report of the Project.	Thai government continues support of the CITC by securing budget and seeks strategic partners to sustain and expand activities.
Outputs			
1. CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations.	<ul style="list-style-type: none"> Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document. Website-based knowledge platform for information dissemination is established. Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses. 	<ul style="list-style-type: none"> The CITC business plan Number of literatures/ documents uploaded on CITC website. Training materials for selected training courses. 	<ul style="list-style-type: none"> Related Thai government organizations sustain the support of climate change policy and coordinate with ASEAN developing countries. ASEAN developing countries participate trainings, and collaborate by providing experiences of their own countries.
2. Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.	<ul style="list-style-type: none"> Trainers are developed for selected courses. At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents. 	<ul style="list-style-type: none"> Trainer database. Evaluation sheets of participants Record of training contents and participants 	
3. Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.	<ul style="list-style-type: none"> Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries 	<ul style="list-style-type: none"> Progress Reports of the Project Reports of seminar/ workshop/ training 	

Activities	Inputs from Japan	Inputs from Thailand	Precondition
1-1 Set-up institutional framework of the CITC.	Long-term and Short-term experts on specific technical issues	1) Project Director	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-2 Conduct needs assessment on target groups in Thailand (governments, and non-governments) and ASEAN focal points of climate change.	1) Team Leader 2) LCS 3) Mitigation 4) Adaptation 5) GHG Inventory 6) Curriculum development and training management Local consultants (curriculum development, etc.)	2) Project Manager 3) Project Coordinator 4) Relevant counterparts <Office space and facilities> Office space in TGO Training facility <Operational cost> Necessary expenses for local trainings, meetings and operation cost for activities identified in the Project.	
1-3 Identify training resources by coordinating stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries depending on the themes	<Machinery and equipment> Scanner, notebook, LCD projector, electronic active board, video camera, TV monitor, and training equipment such as analytical tools where needed. <Trainings> Trainings in Japan. Part of necessary expenses for trainings in Thailand, meetings and operation cost for activities identified in the Project.		
1-4 Develop curriculum (with Thai stakeholders or with international stakeholders depending on the themes)			
1-5 Strengthen Information management system by developing information knowledge platform and website			
2-1 Conduct trainings on selected topics for related stakeholders.			
2-2 Develop trainers through train the trainers (TTT) activities			
3-1 Develop training courses for ASEAN developing countries based on the needs assessment.			
3-2 Organize workshops to share knowledge and experience on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries			

2. 終了時評価に使用した PO

プラン・オブ・オペレーション (PO)

Plan of Operation

Work Item	Year																																															
	2013				2014				2015				2016																																			
	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun																							
Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(Output 1) Preparation for establishment of CITC through collaboration among TGO and relevant organizations																																																
Set up institutional framework of the CITC	■																																															
Conduct needs assessment on target groups in Thailand and ASEAN focal points of climate change	■																																															
Identify training resources	■																																															
Develop training curriculum and trainin materials	■																																															
Strengthen information management system by developing LCS information knowledge platform and website	■																																															
(Output 2) Implementation of trainings on climate change mitigation/ adaptation																																																
Develop and Conduct Comprehensive Course on Low Carbon Society	■																																															
Develop and Conduct Comprehensive Course on GHG Inventory	■																																															
Monitoring of capacity development progress	■																																															
Preparation and Implementation of Training in Japan	□																																															
(Output 3) Capacity development program on mitigation/ adaptation shared among ASEAN developing countries																																																
Develop specific training course for ASEAN developing countries based on the needs assessment	■																																															
Organize workshop to share the knowledge and experiences on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries	■																																															
Preparation work and reporting																																																
Conduct Joint Coordinating Committee and Steering Committee	■																																															
Conduct capacity assessment for TGO staff	■																																															
Preparation of Progress Report (No.1 to No.5)	■																																															
Mid-term review and Terminal evaluation	■																																															
Prepare Project Completion Report	□																																															

Legends : ■ Work in Thailand
□ Activities in Japan
△ Submission of the Reports

評価グッド

3. 評価グッド

タイ王国 東南アジア地域気候変動緩和・適応能力強化プロジェクト

1. プロジェクトの達成状況

調査項目		指標・確認項目	調査結果								
大項目	小項目										
1. 投入の実施状況	日本側投入〔専門家派遣、機材供与、カウンターパート(C/P)研修、予算〕は計画どおり実施されているか？	<ul style="list-style-type: none"> 1) 専門家派遣 長期専門家、短期専門家 2) 本邦研修 3) 資機材供与 4) 現地活動費 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013年7月から長期専門家1名が派遣されている。 ・ 短期専門家9名が派遣されており、日本及びタイでの業務の合計53.6MM(2015年10月末まで)であった。短期専門家の担当分野は、①総括/気候変動対策、②低炭素開発1、③低炭素開発2/研修計画3、④温室効果ガス(CHG)イベントリ、⑤適応策/緩和策1、⑥研修計画1、⑦研修計画2/研修マネジメント2、⑧業務調整/研修マネジメント1、⑨ビジネスプラン作成である。 ・ これまでに本邦研修が3回実施され、延べ27名が参加した。 ・ 第1回本邦研修〔気候変動国際研修センター(CITC)一般職員が参加する一般研修〕：参加者9名/2013年11月25日～12月7日 ・ 第2回本邦研修〔タイ国家温室効果ガス管理機構(TGO)理事会メンバー等の参加する準高級研修〕：参加者6名/2014年1月15日～1月22日 ・ 第3回本邦研修(TGO職員とタイの地方政府・大学等関係者)：12名/2015年1月19日～1月30日 ・ スキヤナー1台、ノートPC2台、LCDプロジェクター1台、電子白板1台、VDCレコーダー1台、テレビモニター2台が供与された。調達金額の合計は29万8,000バーツ(約102万2,736円)。 ・ 合計で1,361万7,000バーツ(約4,673万3,544円)が、現地活動費として支出された。 ・ プロジェクト・ディレクター1名、プロジェクト・マネジャー1名、C/P職員17名(うちCBチーム正規職員6名)が配置されている。 ・ JICA専門家の執務スペースが、タイ政府合同庁舎のTGO事務所内に設置された。また、事務所備品、建物設備、並びに必要に応じてセミナー、会議開催場所が提供された。 ・ TGO及びCITCの予算(実際の執行額)は以下のとおり。 								
	タイ側投入(人員、建物・施設、予算)は計画どおり実施されているか？	<ul style="list-style-type: none"> 1) C/Pの人材配置 2) 施設・設備 3) ローカルコスト 	<p>(単位：タイバーツ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会計年度(10月～9月)</th> <th>TGO予算</th> <th>CITC予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年度(2013年10月～2014年9月)</td> <td>133,071,199</td> <td>8,515,487</td> </tr> <tr> <td>2015年度*(2014年10月～2015年9月)</td> <td>125,389,710</td> <td>11,104,604</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 暫定金額</p>	会計年度(10月～9月)	TGO予算	CITC予算	2014年度(2013年10月～2014年9月)	133,071,199	8,515,487	2015年度*(2014年10月～2015年9月)	125,389,710
会計年度(10月～9月)	TGO予算	CITC予算									
2014年度(2013年10月～2014年9月)	133,071,199	8,515,487									
2015年度*(2014年10月～2015年9月)	125,389,710	11,104,604									
2. 成果の達成状況	成果1 TGOと関係機関の協力	1-1. CITCの組織図、綱領、配分される予算がCITCの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標1-1は達成された。 ・ 2015年2月に開催された第3回合同調整委員会(JCC)において承認されたビジネスプランの最新版に、 								

1 | 1バーツ=3,432円 (JICA 統制レート 2015年12月)

評価グリッド

調査項目		指標・確認項目	調査結果																																				
大項目	小項目																																						
	を通じてCITC設立の準備がなされる。	<p>文書に記載される。</p> <p>1-2. ウェブサイトによる情報伝達するための知識プラットフォームが確立される。</p> <p>1-3. 特定の研修プログラムについて研修教材（タイ語及び英語）が開発される。</p>	<p>調査結果</p> <p>CITCの組織図、活動計画、戦略、サービス内容、収益計画が明記された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TGOより配賦されるCITCの予算については、TGOの年度予算計画に記載されている。 <p>指標 1-2は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TGOはCITCポータルサイトの内容を継続的に更新している。主な内容は、①研修カリキュラムと実施スケジュール、②CITCイベントに関する情報、③イベントの様子や参加者インタビューのビデオストリーミング配信となっている。ウェブサイトのコンテンツは今後もさらに充実される見込みである。 ・ eラーニングシステムの設計及びモジュール開発計画に関する会合、協議を行い、2015年末にeラーニングシステムが完成した。TGOはJICA専門家の技術的な助言を受けつつ、自己予算でシステム設計、運用手法の構築、改善を行っている。 <p>指標 1-3は達成される見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修教材、もしくはプレゼンテーション資料が七つのコースについて作成済みである。 ・ 終了時評価時点でASEAN向けの3コースについては研修教材の作成中であるが、これらの研修教材は2016年2月までに完了する予定となっている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">研修コース対象/研修名</th> <th style="text-align: center;">研修カリキュラム策定状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">GHGインベントリ管理</td> </tr> <tr> <td>タイ中央政府の実務者コース</td> <td>完了（英語、タイ外部専門家により策定）</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府の実務者コース</td> <td>延期（将来検討）</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 中央政府の実務者コース</td> <td>開発予定</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 地方政府の実務者コース</td> <td>開発予定</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低炭素でレジリエントな社会開発</td> </tr> <tr> <td>タイ中央政府の幹部コース</td> <td>完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）</td> </tr> <tr> <td>タイ中央政府の実務者コース</td> <td>完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府の実務者コース</td> <td>完了（英語、タイ語）</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府の政策策定者コース</td> <td>完了（英語、タイ語）</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者コース</td> <td>ピアレビュー会議を受けて改訂中</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">緩和メカニズム</td> </tr> <tr> <td>タイ関係者コース</td> <td>完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者コース</td> <td>ピアレビュー会議を受けて改訂中</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">持続的なGHG管理</td> </tr> <tr> <td>気候変動経済学（タイ）</td> <td>完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）</td> </tr> <tr> <td>気候変動ファイナンス（ASEAN）</td> <td>研修ニーズ評価（TNA）を受けて改訂を検討中</td> </tr> </tbody> </table>	研修コース対象/研修名	研修カリキュラム策定状況	GHGインベントリ管理		タイ中央政府の実務者コース	完了（英語、タイ外部専門家により策定）	タイ地方政府の実務者コース	延期（将来検討）	ASEAN 中央政府の実務者コース	開発予定	ASEAN 地方政府の実務者コース	開発予定	低炭素でレジリエントな社会開発		タイ中央政府の幹部コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）	タイ中央政府の実務者コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）	タイ地方政府の実務者コース	完了（英語、タイ語）	タイ地方政府の政策策定者コース	完了（英語、タイ語）	ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中	緩和メカニズム		タイ関係者コース	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）	ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中	持続的なGHG管理		気候変動経済学（タイ）	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）	気候変動ファイナンス（ASEAN）	研修ニーズ評価（TNA）を受けて改訂を検討中
研修コース対象/研修名	研修カリキュラム策定状況																																						
GHGインベントリ管理																																							
タイ中央政府の実務者コース	完了（英語、タイ外部専門家により策定）																																						
タイ地方政府の実務者コース	延期（将来検討）																																						
ASEAN 中央政府の実務者コース	開発予定																																						
ASEAN 地方政府の実務者コース	開発予定																																						
低炭素でレジリエントな社会開発																																							
タイ中央政府の幹部コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）																																						
タイ中央政府の実務者コース	完了（教科書タイ語、プレゼン資料英・タイ語）																																						
タイ地方政府の実務者コース	完了（英語、タイ語）																																						
タイ地方政府の政策策定者コース	完了（英語、タイ語）																																						
ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中																																						
緩和メカニズム																																							
タイ関係者コース	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）																																						
ASEAN 関係者コース	ピアレビュー会議を受けて改訂中																																						
持続的なGHG管理																																							
気候変動経済学（タイ）	完了（タイ語、タイ外部専門家により策定）																																						
気候変動ファイナンス（ASEAN）	研修ニーズ評価（TNA）を受けて改訂を検討中																																						

評価グッド

調査項目		指標・確認項目	調査結果																							
大項目	小項目																									
成果 2	TGO とタイの関係機関によって緩和/適応に関する研修が実施される。	2-1. 特定の研修コースにおいて、研修トレーナーが育成される。	<p>指標 2-1 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各研修受講者のなかから選定された人材を対象に指導者育成研修 (TTT) を実施した。TTT の参加者は延べ 107 名となり、十分な数の研修指導員候補者が育成されたと考えられる。各コースの研修指導員候補者の内訳は、「GHG インベントリ管理」で 19 名、「低炭素でレジリエントな社会開発」で 33 名、「持続的な GHG 管理/気候変動経済」で 13 名、「緩和メカニズム」で 42 名である (TTT の詳細は「活動 2-2 の進捗状況」の内訳を参照)。 																							
	成果 3	緩和/適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。	<p>指標 2-2 は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトが直接実施支援をした研修コースにおいては、指標が達成された。 実施予定のコースについては現時点で判断ができないものの、実施済みの研修についてはすべて高い評価を受けており、CB チーム職員の研修管理能力、並びに TNA を通じた研修カリキュラムの策定においても着実な成果がみられることから、今後実施予定の研修についても適切に研修が運営される可能性が高い。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">低炭素でレジリエントな社会開発</th> </tr> <tr> <th>研修コース</th> <th>実施時期</th> <th colspan="2">満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイ中央政府の管理者コース</td> <td>2015 年 8 月 31 日</td> <td colspan="2">88%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 3.8)</td> </tr> <tr> <td>タイ中央政府の実務者コース</td> <td>2015 年 8 月 31 日～9 月 2 日</td> <td colspan="2">100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.7)</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府の実務者コース</td> <td>2014 年 12 月 17～19 日</td> <td colspan="2">100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府の管理者コース</td> <td>2015 年 3 月 5～6 日/ワークショップ形式</td> <td colspan="2">100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標 3-1 は達成される見込みである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ASEAN 向けのワークショップがこれまでに 2 回開催された (第 1 回目 2014 年 5 月 8 日及び 9 日の 2 日間、第 2 回目 2015 年 6 月 22 日～24 日の 3 日間、第 3 回目 2016 年 3 月に実施予定)。 2016 年 2 月、3 月に ASEAN 関係者向けの研修が 3 コース実施される予定となっている。予定されている研修コースは、①「持続可能な開発のための気候変動 (CCSD)」、②「緩和メカニズム」、③「持続的な GHG (ASEAN 向け気候ファイナンス)」である。 ASEAN 諸国の関係者をレビューとしたピアレビュー会議を開催し、研修カリキュラムの改訂を行っている。 	低炭素でレジリエントな社会開発				研修コース	実施時期	満足度		タイ中央政府の管理者コース	2015 年 8 月 31 日	88%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 3.8)		タイ中央政府の実務者コース	2015 年 8 月 31 日～9 月 2 日	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.7)		タイ地方政府の実務者コース	2014 年 12 月 17～19 日	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)		タイ地方政府の管理者コース	2015 年 3 月 5～6 日/ワークショップ形式	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)
低炭素でレジリエントな社会開発																										
研修コース	実施時期	満足度																								
タイ中央政府の管理者コース	2015 年 8 月 31 日	88%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 3.8)																								
タイ中央政府の実務者コース	2015 年 8 月 31 日～9 月 2 日	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.7)																								
タイ地方政府の実務者コース	2014 年 12 月 17～19 日	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)																								
タイ地方政府の管理者コース	2015 年 3 月 5～6 日/ワークショップ形式	100%の受講者が 4.0 以上の評価 (平均点 4.5)																								
3. プロジェクト目標の達成状況	プロジェクト目標 タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の	1) CITC のための研修管理、ナレッジ、ロジスティクスシステムが構築される。	<p>指標 1) は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> タイ国内向け研修の管理に係る一連のプロセスがモデルとして確立した。研修実施に必要な情報、文書、様式、運営管理ツール等が CITC に蓄積されている。 研修実施のための技術や手法を標準化するため、ロジスティックチェックシート等の研修管理ツールが作成された。これらの研修管理ツールは、CB チーム (能力開発・アウトリーチオフィス) 職員により適 																							

評価グリップ

調査項目		指標・確認項目	調査結果
大項目	小項目		
	CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。	2) 研修プログラムの開発及び実施のために関係機関との協力が持続する。	<p>直改良され、プロジェクト終了後のさらなるサービス品質の向上に活用されることが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> CB チーム職員のプロジェクト活動への積極的な参加を通じて、ロジスティクス技術の向上をはじめ、CIP 職員の能力強化に著実な成果がみられる。 <p>指標 2) は達成された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修実施、カリキュラム・教材のアップデートのための、タイ国内外の関連機関、大学や研究機関とのネットワーク構築に大きな進展がみられた。 地球環境戦略研究機関 (IGES) や国立環境研究所 (NIES) との連携により、低炭素アジア研究ネットワーク (LoCARNet) の研究者のネットワークを活用する基盤が整った。このようなネットワークは TGO が最新の国際議論や動向をいち早く研修カリキュラム・教材に取り入れるために役立てられる。また、将来的な ASEAN 諸国とのネットワーク構築への活用も期待される。 プロジェクト終了後の継続的な協力関係の構築のため、CITC、海外環境協力センター (OECC)、タマサート大学シンントン国際工学部 (SIIT)、プリンスオブソククラーク大学 (PSU)、タイ国地方自治体協会 (NMT) との間で協力覚書が署名された。
4. 上位目標の達成状況・見込み	<p><u>上位目標</u> CITC が ASEAN 地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワークキッキングの基盤（プラットフォーム）として機能する。</p>	<p>1) ASEAN 開発途上諸国のニーズに対応した地域研修やセミナーが CITC によって継続的に実施される。</p>	<p>指標 1) については、ASEAN 向けの研修やセミナーの実施を通じて、指標の達成のための取り組みが継続されている。CITC の能力強化については、ASEAN 関係者向け研修実施に向けて、さらなる能力強化を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> タイ国内・国外で開催された各種気候変動関連会議や二国間会議の場の機会を利用して、JICA 専門家チームと TGO が CITC 及び CITC 活動に関する情報を発信している。 国内/国際機関、研究機関や大学などの関係者間のネットワーク構築が進んでおり、プロジェクト期間終了後にも継続的に ASEAN 諸国のニーズに沿った地域研修を実施する基盤が整いつつある。

評価グリップ

II. 実施プロセスの検証

調査項目		確認項目	調査結果																													
大項目	小項目																															
1. 活動計画の進捗状況	成果1に係る活動	活動1-1の進捗状況 CITCの組織フレームワークの設立。	<ul style="list-style-type: none"> CITC ビジネスプランが作成され、2015年2月に開催されたJCCにおいて最新版が承認された。また、研修プログラムの開発から実施に至る各プロセスで関与、協力、参加を得るタイ国内外の関係機関を特定し、ネットワークの強化を推進している。 TGO と共同で、CITC に係る研修ニーズ評価 (TNA) を実施。 																													
	成果1に係る活動	活動1-2の進捗状況 タイ関係機関、ASEANの気候変動フォーカルポイントを対象としたニーズ調査の実施。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修テーマ</th> <th>TNA 対象者</th> <th>実施時期/手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GHG インベントリ管理</td> <td>中央政府実務者向け</td> <td>2013年8月 質問票、2013年11月ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>低炭素でレジリエントな社会開発</td> <td>ASEAN 関係者向け</td> <td>2014年8月 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中央政府実務者、管理者</td> <td>2013年6月 質問票、2013年8月会議</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方実務者、管理者</td> <td>2014年8月 参加型ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASEAN 関係者</td> <td>2014年5月 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者</td> <td>2015年6月 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイ国内 4 地域における地方政府幹部、実務者</td> <td>2014年11月 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者</td> <td>2015年6月 質問票、ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASEAN 諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者</td> <td>2015年10月 質問票、ワークショップ</td> </tr> </tbody> </table>	研修テーマ	TNA 対象者	実施時期/手段	GHG インベントリ管理	中央政府実務者向け	2013年8月 質問票、2013年11月ワークショップ	低炭素でレジリエントな社会開発	ASEAN 関係者向け	2014年8月 質問票、ワークショップ		中央政府実務者、管理者	2013年6月 質問票、2013年8月会議		地方実務者、管理者	2014年8月 参加型ワークショップ		ASEAN 関係者	2014年5月 質問票、ワークショップ		ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者	2015年6月 質問票、ワークショップ		タイ国内 4 地域における地方政府幹部、実務者	2014年11月 質問票、ワークショップ		ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者	2015年6月 質問票、ワークショップ		ASEAN 諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者
研修テーマ	TNA 対象者	実施時期/手段																														
GHG インベントリ管理	中央政府実務者向け	2013年8月 質問票、2013年11月ワークショップ																														
低炭素でレジリエントな社会開発	ASEAN 関係者向け	2014年8月 質問票、ワークショップ																														
	中央政府実務者、管理者	2013年6月 質問票、2013年8月会議																														
	地方実務者、管理者	2014年8月 参加型ワークショップ																														
	ASEAN 関係者	2014年5月 質問票、ワークショップ																														
	ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者	2015年6月 質問票、ワークショップ																														
	タイ国内 4 地域における地方政府幹部、実務者	2014年11月 質問票、ワークショップ																														
	ASEAN 諸国中央、地方政府、学術関係者	2015年6月 質問票、ワークショップ																														
	ASEAN 諸国の中央政府、学術関係者、タイの地方政府、民間企業、金融関係者	2015年10月 質問票、ワークショップ																														
	成果1に係る活動	活動1-3の進捗状況 テーマごとのタイ関係者、ASEAN 発展途上諸国との調整を通じた研修リソースの明確化。	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN 各国の研修リソースを特定し、協力関係の構築を推進している。 プロジェクトの支援の下、NIES や IGES、また、LoCARNet やアジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APAN) といった機関・ネットワークと直接コンタクトし、講師の選定や教授内容の充実に取り組んでいる。 																													
	成果1に係る活動	活動1-4の進捗状況 研修カリキュラムの策定。	<ul style="list-style-type: none"> 「低炭素でレジリエントな社会構築」について①タイ中央政府の幹部コース、②タイ中央政府の実務者コース、③タイ地方政府の実務者コース、④タイ地方政府の政策策定者コースの研修カリキュラムと研修教材を TGO と作成し、カリキュラム作成の際のポイントや研修教材の技術的な内容等について TGO 職員に対して技術移転を行った。 「持続的な GHG 管理」気候変動ファイナンスコースについては TNA を受けカリキュラムの改訂中。 ASEAN 向けの最初の研修コースとなる「低炭素でレジリエントな社会開発」及び「緩和メカニズム」は、ピアレビューを受けて研修カリキュラムの改訂中である。 「GHG インベントリ管理」タイ中央政府実務者コース、「緩和メカニズム」タイ関係者コース、「持続的な GHG 管理」タイ国内向け気候変動経済学コースはタイの外部専門家により研修カリキュラムの作成が完了している。 																													

評価グリッド

調査項目		確認項目	調査結果																																				
大項目	小項目																																						
		活動1-5の進捗状況 情報ナレッジプラットフォーム、ウェブサイトの構築を通じた情報管理体制の強化。	<ul style="list-style-type: none"> 研修やイベントに関する情報発信、タイ国内、ASEAN 諸国の気候変動関係者との情報共有、ネットワーク構築の手段、気候変動緩和・適応に関する情報プラットフォームとして、TGO により CIRC のウェブサイトを開設され、一般に公開されている。 JICA 専門家の技術的な助言を踏まえ、TGO の自己資金によってeラーニングシステムが構築された。TGO は継続的にシステム設計、運用手法の構築、改善に取り組んでいる。 研修の準備、実施、事後評価の各段階で、TGO 職員に対して能力強化を行ったほか、TGO 職員も研修に聴講生として積極的に参加するよう促すことで、技術的なキャパシティの向上を図った。 終了時評価時点で以下の研修コースが実施され、延べ426名が参加した。 <table border="1" data-bbox="564 232 896 1173"> <thead> <tr> <th colspan="3">GHG インベントリ管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイ関係者向け</td> <td>2014年8月～9月、2015年5月、7月</td> <td>受講者 143名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">低炭素でレジリエントな社会開発</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府実務者向け</td> <td>2014年12月</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>タイ地方政府管理者向け</td> <td>2015年3月</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>タイ中央政府実務者及び管理者向け</td> <td>2015年9月</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">緩和メカニズム</td> </tr> <tr> <td>タイ関係者向け</td> <td>2015年9月</td> <td>88名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">持続的な GHG 管理</td> </tr> <tr> <td>気候変動経済学（タイ向け）</td> <td>2015年3月、5月～6月</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">426名</td> </tr> </tbody> </table> 	GHG インベントリ管理			タイ関係者向け	2014年8月～9月、2015年5月、7月	受講者 143名	低炭素でレジリエントな社会開発			タイ地方政府実務者向け	2014年12月	38名	タイ地方政府管理者向け	2015年3月	59名	タイ中央政府実務者及び管理者向け	2015年9月	37名	緩和メカニズム			タイ関係者向け	2015年9月	88名	持続的な GHG 管理			気候変動経済学（タイ向け）	2015年3月、5月～6月	61名	合 計			426名		
GHG インベントリ管理																																							
タイ関係者向け	2014年8月～9月、2015年5月、7月	受講者 143名																																					
低炭素でレジリエントな社会開発																																							
タイ地方政府実務者向け	2014年12月	38名																																					
タイ地方政府管理者向け	2015年3月	59名																																					
タイ中央政府実務者及び管理者向け	2015年9月	37名																																					
緩和メカニズム																																							
タイ関係者向け	2015年9月	88名																																					
持続的な GHG 管理																																							
気候変動経済学（タイ向け）	2015年3月、5月～6月	61名																																					
合 計																																							
426名																																							
	成果 2 に係る活動	活動2-1の進捗状況 対象テーマに応じた研修の実施。	<ul style="list-style-type: none"> 以下の研修コースは今後実施される予定となっている。 <table border="1" data-bbox="948 232 1177 1173"> <thead> <tr> <th colspan="3">GHG インベントリ管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイ地方政府実務者向け</td> <td>プロジェクト期間終了後に実施予定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ASEAN 中央政府実務者向け</td> <td>プロジェクト期間終了後に実施予定</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">持続可能な開発のための気候変動²</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者向け</td> <td>2016年2月29日～3月4日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">緩和メカニズム</td> </tr> <tr> <td>ASEAN 関係者向け</td> <td>2016年2月～3月</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">持続的な GHG 管理</td> </tr> </tbody> </table> 	GHG インベントリ管理			タイ地方政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定		ASEAN 中央政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定		持続可能な開発のための気候変動 ²			ASEAN 関係者向け	2016年2月29日～3月4日		緩和メカニズム			ASEAN 関係者向け	2016年2月～3月		持続的な GHG 管理														
GHG インベントリ管理																																							
タイ地方政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定																																						
ASEAN 中央政府実務者向け	プロジェクト期間終了後に実施予定																																						
持続可能な開発のための気候変動 ²																																							
ASEAN 関係者向け	2016年2月29日～3月4日																																						
緩和メカニズム																																							
ASEAN 関係者向け	2016年2月～3月																																						
持続的な GHG 管理																																							

² 2015年11月より、研修コース「低炭素でレジリエントな社会開発 (Low Carbon and Resilient Society Development: LCRS)」の研修名が「持続的な開発のための気候変動 (Climate Change Management for Sustainable Development: CCSD)」に変更となっている。

評価グリッド

調査項目		確認項目	調査結果																										
大項目	小項目																												
			<p>気候変動ファイナンス 2016年3月</p> <p>活動2-2の進捗状況 TTTによるトレーナーの育成。</p>	<p>終了時評価時点で以下の TTT が実施され、延べ 107 名が参加した。これにより、研修指導員候補者の育成が進められている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修コース</th> <th>対象者</th> <th>実施時期</th> <th>受講者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GHG インベントリ管理</td> <td>タイ中央政府実務者</td> <td>2014年8月～9月</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>低炭素でレジリエントな社会開発</td> <td>タイ地方政府実務者</td> <td>2014年12月</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>持続的な GHG 管理/気候変動経済</td> <td>タイ中央政府関係者</td> <td>2015年3月 2015年5月～6月</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>緩和メカニズム</td> <td>タイ中央政府実務者</td> <td>2015年9月</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合 計</td> <td>107名</td> </tr> </tbody> </table>	研修コース	対象者	実施時期	受講者	GHG インベントリ管理	タイ中央政府実務者	2014年8月～9月	19名	低炭素でレジリエントな社会開発	タイ地方政府実務者	2014年12月	33名	持続的な GHG 管理/気候変動経済	タイ中央政府関係者	2015年3月 2015年5月～6月	13名	緩和メカニズム	タイ中央政府実務者	2015年9月	42名	合 計				107名
研修コース	対象者	実施時期	受講者																										
GHG インベントリ管理	タイ中央政府実務者	2014年8月～9月	19名																										
低炭素でレジリエントな社会開発	タイ地方政府実務者	2014年12月	33名																										
持続的な GHG 管理/気候変動経済	タイ中央政府関係者	2015年3月 2015年5月～6月	13名																										
緩和メカニズム	タイ中央政府実務者	2015年9月	42名																										
合 計				107名																									
	成果 3 に係る活動	<p>活動3-1の進捗状況 ニーゼス評価に基づいた、ASEAN 発 展途上諸国向けの研修コース（カ リキュラム）の開発。</p> <p>活動3-2の進捗状況 気候変動に関する知識と経験の共 有のためのワークショップの開 催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN 向けの三つの研修コース ①低炭素でレジリエントな社会開発、②緩和メカニズム、③持続的な GHG 管理/気候変動ファイナンス) について、研修ニーゼスの把握を行い、研修カリキュラムと研修教材の作成を開始した。TNA を実施するにあたり、TNA 対象者の選定のポイントや TNA 手法、質問票の書き方等について TGO 職員に対して技術移転を行った。 第 1 回 ASEAN ワークショップが、2014 年 5 月 8 日、9 日の 2 日間にわたり、パタヤで開催された。ASEAN 諸国 8 カ国からは 15 名が出席した (カンボジア 2 名、インドネシア 2 名、ラオス 2 名、マレーシア 1 名、ミャンマー 2 名、フィリピン 2 名、タイ 2 名、ベトナム 2 名)。 第 2 回 ASEAN ワークショップが 2015 年 6 月 22 日～24 日の期間で、バンコクで開催された。ASEAN 諸国 8 カ国からは 17 名が出席した (ブルネイ 1 名、カンボジア 2 名、インドネシア 3 名、ラオス 4 名、マレーシア 2 名、ミャンマー 3 名、シンガポール 1 名、ベトナム 1 名)。 																										
2. 技術移転の方法・内容	技術移転の方法	技術移転が C/P に対して的確に行われたか。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト開始時には、CB チームは研修準備及び運営の基本的な方法については理解していたものの、効率的に準備作業を進めるための進捗管理の手法については知見が不足していた。プロジェクトでは、1 年次、2 年次から継続して、専門家チームと TGO が共同でロジック準備項目リストを作成・運用することを通じてワークショップ及び研修の準備と運営に関する技術移転を行った。 ASEAN ワークショップなどの国際会議では、各国からの参加者を招くため、準備作業と会議運営は抜けなく効率的に実施することが求められた。TGO 職員は、このロジック準備項目リストと定期的な進捗確認によって、余裕をもって国際会議や研修の準備、運営ができるようになった。 TGO 職員にとつて、ASEAN 諸国向けの研修ニーゼス評価 (TNA) は初めての経験であるため、その手法の選定にあたっては、手法の長所、短所から始まり TNA 参加者の時間的な制約や技術的な知識レベル、コスト、効率性のみならず、CITC の認知的な視点から技術移転関係者、専門家間のネットワーク構築に資するかどうかなども含め、総合的な視点から技術移転を実施した。 CITC の研修カリキュラムは、TGO 職員による研修カリキュラムの素案作りから研修実施の各ステップにおいて、専門家や外部関係者の意見、ニーゼスを反映した。 																										

評価グッド

調査項目		確認項目	調査結果
大項目	小項目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ C/ITC 研修の内容や品質を向上させさせるため、研修事後評価の手法の検討や質問票の作成及び回収結果の分析、得られた結果やニーズ情報を次回の研修に反映する際のポイントについて、TGO 職員に技術移転を行った。 ・ 定期的な講義形式ではなく、日々のディスカッション、成果物（の内容に関するやりとり）を通じて能力強化支援を実施した。 ・ 国際的な気候変動対策に係る潮流に沿ったタイ側の方針、要望に応えるため、プロジェクト開始当初に比べ、研修の対象範囲、対象者が広がった。 ・ ASEAN 向けの研修は、当初予定していなかったが、必要性をかんがみて実施することとした。 ・ プロジェクト開始当初は C/ITC の方針としてプロジェクトキックオフを作成していたが、より具体的な計画を含むビジネスマプランの策定を支援した。また、ビジネスマプランの策定のために、専門家を追加で派遣した。 ・ タイの地方政府向け GHG インベントリ管理コースについては、①タイ国内の地方政府向け GHG インベントリにかかわる法律や組織制度が未整備である点、②インベントリ作成に当たり準拠すべきガイドラインが決定されていない点、③他の研修コース（低炭素でレジリエントな社会開発及び緩和メカニズム）のなかで地方政府向けのインベントリ作成について取り扱っている点、を考慮し、本プロジェクト期間中には研修プログラムを策定しないことで TGO 側と合意した。
3. 活動の変更	変更もしくは、追加、削除された活動の有無	変更もしくは、追加、削除された活動があったか。	
4. ステークホルダーとの関係	プロジェクトチームとステークホルダーとの関係	定期会議、JCCが開催され、課題解決のために機能しているか。日本人専門家とC/P間のコミュニケーションは十分に行われているか。指揮命令系統や役割分担ができる体制が構築されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年 9 月 6 日に第 1 回合同調整委員会 (JCC) を開催し、着手報告書の内容を説明、同委員会の承認を得た。 ・ 2014 年 7 月 21 日に第 2 回 JCC を開催し、第 1 年次のプロジェクトの進捗状況とアウトプットに関する報告、改訂版 C/ITC ビジネスマプランの概要と今年度の活動計画について説明、プロジェクト・デザイner・マトリックス (PDM) の改訂に関する承認が行われた。 ・ 2015 年 2 月 27 日に第 3 回 JCC を開催し、中間レビュー評価の結果を含む本業務の進捗の報告、C/ITC ビジネスマプラン改訂版と 2015 年 9 月までの C/ITC 事業計画の承認が行われた。 ・ 日常業務における日本人専門家と C/P 間のコミュニケーションに問題は見られない。現地派遣期間中の直接的なコミュニケーションに加え、派遣期間外にも Eメールやインターネット電話、SMS サービスを用いた連絡調整や、国際会議等の機会を利用した協議など、積極的な意思疎通を行っている。また、プロジェクトの進捗報告書は適宜英語版が共有されており、必要に応じてハイレベルへの報告も随時行っている。一方で、C/P が多忙であることから、予定の変更によりスケジュールの調整が困難なケースもあつたが、カレンダーを基に予定を調整するなど、双方の積極的な努力により、十分な意思疎通ができていくものと考えられる。
5. オナーシップ	C/P のオナーシップの有無	タイ国関係者、C/Pはプロジェクト活動に十分参加しているか。先方予算は計画どおり確保、支出されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト活動以外では、TGO 内の研修施設の改修、広報・PR 資料の作成、グッズ等のデザインと印刷、国内のワークショップ開催に係る諸経費、タイ国外のイベント出席、ネットワーキング活動に係る諸経費、eラーニング構築、一部研修教材作成等などの予算を確保しており、C/ITC の活動に係るオナーシップは非常に高い。

評価グッド

調査項目		確認項目	調査結果
大項目	小項目		
6. モニタリング・評価	モニタリング・評価の結果及びプロジェクトの達成状況	モニタリング・評価・フィードバックの実施体制は構築されているか。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト活動に主体的に取り組むことで、C/P 職員個々のオーナーシップ意識も醸成されている。 タイ国によるC/P への予算額が減額されるなか、CITC 運営予算も当初計画どおりに支出、確保されていないが、限られたリソースのなか及び最大限の努力の下でセンターの運営を行っている。 研修やイベント開催のロジ面の能力について、プロジェクト開始当初はC/Pの経験不足もあったが、研修管理ツールを活用しながら開催経験を重ねることで能力が向上している。こうしたプロセスのなかで、成功裏に研修やイベントを完了させた成功体験をしたことにより、C/Pのモチベーションが高まっている。 研修後の質問票調査等を通じた研修評価により、研修内容の改善につなげる取り組みが行われている。 研修終了後の受講者のフィードバックの重要性はCITCに認識されているものの、人的資源が限定されていることにより、実施には至っていない。
7. 阻害、貢献要因	活動進捗、成果達成、目標達成に阻害、貢献する要因の有無	実績に影響を与えるような要因はあったか。 (実施体制、政策、社会的環境など)	<p>貢献要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応策については、C/P側に全く経験がなかったが、TGOの職掌に適応が正式に含まれた。 CITCの設立・運営は天然資源・環境省(MONRE)のフラッグシップ事業として位置づけられており、タイ政府の関心が高かった。また、管理者の強いイニシアティブ、職員の高いモチベーションが貢献要因であった。 各国が自主的に決定する約束草案(INDC)の提出、タイ政府と日本政府の二国間クレジット制度(JCM)締結、国連SDG(持続可能な開発目標)の採択と気候変動関係者の人材育成支援の発表などがプロジェクト実施の追い風となっている。また、気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)の決議なども貢献要因となると考えられる。 <p>阻害要因</p> <ul style="list-style-type: none"> TGO内部の人員配置がJCMやカーボンプリントプリント等他の取り組みに多くを割かれ、CITCに必ずしも十分な配置がされないという制約があった。また、CITC運営を行うCBチーム以外のプロジェクトへの関与も限定的であった。 担当者レベルの職員の頻繁な人事異動が技術移転の成果の阻害要因となった可能性がある。 突発的な予定の変更、タイ国内の情勢の変化により計画どおりの活動が困難な時期(1年次、2年次)があった。

評価グッド

III. 評価5項目

妥当性	調査項目		調査結果
	小項目	評価項目	
	1. 国家政策にみる優先課題	調査の視点/調査事項 タイ国家政策との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 2014年9月12日にタイ国首相より発表された国家政策 (Government's State Policies) の主要10項目のうち、「政策7: ASEAN 共同体における役割と機会」の項目に ASEAN 地域のネットワーク構築のための方針が記載されており、「政策9: 天然資源のセキュリティと保全と持続可能な利用のバランスの維持」の項目に環境・気候変動対策の重要性が明記されている。 第11次国家経済社会開発計画 (2012年-2016年) のなかで、温室効果ガスの緩和、低炭素社会 (LCS) 及び持続可能な開発が明記されている。 タイ国気候変動マスタープラン (2014年-2050年) のなかで、「気候変動に関する適応」「GHG 排出削減と低炭素社会の推進」「気候変動管理のための能力開発」の三つの主要戦略が明記されている。 MONRE のフラグシップ事業として位置づけられる CITEC の設立・運営に向け、TGO のなかで CITEC 運営等実務を担当する CB チームの技術職員複数名を対象に、能力強化を行った。 ASEAN ロードマップ 2009-2015、政治・安全保障共同体ブループリント 2025 と整合。 気候変動対策をとりまく国際的な潮流の変化に応じて、タイ側のニーズにも変化が生じたが、そのようなニーズに沿って、プロジェクト開始時及び2年次に活動の見直しを行い、専門家の増員、専門家チーム内での再配置などを行った。 気候変動緩和・適応に関する情報共有、能力開発は ASEAN 共同体ロードマップ (2009-2015) と整合している。
	2. 必要性	受益者のニーズとの整合性	<p>下のタイ国政策との整合性を確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第11次国家経済社会開発計画 2012-2016 タイ国気候変動マスタープラン 2014-2050 等 <p>タイ側のニーズと合致しているか。</p> <p>ASEAN 開発途上諸国のニーズと合致しているか。</p>
	3. プロジェクトアプローチの適切性	C/P 選定の妥当性	<p>C/P の人数、選定方法は適切か。</p> <p>C/P に十分な経験、能力が備わっているか。</p> <p>日本の技術の優位性を生かした事例があったか。</p>
	4. 日本政府援助方針との整合性	日本の ODA における優先課題との整合性	<p>「美しい星への行動 2.0 (ACE 2.0)」と整合 (2020年に現在の1.3倍、官民合わせて年間約1兆3,000億円の気候変動対策の事業が途上国で実施されるようになる)。</p> <p>2014年9月の国連総会での公約と整合 (今後3年間に気候変動分野で1万4,000人の人的資源開発を支援する)。</p> <p>日本の対タイ国別援助方針と整合。</p>

評価グッド

有効性	調査項目		調査の視点/調査事項	評価項目	調査結果
	小項目				
有効性	1. プロジェクト目標の達成見込み		プロジェクト目標達成の状況	プロジェクト目標達成の状況・可能性の確認。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトが目標とするCITCの能力強化は、成果1から成果3の達成により、当初プロジェクトが計画していた水準で達成されている。国際的な潮流に合わせたカリキュラム開発や、ASEAN諸国を対象とした研修の実施に関するCITC職員の能力はさらなる向上の余地があるものの、プロジェクト目標の指標は既に達成されており、プロジェクトによる支援の成果が十分に確認された。 JICAプロジェクト開始時の討議議事録(R/D)に記載された限定的な研修コースにとられず、国際的な議論や動向、タイ国内やASEAN諸国の気候変動に関するニーズを的確に把握して、臨機応変にJICAプロジェクトのタームズ・オブ・レファレンス(TOR)を変更し、四つの柱の研修コースに組み立てた。 IGESやNIESとの連携によって、タイ国内や日本、LoCARNetの研究者のネットワークを活用できる土台ができたことにより、最新の国際的な議論や動向をいち早く研修カリキュラム・教材に取り入れた。 CITCの設立準備(成果1)、緩和/適応に関する研修実施(成果2)、研修プログラムのASEAN諸国内での共有(成果3)を通じて、タイ国内及びASEAN開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムの開発とTGOの能力強化を行う(プロジェクト目標)という、各成果とプロジェクト目標の因果関係に乖離はみられない。 現時点では、タイ政府がCITCの活動予算を確保しておりCITCの活動への支援が行われているため、外部条件は満たされている。 特になし 「I. プロジェクトの達成状況 I. 投入の実施状況」を参照。 C/P担当者は高い意欲と責任感をもって参加している。しかし、担当者レベルにおいて、人数、能力、参加度合いのいずれも制約が大きく、必ずしも十分とはいえないかつた。「I. プロジェクトの達成状況 I. 投入の実施状況」を参照。
	2. 成果とプロジェクト目標の間の因果関係		各成果の達成度及びプロジェクト目標達成への寄与 プロジェクト目標達成に影響する外部の状況	プロジェクト目標達成にかかわる促進、阻害要因の確認。 各成果の確認項目に基づいた達成度及びプロジェクト目標達成への貢献度の確認。 外部条件：「タイ国政府が、CITCの活動を継続、拡大するための戦略的パートナーを求め予算を確保することでCITCの活動を支援を継続する」は満たされているか。 その他、プロジェクト目標達成に影響する外部条件があったか。 日本側：専門家派遣、機材供与、本邦研修、ローカルコスト タイ側：C/P人員の配置、プロジェクト運営経費	
効率性	1. 投入の進捗		投入進捗の状況		

評価グッド

調査項目		調査の視点/調査事項	評価項目	調査結果
小項目				
		投入の適切性	日本、タイ側の投入の時期、品質及び量の満足度、本邦研修参加者の満足度、本邦研修の成果の確認。	<ul style="list-style-type: none"> 日本人専門家の派遣はプロジェクト期間中に再検討され、M/Mの追加投入（ビジネスプラン作成担当専門家）、人員配置の変更があった。 タイ側関係者の一部からは日本人専門家の派遣タイミングについて改善の指摘がなされた。また、タイ側が配置したC/P職員のうち、直接プロジェクト活動に参加したCBチームの職員数が限られていたことが、技術移転の効率性を高めるうえでの課題として挙げられる。 各指標はおおむね計画どおりに達成されている。プロジェクト残余期間で実施される活動（ASEAN研修実施など）も多くあるが、指標はおおむね達成されている。また、未達成の指標についても、プロジェクト終了時までにはすべて達成される見込みである。 タイ側は限られたリソースのなか及び最大限の努力の下でセンターの運営を行っている。 プロジェクトの直接的なC/Pである、CBチーム職員の人数は限られていた。プロジェクトの実施に必要な設備とJICA専門家のための執務スペースは計画どおりタイ側によって提供されている。 特になし。
2.	成果の達成状況	成果1から成果3の達成状況	指標にみる成果達成の状況の確認。	
3.	投入、活動及び成果の間の因果関係	成果達成のための投入の妥当性	人員等のプロジェクト・リソース投入における過不足の確認。タイ側活動費の支出状況の確認。	
4.	類似プロジェクトとの連携	成果達成の外部状況の影響	成果達成のための外部条件はあるか。	
		JICAの類似プロジェクト及び他ドナーのプロジェクトとの連携・相乗効果	他のJICAプロジェクトとの連携・相乗効果があったか。	<ul style="list-style-type: none"> フェーズ1プロジェクトで育成された人材が、本プロジェクトのC/Pとなっている。両フェーズを通しての継続的な支援、協力関係はTGOの能力強化、ミッションの実現に大きく貢献している。 また、将来的にはJICAが実施中の他案件との連携が望まれる。 タイの政府機関（天然資源環境政策・計画局（ONEP）、国家経済社会開発委員会（NESDB））やタイ国内の大学（アジア工科大学院（AIT）、タマサート大学、チェンマイ大学、ソングラー大学）、日本の研究機関（IGES、OECC、NIES、温室効果ガスイベントリポートオフィス（GIO））、国連開発計画（UNDP）、国連気候変動枠組み条約（UNFCCC）、地方自治体協会（NMT）、タイ国内の地方自治体、UNFCCC事務局やAPAN、ASEAN事務局と協力活動が行われた。
1.	上位目標達成の見込み	上位目標達成の見込み	プロジェクト目標の達成状況に基づく上位目標達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> CITCがASEAN向けの研修を継続的に実施し、CBチーム職員が国際的な研修の経験を蓄積していくことで、CITCの「ASEAN諸国を対象とした研修センター」としての役割が広域に認知されることが期待される。 「I. プロジェクトの達成状況 4. 上位目標の達成状況・見込み」で述べたとおり、上位目標の達成見込みは高いが、ASEAN諸国向けの研修やセミナーをプロジェクト終了後に継続実施するためには、CITC予算面での課題、プロジェクトを介さないASEAN諸国関係諸国とのロジ面の調整において課題が残る。
インパクト				

評価グリッド

調査項目		調査の視点/調査事項	評価項目	調査結果
小項目				
		上位目標に向けた外部条件	外部条件：「ASEAN開発途上諸国が能力強化と気候変動対策のために、CITCを活用する」は満たされる見込みか。	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN 諸国は、パリ協定の決定を受け、INDCs を実際に実行し 5 年ごとに改定していく必要があるため、自国の気候変動関係者の能力の向上のために CITC を活用する機会が増えると考えられる。 プロジェクト期間中には CB チーム職員の離職が頻繁に起きている。プロジェクトによって蓄積されたスキルやノウハウの TGO 組織内での共有と研修カリキュラムや教材をアップデートしていくために、技術面で支援を受けられる外部人材との継続的な連携が重要である。 プロジェクト目標「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカーポイントとしての能力が強化される」ことにより、継続的にタイ国内、ASEAN 向けの研修が実施され、ビジネスプランに沿った CITC の運営が行われれば、プロジェクト終了後 3～5 年後に、上位目標「CITC が ASEAN 地域の気候変動研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤（プラットフォーム）として機能する」の達成に寄与すると考えられる。 気候変動対策に係る幅広いネットワークが形成されたが、将来的にも気候変動に関する国際潮流と、ASEAN 諸国の多様なニーズに対応すべく、さらなるネットワークの強化が必要である。 ASEAN 地域内会議や国際会議、タイ国内外で行われた二国間会議の機会を活用した情報発信により、ASEAN 諸国内での CITC、JICA プロジェクトの認識度が向上した。 JICA と TGO やタイ政府との間で形成された信頼関係によって、日本タイ間の JCM の覚書 (MOU) 締結の一助になった。 特になし。
		上位目標の阻害要因	上位目標達成を促進・阻害する要因の確認。	
2. 因果関係		上位目標とプロジェクト目標の因果関係	上位目標とプロジェクト目標が乖離していないか。プロジェクト目標の達成が、上位目標の達成に寄与するか。	
3. 正のインパクト		プロジェクトに起因する正のインパクトの有無	プロジェクトに起因する正のインパクトがあったか。	
4. 負のインパクト		プロジェクトに起因する負のインパクトの有無	プロジェクトに起因する負のインパクトがあったか。	

評価グリッド

調査項目		調査の視点/調査事項	評価項目	調査結果
小項目				
持続性	1. 政策面	政策支援が協力終了後も継続される可能性	関連政策の継続可能性は高いか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ側においては、CITC を MONRE のフラッグシッププロジェクトとして位置づけしており、持続性は高いと考えられる。 ・ CITC のミッションは、2014 年 9 月にタイ首相によって発表された政府の国家政策に沿ったものである。 ・ タイ政府は気候変動に関する能力開発のための研修センターの重要性を認識しており、CITC の ASEAN 共同体のための気候変動に関する知的ハブとしての役割は、2015 年 12 月には 2015 年の MONRE の重要な成果の一つとして発表された。 ・ 2015 年度の MONRE アクションプランにおいては、CITC の対象が ASEAN 諸国を含むことについても明確に定められている。 ・ MONRE の 5 年計画 (2016-2022) においても、TGO は国としての適切な緩和活動 (NAMA) の推進や気候変動対策の能力開発にかかわる組織として指定されている。これらの政策や計画は、プロジェクトの持続可能性を担保するものであると考えられる。
	2. 組織面	C/P 機関の活動実施体制	プロジェクト終了後に成果の活用が継続するための体制は整っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ C/P は個人的な理由による職員の退職が少なくないため、蓄積されたスキルやノウハウの組織内での共有と技術面での外部人材との連携が重要である。 ・ CITC の持続可能な運営・発展に不可欠な C/P 内部の CITC 運営要員不足及び内部の連携体制、優秀な人材確保という点については、現状において必ずしも持続性が高いとはいえず、今後改善が求められる。 ・ 常に変化するニーズに対応し、適切に研修を開発、更新していくためには、今後の継続的な研修実施により、CB チーム職員に経験が蓄積され、CITC の能力が向上していくことが重要である。

評価グリッド

調査項目		調査の視点/調査事項	評価項目	調査結果
小項目				
3.	財政面	活動の継続に必要な財源確保の可能性	プロジェクト終了後の必要予算確保の見込みの確認。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ政府が、今後も TGO の活動予算を確保していくなかで、それを活用した CITC の活動への支援が行われていくものと期待される。 ・ CITC の強いオーナーシップの下で、タイの関係者や ASEAN 諸国を対象とした能力強化活動は継続的に実施、改善されていく予定である。CITC が将来に向けた明確な方向性をもっていることに加え、CITC の活動が政府の優先事項と整合していることから、TGO による人員配置、予算配分といった財政面での後押しを受けながら活動を継続していくことが期待される。 ・ ASEAN 向けの研修やイベントの開催に係る費用については、本技プロ終了後は TGO の予算を主に使って実施するため、規模を縮小するか、他のイベントと共同開催等をする、あるいは他ドナーの支援を受けて引き続き実施することは可能。 ・ 財政的な健全性を強化するために、特に民間向けの研修コースを強化し、研修受講料の徴収を早期に開始することが理想的であるが、現在このようなコースはほとんどなく、気候ファイナンス（上級向け）、緩和メカニズムと計測・報告・検証（MRV）等が現在あるコースの延長として考えられている。
4.	技術面	活動の継続に必要な C/P の能力開発の状況	プロジェクト終了後にタイ側メンバーがCITCを運営していくための技術移転の状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・ TGO 職員はそれぞれの専門知識を組織内で共有し、他部署間との共同作業を推進することが奨励されている。この方針により、CB チーム外の TGO 職員はそれぞれの専門分野に応じ、さまざまな形で CITC の活動にかかわってきた。 ・ TGO 職員は技術的な専門知識を有している一方で、研修講師として効果的な指導を行うためのスキルは十分ではないため、指導技術についても向上の余地がある。 ・ TGO 職員が持ち合わせていない技術分野についてはタイ国内外の大学や研究機関等の外部専門家と強固なネットワークを築いているため、持続性は確保されている。 ・ 上級向けコースを含む新たな研修コースの「開発」を行うには、取り扱うトピックにもよるが、まだ外部専門家の支援が必要になる。 ・ C/P 側の人材育成に関して、さらに継続的な組織的、財政的、技術的支援が必要である。JICA が支援して構築したCITCの主体的な活動であるべきプラットフォームが、他国のイニシアティブによる活動の普及促進の場に変えられてしまう懸念もある。

4. 日本側投入実績

日本側投入

1. 専門家リスト

(1) 長期専門家

担当業務	氏名
気候変動政策／人材開発	家本 了誌

(2) 短期専門家

担当業務	氏名
総括/気候変動対策	藤本 雅彦
低炭素開発 1	山田 和人
低炭素開発 2／緩和策 2／研修計画 3	吉田 哲也
GHG インベントリ 1	鈴木 仁
適応策／緩和策 1	藤森 真理子
研修計画 1	石川 智子
研修計画 2/ 研修マネジメント 2	尾藤 健太郎
業務調整/ 研修マネジメント 1	森本 亘
ビジネスプラン作成	Darmp Phadungsri

日本側投入

2. 本邦研修

1) CITC 設立に向けた能力開発①

a) 期間: 2013 年 11 月 25 日から 2013 年 12 月 7 日

b) 参加者

	氏名	所属／職位（研修参加時）
1	Dr. Jakkaniit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, TGO
2	Dr. Natarika Wayuparb	Director, Strategy Office, TGO
3	Ms. Natchanan Wathanachinda	Assistant Senior Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
4	Ms. Wiriya Puntub	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Ms. Benya Nuengdee	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
6	Ms. Bussabongkot Deewaja	Assistant Senior Official, Strategy Office, TGO
7	Ms. Phakamon Supappunt	Senior Official, Carbon Business Office, TGO
8	Ms. Neeracha Tridech	Assistant Senior Official, Approval and Monitoring Office, TGO
9	Ms. Wararat Cha-umkruea	Assistant Senior Official, Greenhouse Gas Information Center, TGO

2) CCITC 設立に向けた能力開発②

a) 期間: 2014 年 1 月 15 日から 2014 年 1 月 22 日

b) 参加者

	氏名	所属／職位（研修参加時）
1	Mr. Sunthad Somchevita	Chairman of the Board of Directors, TGO
2	Dr. Damrong Sripraram	Member of the Board of Directors, TGO
3	Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Deputy Executive Director and Acting Executive Director, TGO
4	Dr. Jakkaniit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Mr. Sakol Thinagul	Deputy Director General, Department of Environmental Quality, Promotion, Thailand (DEQP), MONRE
6	Dr. Jirapa Inthisang Trochim	Division Director, Office of Agriculture Economics (OAE), Ministry of Agriculture and Cooperatives

日本側投入

3) 低炭素でレジリエントな社会開発および地域レベルの推進に係る研修

a) 期間:2015年1月19日から2015年1月30日

b) 参加者

	氏名	所属／職位（研修参加時）
1	Dr. Jakkani Kananurak	Capacity Building and Outreach Office, TGO/ Director
2	Ms. Apaphatch Hunsiritrakun	Capacity Building and Outreach Office, TGO
3	Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Capacity Building and Outreach Office, TGO
4	Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Ms. Nateera Kanjawatkul	Capacity Building and Outreach Office, TGO
6	Mr. Pisanupon Sanguannual	Strategy Office, TGO
7	Mr. Somchai Chariyacharoen	Environment Division, National Municipality League of Thailand (NMT)/ Working Group Committee Member
8	Dr. Chanisada Choosuk	Faculty of Environmental Management, Prince of Songkla University/ Assistant Professor
9	Mr. Arthorn Ukkati	Division of Public Health and Environment, Yantakhao Municipality/ Director of Division of Public Health and Environment
10	Mr. Phuchong Mahawongsanun	Division of Public Health and Environment, Municipality of Huaikaokum, Chun District, Phayao Province/ Director of Public Health and Environment
11	Mr. Chawalit Hongyon	Bureau of Public Work, Khon Kaen Municipality/ Environmental Engineer
12	Mr. Thanakhom Thammachuen	Public Health and Environment Department, Salaklang Municipality/ Chief of Public Health and Environment Div.

日本側投入

3. 供与機材リスト

プロジェクトにより提供された機材は以下の通り。

品目	仕様	数量	価格 (タイバツ)	価格 (日本円)
ノート型パソコン	Dell Vostro 3360 / Microsoft Windows 7 Professional SP1 32bit MS Office trial McAfee Security Center 15 month subscription	2 台	56,000	176,000
スキャナー	N6310 HP Scanjet N6310 Document Flatbed Scanner (L2700A)	1 台	23,000	72,000
LCD プロジェクター (電子白板用)	GYGAR LW24	1 台	64,500	203,000
電子白板	GYGAR E-7881	1 台	70,000	220,000
ビデオカメラ一式	6094B003AA HF M56(EU)	1 台	20,500	62,000
テレビモニター一式	TV LED 48" SONY KDL-48R470B	2 台	64,000	199,000
合計	-	-	298,000	932,000

日本側投入

4. 現地活動費

短期専門家チーム

費目	2013 年		2014 年		2015 年	
	タイバーツ	(日本円)	タイバーツ	(日本円)	タイバーツ	(日本円)
研修費* ¹	15,600	49,000	730,000	2,288,000	4,139,000	14,505,000
研修教材開発費* ²	0	0	667,000	2,080,000	76,000	267,000
ワークショップ開催費* ³	0	0	734,100	2,290,000	4,023,000	14,099,000
TGO 設備費	302,000	943,000	202,000	630,000	0	0
活動費 (現地職員交通費、 通信費等)	349,500	1,090,000	1,410,800	4,401,000	968,000	3,393,000
小計	667,100	2,082,000	3,743,900	11,689,000	9,206,000	32,264,000
合計	13,617,000 タイバーツ					

*1: 2016 年に実施される研修費用を含む。

*2: ローカルコンサルタント並びに 2016 年に実施される研修用の教材開発費を含む。

*3: 2016 年に実施される予定のワークショップ開催費を含む。

5. タイ側投入実績

タイ側投入

1. カウンターパートリスト (TGO)

	氏名	役職	所属部署
1	Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director	-
2	Dr. Natarika Wayuparb	Deputy Executive Director	-
3	Dr. Jakkani Kananurak	Director	Capacity Building and Outreach Office
4	Ms. Nareerat Thanakasem	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
5	Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
6	Ms. Apaphatch Hunsiritrakun	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
7	Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
8	Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
9	Ms. Tanawan Kaomoon	Researcher	Capacity Building and Outreach Office
10	Ms. Ranida Panthong	Researcher	Capacity Building and Outreach Office
11	Ms. Sithanee Yuthasinsawee	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
12	Mr. Siripong Kerdsawang	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
13	Mr. Nutch Rotjanasom	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
14	Mr. Pisanupon Sanguannual	Director	Strategy Office
15	Dr. Paweena Panichayapichet	Manager	Approval and Monitoring Office
16	Ms. Sumon Sumetchoengprachya	Director	Carbon Business Office
17	Ms. Pakamon Supappunt	Manager	Carbon Business Office
18	Mr. Thada Varoonchotikul	Technical Expert	Carbon Business Office
19	Mr. Chessada Sakulku	Director	Greenhouse Gas Information Center

6. 研修実施進捗状況

研修実施進捗状況

コース名称	対象グループ	研修ニーズ評価 (TNA)	研修カリキュラム、教材	研修の実施状況
GHG (温室効果ガス) インベントリ管理 (GHGI)	タイ中央政府	2013年8月/質問票、2013年11月/ワークショップ	カリキュラムと教材がタイの外部専門家 (チェンマイ大学) によって作成された。カリキュラムや教材は日本の温室効果ガスインベントリオフィス (GIO) によるレビューを行った。	2014年8月～9月、2015年5月、7月の合計3回、タイの専門家 (チェンマイ大学) により実施され、合計143名が参加した。
GHG インベントリ管理 (GHGI) 指導者育成研修 (TTT)	タイ中央政府	-	カリキュラムと教材がタイの外部専門家 (チェンマイ大学) によって作成された。	2014年8月～9月にタイの専門家 (チェンマイ大学) により、実施され、19名が参加した。
低炭素でレジリエントな社会開発 (LCRS)	タイ中央政府 幹部	2013年6月/質問票、2013年8月/会議	カリキュラムと教材がJICA 専門家チームとタイの専門家によって作成された。	2015年9月にJICA 専門家チームの支援の下、CITC により実施された。
低炭素でレジリエントな社会開発 (LCRS)	タイ中央政府 実務者	-	-	2015年9月にJICA 専門家チームの支援の下、CITC により実施された。
低炭素でレジリエントな社会開発 (LCRS)	タイ地方政府 幹部	2014年8月/参加型ワークショップ	カリキュラムは、JICA 専門家チームの支援により TGO が作成し、教材は JICA 専門家チームとタイの専門家 [アジア工科大学院 (AIT) 等] によって開発された。また、中央、地方政府の多くの関係機関より、プレゼンテーション資料が提供された。	2015年3月にJICA 専門家チームの支援の下、CITC により実施され、59名が参加した。
低炭素でレジリエントな社会開発 (LCRS)	タイ地方政府 実務者	-	-	2014年12月にJICA 専門家チームの支援の下、CITC により実施され、38名が参加した。
持続的な開発のための気候変動 (CCSD) (旧称: LCRS)	タイ関係者 (中央、地方、民間、研究機関)	(上記 TNA 結果と過去の研修に参加した研修生からのフィードバックを活用)	カリキュラムは TGO により作成され、研修教材は外部専門家 (ナレスワラ大学等) により作成された。	2016年1月に、限定的な JICA 専門家チームの支援の下、TGO により実施予定。
低炭素でレジリエントな社会開発 (LCRS) TTT	タイ地方政府 実務者向け	-	カリキュラムと教材は、TGO と JICA 専門家チームによって作成された。	2014年12月に TGO により、実施され、33名が参加した。
緩和メカニズム (MM)	タイ関係者	2014年11月/タイ国内4地域における地方政府幹部、実務者向け質問票、ワークショップ (405名参加)	カリキュラムと教材は、外部専門家 (チェンマイ大学) によって作成された。	2015年9月に、タイの専門家 (チェンマイ大学) により実施され、88名が参加した。
持続的な GHG 管理 (気候変動経済学)	タイ中央政府	2014年8月/質問票	カリキュラムと教材は、外部専門家 (タマサート大学) によって作成された。	2015年3月、2015年5月～6月の合計2回、タイの専門家 (タマサート大学) により実施され、61名が参加した。

研修実施進捗状況

コース名称	対象グループ	研修ニーズ評価 (TNA)	研修カリキュラム、教材	研修の実施状況
GHG インベントリ管理 (GHGI)	ASEAN 実務者	2014年8月/質問票、ワークシヨップ	2017年度に作成予定。	2017年度に実施予定。
持続的な開発のための気候変動 (CCSD)	ASEAN 中央政府	2014年5月/質問票、ワークシヨップ、2015年6月/質問票、ワークシヨップ	カリキュラムは、JICA 専門家チームの支援により TGO が作成し、教材は JICA 専門家チーム、国内外の専門家により作成中。	2016年2月、3月に実施予定。
緩和メカニズム (MM)	ASEAN 関係者		カリキュラムは、JICA 専門家チームの支援により TGO が作成し、教材は JICA 専門家チーム、国内外の専門家により作成中。	2016年2月～3月に実施予定。
持続的な GHG 管理 (気候変動ファインナンス)	ASEAN 関係者	2015年10月/質問票、ワークシヨップ	カリキュラムは、JICA 専門家チームの支援により TGO が作成し、教材は JICA 専門家チーム、国内外の専門家により作成中。	2016年3月に実施予定。

7. 主要面談者リスト

面談者リスト

1. タイ国家温室効果ガス管理機構 (Thailand Greenhouse Gas Management Organization : TGO)

Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director, TGO
Dr. Natarika Wayuparb	Deputy Executive Director, TGO
Dr. Jakkani Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Nereerat Thanakasem	Technical Expert, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Technical Expert, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong	Technical Expert, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Technical Expert, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Mr. Pisanupon Sanguannual	Acting Director, Strategy Office, TGO
Mr. Sunthad Somchevita	Advisor of the Board of Directors, TGO / Chairman of CITC Sub-committee
Dr. Damrong Sripraram	Member of the Board of Directors, TGO

2. 天然資源環境政策・計画局 (Office of Natural Resources and Environment Policy and Planning : ONEP)

Mr. Prasert Sirinapaporn	Director, Climate Change Management and Coordination Division, ONEP
Dr. Kollawat Sakhakara	Environmental Official, Climate Change Management and Coordination Division, ONEP

3. 国家経済社会開発委員会 (National Economic and Social Development Board : NESDB)

Ms. Ladawan Kumpa	Deputy Secretary General, Office of NESDB
-------------------	---

4. 王室林野局

Mr. Pralong Dumrongthai	Director of the Bureau of Community Forest Management, Royal Forest Department
-------------------------	--

5. タイ国地方自治体協会 (National Municipality League of Thailand : NMT)

Mr. Somchai Chariyacharoen	Environment Division, NMT
----------------------------	---------------------------

6. アジア工科大学院 (Asian Institute of Technology : AIT)

Dr. Vilas Nitivattananon	Associate professor, School of Environment, Resources and Development, AIT
--------------------------	--

7. タマサート大学

Dr. Bundit Limmeechokchai	Assist. Prof., Sirindhorn International Institute of Technology (SIIT), Thammasat University
---------------------------	--

面談者リスト

8. プリンソブソクラー大学 (Prince of Songkla University : PSU)

Dr. Chanisada Choosuk Assistant Professor, Faculty of Environmental Management, PSU

9. 農業協同組合省農業経済局 (Office of Agricultural Economics : OAE)

Dr. Akarapon Houbcharaun Economist, OAE

10. バンコク都庁

Ms. Panyalaln Thawonrat Environmental Officer, Department of Environment, Bangkok Metropolitan Authority (BMA)

11. ドイツ国際協力公社 (Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit : GIZ)

Mr. Christoph Mairesse Climate Change Implementation Director

12. 在タイ日本国大使館 (敬称略)

吉田 諭史 在タイ日本国大使館 二等書記官
国際連合アジア太平洋経済社会委員会常駐代表補

13. JICA タイ事務所 (敬称略)

池田 修一 JICA タイ事務所 所長
柳内 将成 JICA タイ事務所 次長
樽見 正子 JICA タイ事務所 所員

14. JICA 専門家 (敬称略)

家本 了誌 一般社団法人 海外環境協力センター
藤本 雅彦 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
山田 和人 パシフィックコンサルタンツ株式会社
吉田 哲也 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
鈴木 仁 パシフィックコンサルタンツ株式会社
藤森 真理子 パシフィックコンサルタンツ株式会社
石川 智子 公益財団法人 地球環境戦略研究機関
尾藤 健太郎 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
森本 亘 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
Mr. Darnp Phadungsri パシフィックコンサルタンツ株式会社

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
THAILAND GREENHOUSE GAS MANAGEMENT ORGANIZATION
(PUBLIC ORGANIZATION)
ON THE TERMINAL EVALUATION
OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT FOR
CAPACITY DEVELOPMENT ON CLIMATE CHANGE MITIGATION/ADAPTATION
IN THE SOUTHEAST ASIA REGION
IN THE KINGDOM OF THAILAND

In line with the Record of Discussions (hereinafter referred to as “R/D”) signed between Thailand Greenhouse Gas Management Organization (Public Organization) (hereinafter referred to as “TGO”) and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) for the Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation/Adaptation in the Southeast Asia Region (hereinafter referred to as “the Project”) on December 21st 2012, a study for terminal evaluation of the Project was conducted jointly in Bangkok in January 2016 for the purpose of reviewing the progress and achievements of the Project, as well as considering future directions of the Project.

As a result of discussions, both TGO and JICA agreed to summarize the results of the terminal evaluation as attached hereto.

Bangkok, January 15th, 2016



Mr. Takahiro Ikenoue

Leader of the Terminal Evaluation Team,
Acting Director, Office for Climate Change
and Environmental Management Group,
Global Environment Department
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mrs. Prasertsuk Chamornmarn

Executive Director,
Thailand Greenhouse Gas Management
Organization (Public Organization)
Kingdom of Thailand

Terminal Evaluation Report
on
The Project for Capacity Development on Climate Change
Mitigation / Adaptation in the Southeast Asia Region

Joint Terminal Evaluation Team

January 2016

Contents

1. Outline of the Terminal Evaluation	1
1-1. Purpose of the Terminal Evaluation	1
1-2. Methodology of Review	1
1-3. Member of the Terminal Evaluation Team	2
1-4. Schedule of the Terminal Evaluation Survey Mission	3
2. Outline of the Project	4
2-1. Project Framework	4
2-2. Implementation Structure of the Project	4
3. Project Performance and Implementation Process	5
3-1. Inputs	5
3-2. Progress of Activities	6
3-3. Achievement of Outputs	9
3-4. Achievement of Project Purpose	12
3-5. Prospective on Achievement of the Overall Goal	14
3-6. Implementation Process	15
3-7. Contributing and Constraining Factors	15
4. Evaluation Results	15
4-1. Relevance	15
4-2. Effectiveness	16
4-3. Efficiency	17
4-4. Impact	18
4-5. Sustainability	18
5. Conclusion	19
6. Recommendations and Lessons Learned	20
6-1. Recommendations	20
6-2. Lessons Learned	20

ANNEX 1: PDM

ANNEX 2: PO

ANNEX 3: Evaluation Grid

ANNEX 4: Input by Japanese side

ANNEX 5: Input by Thai side

ANNEX 6: Progress of Training Courses

Abbreviations

AIT	Asian Institute of Technology
APAN	Asia-Pacific Adaptation Network
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations
CDM	Clean Development Mechanism
CITC	Climate Change International Technical and Training Center
COP	Conference of the Parties
C/P	Counterpart
GHG	Greenhouse Gas
IGES	Institute for Global Environmental Strategies
INDC	Intended Nationally Determined Contributions
JCC	Joint Coordinating Committee
JCM	Joint Crediting Mechanism
JICA	Japan International Cooperation Agency
JPY	Japanese Yen
LoCARNet	Low Carbon Asia Research Network
LCRS	Low Carbon and Resilient Society
M/M	Minutes of Meeting
MoC	Memorandum of Cooperation
MONRE	Ministry of Natural Resources and Environment
MRV	Measure, Report and Verification
NAMA	Nationally Appropriate Mitigation Action
NESDB	National Economic and Social Development Board
NESDP	National Economic and Social Development Plan
NIES	National Institute for Environmental studies
NMT	National Municipality League of Thailand
OECC	Overseas Environmental Cooperation Center, Japan
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan of Operation
SIIT	Sirindhorn International Institute of Technology
PSU	Prince of Songkla University
TICA	Thailand International Cooperation Agency
TGO	Thailand Greenhouse Gas Management Organization
THB	Thai Baht
TNA	Training Needs Assessment
TTT	Train-the-trainers

78

P. Prad

1. Outline of the Terminal Evaluation

1-1. Purpose of the Terminal Evaluation

About two years and seven months have passed since the Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation / Adaptation in the Southeast Asia Region (hereinafter referred to as “the Project”) was launched in June 2013. Considering the fact that the Project is to be completed in May 2016, Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a terminal evaluation team and conducted the terminal evaluation survey from 3 to 15 January 2016.

1-2. Methodology of Review

1-2-1. Process of the Terminal Evaluation

The Terminal Evaluation was conducted based on the Project Design Matrix (PDM) and the Plan of Operation (PO). In accordance with the JICA Project Evaluation Guideline of June 2011, the Terminal Evaluation of the Project was conducted in the following manner;

- (1) To review the Project Performance with focus on (i) the results of Inputs and Outputs implemented and (ii) the degree of achievement of Outputs, Project Purpose and Overall Goal based on the indicators set in the PDM;
- (2) To analyze factors that promoted and/or inhibited the Project performance including matters related to both the Project design and project implementation process;
- (3) To evaluate the Project based on the five evaluation criteria: “relevance”, “effectiveness”, “efficiency”, “impact”, and “sustainability”;
- (4) To analyze outcomes of the Project support for capacity development on Mitigation and Adaptation for climate change in the Southeast Asia region
- (5) To make recommendations to stakeholders of the Project and extract lessons from the Project for improving planning and implementation of similar technical cooperation project in the future;
- (6) To make a joint terminal evaluation report by joint evaluation team and get endorsement.

1-2-2. Criteria of Evaluation

Table 1 shows the five evaluation criteria established by the Development Assistance Committee (DAC), the Organization for Economic Co-operation and Development (OECD), which are to be applied in the Terminal Evaluation.

Table 1: Five Evaluation Criteria

Criterion	Description
Relevance	Degree of compatibility between the development assistance and priority of policy of the target group, the recipient, and the donor.

Effectiveness	A measure of the extent to which an aid activity attains its objectives (Project Purpose).
Efficiency	Efficiency measures the outputs in relation to the inputs. It is an economic term which is used to assess the extent to which aid uses the least costly resources possible in order to achieve the desired results. This generally requires comparing alternative approaches to achieving the same outputs, to see whether the most efficient process has been adopted.
Impact	The positive and negative changes produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or unintended. This involves the main impacts and effects resulting from the activity on the local social, economic, environmental and other development indicators.
Sustainability	Sustainability is concerned with measuring whether the benefits of an activity are likely to continue after donor funding has been withdrawn. Projects need to be environmentally as well as financially sustainable.

Source: JICA Guideline for Project Evaluation

1-2-3. Data Collection Method

Both quantitative and qualitative data were collected and utilized for analysis. Data collection methods used for the Terminal Evaluation were as follows:

- Literature/document reviews
- Questionnaires
- Key informant interviews
- Direct observation at project sites

1-3. Member of the Terminal Evaluation Team

Both sides had agreed to establish a Joint Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”). The Team members of both Japanese and Thai sides are shown below.

(Japanese Side)

Designation	Name	Organization
Leader	Mr. Takahiro Ikenoue	Acting Director, Office for Climate Change and Environmental Management Group, Global Environment Department, JICA
Climate Change	Dr. Masato Kawanishi	Senior Advisor, JICA
Evaluation Planning	Ms. Mariko Furukawa	Environmental Management Team 1, Global Environment Department, JICA
Evaluation Analysis	Mr. Teppei Okano	Consultant, Icons Inc.

(Thai Side)

Name	Organization
Mr. Pichitpan Satachandra	Development Cooperation Officer, Thailand International Cooperation Agency (TICA)

78

P. Prachit

1-4. Schedule of the Terminal Evaluation Survey Mission

The terminal evaluation was conducted from 3 to 15 January 2016. During the period, the team exchanged their views, and had a series of discussions with concerned organizations. Detailed schedule is shown in Table 2.

Table 2: Schedule of terminal evaluation

Date	Time	Contents	Place
Jan. 3 Sun.	15:50	[Mr. Okano] Arrival in Bangkok	
Jan. 4 Mon.	08:30-09:00	JICA Thailand Office	JICA Thailand Office
	11:00-12:00	Interview with Mr. Akarapon	OAE
Jan. 5 Tue.	13:00-15:00	Interview with Mr. Iemoto	TGO
	09:00-10:00	Interview with Mr. Somchai (NMT)	(Phone)
	11:00-12:00	Interview with Ms. Ladawan	NESDB
Jan. 6 Wed.	13:30-14:30	Interview with Mr. Kollawat	ONEP
	09:00-10:00	Interview with Mr. Pisanupon	TGO
	10:00-11:00	Interview with Mr. Sunthad	
	11:30-12:30	Interview with Mr. Pralong (Royal Forest Dept.)	
	13:30-14:30	Interview with Dr. Natarika	
15:00-16:00	Interview with Dr. Damrong (Kasetsart University)		
Jan. 7 Thu.	08:30-09:15	Interview with Mr. Prasert	ONEP
	10:30-11:30	Interview with Mrs. Prasertsuk	TGO
	11:30-12:30	Interview with Dr. Jakkani	AIT
	13:30-14:30	Interview with Dr. Vilas	SIIT
	14:30-15:30	Interview with Dr. Bundit	(Phone)
Jan. 8 Fri.	10:30-11:30	Interview with Dr. Chanisada (PSU)	TGO
	14:00-16:00	Group Interview with Ms. Chanyaphak, Ms. Nareerat, Ms. Chayathorn and Mr. Thitipong	(Phone)
	16:00-17:00	Interview with Ms. Panyalahn (Environmental Department, BMA) by Phone	
Jan.9 Sat.	AM/PM	Documentation	
Jan. 10 Sun.	PM	[Mr. Ikenoue, Dr. Kawanishi and Ms. Furukawa] Arrival in Bangkok	
	PM - Evening	Internal Meeting among Japanese Evaluation Mission Team and JICA Expert	JICA Thailand Office
Jan. 11 Mon.	09:00-12:00	Internal Meeting for Japanese Evaluation Mission Team	JICA Thailand Office
Jan. 12 Tue.	09:30-11:00	Internal Meeting	JICA
	12:30-13:00	Discussion between Evaluator	TGO
	13:00-15:00	Discussion between Thai and Japanese members of the Joint Evaluation Report	TGO
Jan. 13 Wed.	11:00-13:00	Discussion between Thai and Japanese members of the Joint Evaluation Report	TGO
	15:30-16:30	Interview with Mr. Christoph	GIZ
Jan. 14 Thu.	08:30-13:00	Internal Meeting	JICA
	15:30-16:30	Discussion between Thai and Japanese members of the Joint Evaluation Report	TGO
Jan. 15 Fri.	09:00-10:00	Report to JICA Thailand Office	JICA Thailand Office
	11:00-12:00	Report to the Japanese Embassy	Japanese Embassy
	14:30	Signing of the Joint Evaluation Report	TGO
	23:15	Departure from Bangkok	
Jan. 16 Sat.		Arrival to Tokyo	

2. Outline of the Project

2-1. Project Framework

The Project has been implemented with the aim of capacity development on Mitigation / Adaptation for climate change in the Southeast Asia region. Toward the achievement of the Project Purpose and the Overall Goal, the Project is designed to prepare for the establishment of the Climate Change International Technical and Training Center (CITC) through collaboration among TGO and relevant organizations (Output 1), to conduct trainings on Mitigation / Adaptation (Output 2), and shares the capacity development program on Mitigation / Adaptation among ASEAN countries (Output 3). The Project framework, shown in Table 3, is based on the Project Design Matrix (PDM) version 1, approved by the in the 2nd JCC meeting held in July 2014 (See Annex 1).

Table 3: Overall Goal, Project Purpose and Outputs

Project Period: June 2013 to May 2016, 3 years
Target Area: Thailand and ASEAN developing countries
Target Group: TGO, and government agencies related to Climate Change
Overall Goal: The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.
Project Purpose: Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.
Output 1: CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations. Output 2: Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders. Output 3: Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.

2-2. Implementation Structure of the Project

The Project has been implemented according to the structure stated in the RD signed on 21 December 2012. The role and assignment of relevant organization are as follows.

(1) Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)

Currently, the Deputy Executive Director of TGO bears an overall responsibility for the Project as the Project Director. The Director of Capacity Building and Outreach Office (hereinafter referred as the "CB Team") is responsible for managerial and technical matters of the Project as the Project Manager. Besides, 13 personnel are assigned as counterparts for the implementation of the Project. Currently, 6 personnel of CB Team are mainly involved in the daily project activities,

(2) JICA Experts

JICA Project Leader provides necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project. JICA experts give necessary technical guidance, advice and recommendations to TGO on technical matters pertaining to the implementation of the Project. By the end of 2015, experts in the field of Climate Change Policy, Low Carbon Development, Adaptation Measures, Mitigation Measures, Curriculum Development, GHG Inventory, Training Management and Business Plan have been dispatched.

(3) Joint Coordinating Committee (JCC)

A Joint Coordinating Committee (JCC) was established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC meeting is held at least once a year and whenever deemed as necessary in order to approve an annual work plan, review overall process, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project.

3. Project Performance and Implementation Process

3-1. Inputs

3-1-1. Inputs by the Japanese Side

Table 4 shows the comparison of the plan as per the PDM approved on 11 March 2014 and actual inputs from the Japanese side.

Table 4: Inputs by the Japanese Side

Input by Japanese side	Actual inputs
1) JICA Experts - Long term expert - Short term expert (less than 12 months)	<ul style="list-style-type: none">• One (1) Long-term Expert has been dispatched since July 2013• Nine (9) Short-term Experts have been dispatched (in total 53.6 MM as of the end of October 2015) ① Team Leader/Climate Change Policy, ② Low Carbon Development 1, ③ Low Carbon Development 2/Mitigation Measures 2/Curriculum Development 3, ④ GHG Inventory, ⑤ Adaptation Measures/Mitigation Measures 1, ⑥ Curriculum Development 1, ⑦ Training Management 2/ Curriculum Development 2, ⑧ Administrator/Training Management 1, ⑨ Business Plan
2) Counterparts training Training of counterpart personnel in Japan	<ul style="list-style-type: none">• The training courses in Japan have been provided 3 times by the end of 2015. The total number of the C/P personnel having participated in the training in Japan is 27 (as of the end of December 2015). Training for C/TC personnel: 25 November 2013 to 7 December 2013 / 9 persons Training for High class personnel: 15 January 2014 to 22 January 2014 / 6 persons Training for TGO, Local government and University personnel 19: January 2015 to 30 January 2015 / 12 persons
3) Equipment	<ul style="list-style-type: none">• Scanner 1 pc, Notebook PC 2 pcs, LCD Projector 1pc, Electric active board 1 pc, VDC Recorder 1pc, TV Monitor 2 pcs have been procured. Total amount of the procurement is 298,000 THB (Approximately

	1,022,736 JPY ¹ / As of the end of December 2015)		
4) Local cost of project activities	<ul style="list-style-type: none"> In total 27,388,000 THB (Approximately 3,159,499 JPY ¹ / As of the end of December 2015) for the Project operational cost. 		
	Currency = THB		
	Item	2013	2014
	Training cost	15,600	730,000
	Training materials development	0	667,000
	Workshop cost	0	734,100
	Equipment for TGO	302,000	202,000
	Local cost	349,500	1,410,800
	Sub Total	667,100	3,743,900
			Total 27,388,000

3-1-2. Inputs from the Thai side

Table 5 shows the comparison of the plan as per the PDM approved on 11th March 2014 and the actual inputs from the Thai side.

Table 5: Inputs by the Thai Side

Input by Thai side	Actual input									
1) Allocation of counterpart personnel	<ul style="list-style-type: none"> The Project Director, the Project Manager and 6 C/P personnel have been assigned for the Project by the time of terminal evaluation. (See Annex 3) 									
2) Provision of the project office and facilities necessary for the project implementation.	<ul style="list-style-type: none"> Office space with necessary equipment for the JICA experts has been provided by Thai side. 									
3) Other cost	<ul style="list-style-type: none"> Budgets for TGO and CITC (amount as actually spent) are as follows. 									
	Currency = THB									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Fiscal Year (Oct-Sep)</th> <th>Budget of TGO</th> <th>Budget for CITC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014 (Oct 2013-Sep 2014)</td> <td>133,071,199</td> <td>8,515,487</td> </tr> <tr> <td>2015* (Oct 2014- Sep 2015)</td> <td>125,389,710</td> <td>11,104,604</td> </tr> </tbody> </table>	Fiscal Year (Oct-Sep)	Budget of TGO	Budget for CITC	2014 (Oct 2013-Sep 2014)	133,071,199	8,515,487	2015* (Oct 2014- Sep 2015)	125,389,710	11,104,604
Fiscal Year (Oct-Sep)	Budget of TGO	Budget for CITC								
2014 (Oct 2013-Sep 2014)	133,071,199	8,515,487								
2015* (Oct 2014- Sep 2015)	125,389,710	11,104,604								
	* Provisional amount									

3-2. Progress of Activities

The activities have been conducted according to the PO, and most of the activities related to Outputs 1 to 3 have been carried out and completed as planned in the PDM.

(1) Progress of Activities related to Output 1

The structure of the CITC, action plan, strategy, service contents are stipulated in the document developed by the Project (the latest version of the Business Plan as approved by the JCC in February 2015). Training curriculums for 4 clusters, 1) GHG Inventory Management, 2) Low Carbon and Resilient Society Development, 3) Mitigation Mechanism and 4) Sustainable GHG Management have

¹ THB 1 = JPY 3.432 / JICA Rate, December 2015

been developed through a series of needs assessment and identification of training resources in Thailand and ASEAN countries. A website of the CITC was also developed as a platform for information dissemination and knowledge sharing.

(2) Progress of Activities related to Output 2

Training of Mitigation / Adaptation has been conducted, and in total 426 people participated, while 107 trainers have been trained by the Train-the-Trainers (TTT). The CB Team has been involved in the process of preparation, implementation and evaluation of the training. Their skills and knowledge have been improved through the process. The CB Team has also been encouraged to participate in training courses as trainees to enhance their technical knowledge.

(3) Progress of Activities related to Output 3

Training Needs Assessment (TNA), curriculum development and training material preparation have been initiated for 3 training courses for ASEAN countries, namely, 1) Low Carbon and Resilient Society Development, 2) Mitigation Mechanism, and 3) Sustainable GHG Management (Climate Finance). The training will be conducted in February and March 2016 (Output 3).

Activity of Output 1																											
1-1. Set-up institutional framework of the CITC.	<ul style="list-style-type: none"> CITC Business plan was developed and its latest version was approved by the JCC in February 2015. Collaborative organizations to be involved in the Project activities were identified for preparation of training curriculums and implementation of training. 																										
1-2. Conduct needs assessment on target groups in Thailand (governments, and non-governments) and ASEAN focal points of climate change.	<ul style="list-style-type: none"> TNA was conducted by the Project and TGO for target groups. <table border="1"> <thead> <tr> <th>TNA target</th> <th>Implementation time / method</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">GHG Inventory Management</td> </tr> <tr> <td>Thai Central Government</td> <td>August 2013 / Questionnaire November 2013 / Workshop</td> </tr> <tr> <td>ASEAN Stakeholders</td> <td>August 2014 / Questionnaire and workshop</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Low Carbon and Resilient Society Development</td> </tr> <tr> <td>Thai Central Government(Executives, Practitioners)</td> <td>June 2013 / Questionnaire August 2013 / Meeting</td> </tr> <tr> <td>Thai Local Government (Executives, Practitioners)</td> <td>August 2014 / Workshop</td> </tr> <tr> <td>ASEAN Stakeholders</td> <td>May 2014 / Questionnaire and workshop</td> </tr> <tr> <td>ASEAN countries (Central and Local government, Academics)</td> <td>June 2015 / Questionnaire and workshop</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Mitigation Mechanism</td> </tr> <tr> <td>ASEAN countries (Central and Local government, Academics)</td> <td>June 2015 / Questionnaire and workshop</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Sustainable GHG management</td> </tr> <tr> <td>ASEAN countries (Central and Local government, Academics, Private sector, Financial sector)</td> <td>October 2015 / Questionnaire and workshop</td> </tr> </tbody> </table>	TNA target	Implementation time / method	GHG Inventory Management		Thai Central Government	August 2013 / Questionnaire November 2013 / Workshop	ASEAN Stakeholders	August 2014 / Questionnaire and workshop	Low Carbon and Resilient Society Development		Thai Central Government(Executives, Practitioners)	June 2013 / Questionnaire August 2013 / Meeting	Thai Local Government (Executives, Practitioners)	August 2014 / Workshop	ASEAN Stakeholders	May 2014 / Questionnaire and workshop	ASEAN countries (Central and Local government, Academics)	June 2015 / Questionnaire and workshop	Mitigation Mechanism		ASEAN countries (Central and Local government, Academics)	June 2015 / Questionnaire and workshop	Sustainable GHG management		ASEAN countries (Central and Local government, Academics, Private sector, Financial sector)	October 2015 / Questionnaire and workshop
TNA target	Implementation time / method																										
GHG Inventory Management																											
Thai Central Government	August 2013 / Questionnaire November 2013 / Workshop																										
ASEAN Stakeholders	August 2014 / Questionnaire and workshop																										
Low Carbon and Resilient Society Development																											
Thai Central Government(Executives, Practitioners)	June 2013 / Questionnaire August 2013 / Meeting																										
Thai Local Government (Executives, Practitioners)	August 2014 / Workshop																										
ASEAN Stakeholders	May 2014 / Questionnaire and workshop																										
ASEAN countries (Central and Local government, Academics)	June 2015 / Questionnaire and workshop																										
Mitigation Mechanism																											
ASEAN countries (Central and Local government, Academics)	June 2015 / Questionnaire and workshop																										
Sustainable GHG management																											
ASEAN countries (Central and Local government, Academics, Private sector, Financial sector)	October 2015 / Questionnaire and workshop																										

71

C. Prasad

1-3. Identify training resources by coordinating stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries depending on the themes	<ul style="list-style-type: none"> Resources for the training for ASEAN countries have been identified, and networking has been promoted. The selection of lecturers and the development of the training curriculum have been conducted through interactions with concerned organizations, such as the National Institute for Environmental studies (NIES), the Institute for Global Environmental Strategies (IGES), the Low Carbon Asia Research Network (LoCARNet) and the Asia-Pacific Adaptation Network (APAN) 																																							
1-4. Develop curriculum (with Thai stakeholders or with international stakeholders depending on the themes)	<ul style="list-style-type: none"> Regarding “Low Carbon and Resilient Society Development”, training material and curriculum for 1) Thai Central Government (Executives), 2) Thai Central Government (Practitioners), 3) Thai Local Government (Practitioners) and 4) Thai Local Government (Executives) have been developed. The skills and know-how to develop the curriculum were learned by TGO staff. As to “Climate Finance”, the curriculum is under revision. The curricula of first two training courses for ASEAN countries, “Low Carbon and Resilient Society Development” and “Mitigation Mechanism” are also under revision through peer review meetings. Curricula for “GHG Inventory Management, for Thai Central Government Executives”, “Mitigation Mechanism for Thai Stakeholders”, “Sustainable GHG Management” and “Climate Change Economics” have been developed by external experts in Thailand. 																																							
1-5. Strengthen Information management system by developing information knowledge platform and website	<ul style="list-style-type: none"> As a platform for information dissemination and knowledge sharing in Thailand and ASEAN countries, the Portal site of CITC (http://citic.in.th/) has been launched by TGO. More contents, such as links with related organizations, will be added in the near future. The website will be regularly updated. E-learning system has been established by the CITC with technical support by JICA experts 																																							
Activity of Output 2																																								
2-1. Conduct trainings on selected topics for related stakeholders.	<ul style="list-style-type: none"> The following training courses were provided by the time of the terminal evaluation. <table border="1" data-bbox="603 1055 1369 1624"> <thead> <tr> <th colspan="2">GHG Inventory Management</th> <th>No. of Trainees</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Thai stakeholders</td> <td>Aug-Sep 2014, May 2015, July 2015</td> <td>143</td> </tr> <tr> <th colspan="2">Low Carbon and Resilient Society Development</th> <th>No. of Trainees</th> </tr> <tr> <td>Thai Local governments practitioners</td> <td>Dec 2014</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>Thai Local governments executives</td> <td>Mar 2015</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>Thai Central governments executives and practitioners</td> <td>Sep 2015</td> <td>37</td> </tr> <tr> <th colspan="2">Mitigation Mechanism</th> <th>No. of Trainees</th> </tr> <tr> <td>Thai stakeholders</td> <td>Sep 2015</td> <td>88</td> </tr> <tr> <th colspan="2">Climate Change Economics</th> <th>No. of Trainees</th> </tr> <tr> <td>Climate change economics (Thai)</td> <td>Mar 2015, May-Jun 2015</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td>426</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> These trainings will be provided by the end of the Project or after completion of the Project. <table border="1" data-bbox="603 1697 1369 1848"> <thead> <tr> <th colspan="2">GHG Inventory Management</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Thai Local governments practitioners</td> <td>Planned to be conducted after the completion of the Project</td> </tr> <tr> <td>ASEAN Central governments practitioners</td> <td>Planned to be conducted after the completion of the Project</td> </tr> </tbody> </table>	GHG Inventory Management		No. of Trainees	Thai stakeholders	Aug-Sep 2014, May 2015, July 2015	143	Low Carbon and Resilient Society Development		No. of Trainees	Thai Local governments practitioners	Dec 2014	38	Thai Local governments executives	Mar 2015	59	Thai Central governments executives and practitioners	Sep 2015	37	Mitigation Mechanism		No. of Trainees	Thai stakeholders	Sep 2015	88	Climate Change Economics		No. of Trainees	Climate change economics (Thai)	Mar 2015, May-Jun 2015	61	Total		426	GHG Inventory Management		Thai Local governments practitioners	Planned to be conducted after the completion of the Project	ASEAN Central governments practitioners	Planned to be conducted after the completion of the Project
GHG Inventory Management		No. of Trainees																																						
Thai stakeholders	Aug-Sep 2014, May 2015, July 2015	143																																						
Low Carbon and Resilient Society Development		No. of Trainees																																						
Thai Local governments practitioners	Dec 2014	38																																						
Thai Local governments executives	Mar 2015	59																																						
Thai Central governments executives and practitioners	Sep 2015	37																																						
Mitigation Mechanism		No. of Trainees																																						
Thai stakeholders	Sep 2015	88																																						
Climate Change Economics		No. of Trainees																																						
Climate change economics (Thai)	Mar 2015, May-Jun 2015	61																																						
Total		426																																						
GHG Inventory Management																																								
Thai Local governments practitioners	Planned to be conducted after the completion of the Project																																							
ASEAN Central governments practitioners	Planned to be conducted after the completion of the Project																																							

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">Climate Change Management for Sustainable Development²</td> </tr> <tr> <td>ASEAN Stakeholders</td> <td>29 February to 4 March 2016</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Mitigation Mechanism</td> </tr> <tr> <td>ASEAN stakeholders</td> <td>February, March 2016</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Sustainable GHG management</td> </tr> <tr> <td>Climate Finance (ASEAN)</td> <td>March 2016</td> </tr> </table>	Climate Change Management for Sustainable Development ²		ASEAN Stakeholders	29 February to 4 March 2016	Mitigation Mechanism		ASEAN stakeholders	February, March 2016	Sustainable GHG management		Climate Finance (ASEAN)	March 2016
Climate Change Management for Sustainable Development ²													
ASEAN Stakeholders	29 February to 4 March 2016												
Mitigation Mechanism													
ASEAN stakeholders	February, March 2016												
Sustainable GHG management													
Climate Finance (ASEAN)	March 2016												
2-2. Develop trainers through train the trainers (TTT) activities	<ul style="list-style-type: none"> In total 107 trainers are trained by TTT. TTT for “Greenhouse Gas Inventory” course was conducted in August 2014 and 19 trainers were trained. As to “Low Carbon and Resilient Society Development” course, 33 trainers were also developed through participation in TTT in December 2014. Thirteen (13) trainers were trained by TTT for “Climate Change Economics” and 42 trainers were trained by TTT for “Mitigation Mechanism” in 2015. 												
Activity of Output 3													
3-1. Develop training courses for ASEAN developing countries based on the needs assessment.	<ul style="list-style-type: none"> Needs assessment, curriculum development and training material preparation have been initiated for 3 training courses for ASEAN countries 1) Low Carbon and Resilient Society Development, 2) Mitigation Mechanism and 3) Sustainable GHG Management (Climate Finance) Skills and technique, such as TNA method, selection of TNA targets and preparation of questionnaire, were learned by TGO staff through “learning by doing”. 												
3-2. Organize workshops to share knowledge and experience on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries.	<ul style="list-style-type: none"> 1st Workshops for ASEAN stakeholder was held in Pattaya on 8 to 9 May 2014. Fifteen (15) officials from 8 ASEAN countries participated (Cambodia: 2, Indonesia: 2, Laos: 2, Malaysia: 1, Myanmar: 2, Philippine: 2, Thailand: 2, Vietnam: 2). 2nd Workshops for ASEAN stakeholder took place in Bangkok on 22 to 24 June 2015. Seventeen (17) officials from 8 ASEAN countries participated (Brunei:1 Cambodia: 2, Indonesia: 3, Laos: 4, Malaysia: 2, Myanmar: 3, Singapore:1, Vietnam:1). 												

3-3. Achievement of Outputs

3-3-1. Achievement of Output 1

Output 1:
CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations

Indicators 1-1 and 1-2 of the Output 1 have been achieved by the time of terminal evaluation, and Indicator 1-3 is expected to be achieved by the end of the Project. Regarding Indicator 1-1, the structure of CITC, action plan, strategy, service contents and profit planning are stated in the CITC business plan: 5 years plan (2015 – 2019). Indicator 1-2 has been achieved since a website of CITC was launched by TGO for the public as an information dissemination tool. The contents of the website are expected to be improved further. As to Indicator 1-3, training material and/or the presentation document are developed for 7 courses, and under revision for 3 courses.

² The course title was changed from “Low Carbon and Resilient Society Development” to “Climate Change Management for Sustainable Development” in November 2015

78

@. Prachin

Table 6: Preparation of the training materials

GHG Inventory Management	
Thai Central Government	Completed by Thai expert (English, Thai)
Thai Local Government	Postponed
ASEAN Central Government	Planned to be developed
ASEAN Local Government	Planned to be developed
Low Carbon and Resilient Society Development	
Thai Central Government (Executives)	Completed (Textbook: Thai, Presentation material: English, Thai)
Thai Central Government (Practitioners)	Completed (Textbook: Thai, Presentation material: English, Thai)
Thai Local Government (Practitioners)	Completed (English, Thai)
Thai Local Government (Executive)	Completed (English, Thai)
ASEAN Stakeholders	Under revision responding to the comment in peer review meeting
Mitigation Mechanism	
Thai Stakeholders	Completed by Thai expert (Thai)
ASEAN Stakeholders	Under revision responding to the comment in peer review meeting
Sustainable GHG management	
Climate change economics	Completed by Thai expert (Thai)
Climate finance	Under consideration for revision responding to the TNA

At the time of terminal evaluation, the training materials for the training courses for ASEAN stakeholders are under development, and will be completed by February 2016. The detailed information of the achievement of each verifiable indicator is as follow:

Indicators	Achievement
Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document.	Indicator 1-1 has been achieved. <ul style="list-style-type: none"> The structure of the CITC, action plan, strategy, service contents are stated in the latest version of Business Plan as approved by 3rd JCC in February 2015. Budget of the CITC is allocated by TGO and the budget allocation is described in the annual budget plan
Website-based knowledge platform for information dissemination is established.	Indicator 1-2 has been achieved. <ul style="list-style-type: none"> Website of CITC (http://citic.in.th/) has been launched by TGO. TGO regularly updates the contents of CITC website for information dissemination and knowledge sharing. The main contents of the web site as of the time of the terminal evaluation are ① Overview of CITC training programs and event schedule, ② Report of various CITC events (e.g. Conference of Parties (COP) side event and peer review meetings on CITC training courses) ③ Videos of various CITC events and interviews. The e-learning system was established at the end of 2015. JICA experts provide advice from technical aspect. TGO designed the system, established and modified the operation with TGO's budget.
Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses.	Indicator 1-3 is expected to be achieved. <ul style="list-style-type: none"> Training materials and/or the presentation documents are developed for 7 courses. At the time of terminal evaluation, the training materials for courses for ASEAN stakeholders are under development and will be completed by February 2016.

Y L

C. P. P.

3-3-2. Achievement of Output 2

Output 2:

Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.

Both Indicators have been achieved by the time of the terminal evaluation. 107 trainers has been trained by TTT for 4 courses: 19 trainers for GHG Inventory Management course, 33 trainers for Low Carbon and Resilient Society Development course, 13 trainers for Climate Change Economics course and 42 trainers for Mitigation Mechanism course. Through the implementation of TTT, a sufficient number of candidate trainers have been developed (Indicator 2-1).

A level of satisfaction of the trainees for Low Carbon and Resilient Society Development, which was implemented under the assistance by the Project, is high enough to achieve the target number (Indicator 2-2). Although other courses have not yet been provided for ASEAN stakeholders, a high degree of satisfaction is observed for previous training courses for Thai stakeholders. As steady progress is overserved on capacity development for the CITC staff in training management and curriculum development, training courses for ASEAN country are expected to be conducted in proper manner as well. The detailed information of the achievement of each verifiable indicator is as follow.

Indicators	Achievement																								
Trainers are developed for selected courses.	Indicator 2-1 has been achieved. · In total 107 persons participated in TTT, as indicated below.																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Curriculums</th> <th>Targets</th> <th>Date</th> <th>No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Greenhouse Gas Inventory</td> <td>Thai Central governments practitioners</td> <td>Aug-Sep 2014</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>Low Carbon and Resilient Society Development</td> <td>Thai Local governments practitioners</td> <td>Dec 2014</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>Climate Change Economics</td> <td>Thai Central governments</td> <td>Mar 2015 May-Jun 2015</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>Mitigation Mechanism</td> <td>Thai Central governments practitioners</td> <td>Sep 2015</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td></td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>	Curriculums	Targets	Date	No.	Greenhouse Gas Inventory	Thai Central governments practitioners	Aug-Sep 2014	19	Low Carbon and Resilient Society Development	Thai Local governments practitioners	Dec 2014	33	Climate Change Economics	Thai Central governments	Mar 2015 May-Jun 2015	13	Mitigation Mechanism	Thai Central governments practitioners	Sep 2015	42	Total			107
	Curriculums	Targets	Date	No.																					
	Greenhouse Gas Inventory	Thai Central governments practitioners	Aug-Sep 2014	19																					
	Low Carbon and Resilient Society Development	Thai Local governments practitioners	Dec 2014	33																					
	Climate Change Economics	Thai Central governments	Mar 2015 May-Jun 2015	13																					
Mitigation Mechanism	Thai Central governments practitioners	Sep 2015	42																						
Total			107																						

78

E. Prasanth

At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.	Indicator 2-2 has been achieved.		
	<ul style="list-style-type: none"> The indicator has been achieved for LCRS courses which were directly supported by the Project. While other courses for ASEAN stakeholder have not yet been provided, a high degree of satisfaction is observed for the previous training courses. As steady progress is observed on capacity development for the CITC staff in training management and training curriculum development through the TNA, the degree of satisfaction for other training courses is expected to be high as well. 		
	Low Carbon and Resilient Society Development		
	Training Course	Date	Score
	Thai Central Government (Executives)	31 August 2015	88% of trainees scored more than 4.0 (Average score 3.8)
Thai Central Government (Practitioners)	31 August 2015 to 2 September 2015		
Thai Local Government (Practitioners)	17 to 19 December 2014	100% of trainees scored more than 4.0 (Average score 4.7)	
Thai Local Government (Executives)	5 to 6 March 2015 / Workshop	100% of trainees scored more than 4.0 (Average score 4.5)	

3-3-3. Achievement of Output 3

Output 3:
Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.

Indicator 3-1 is expected to be achieved at the time of terminal evaluation. Workshops for ASEAN stakeholder were held in 8 to 9 May 2014 (1st Workshop) and 22 to 24 June 2015 (2nd Workshop). The 3rd Workshop will be held in March 2016. The Project also plans to provide training for ASEAN stakeholder in February and March 2016. The detailed information of the achievement of each verifiable indicator is as follow.

Indicators	Achievement
Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries	<p>Indicator 3-1 is expected to be achieved.</p> <ul style="list-style-type: none"> Workshops for ASEAN stakeholder took place twice (1st WS was held on 8 to 9 May 2014 and 2nd WS was held on 22 to 24 June 2015. 3rd WS is scheduled in March 2016) . The Project plans to provide 3 courses of training for ASEAN stakeholders, 1) Climate Change Management for Sustainable Development, 2) Mitigation Mechanism, 3) Sustainable GHG management (Climate Finance) in February and March 2016. Training curriculum was reviewed by ASEAN stakeholders at the peer review meeting and revised based on the finding at the meeting.

3-4. Achievement of Project Purpose

Project Purpose:
Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.

72

C. Prachin

The enhancement of the capacities of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, has been achieved, with room for further continuous improvement, with strong ownership and active involvement.

As to Indicator 1), the system of training management, knowledge and logistics are established by the assistance of the Project. In the preparation stage of training, TNA is carried out through seminars, workshops or questionnaire surveys. Curriculum and training materials are developed by the CITC and/or external experts on the basis of the needs assessment. Peer review for the curriculum is also conducted. Training is carried out utilizing logistic tools, such as logistic check sheet, and follow up activities are scheduled after the implementation of the training. Thus, the model of the whole process of the training management is established. The necessary information, documents, management tools, format and database are accumulated in the CITC. The capacity of the CITC staff has also been improved through the active involvement in the process of training implementation.

Although the CITC has already been capable to conduct training for Thai stakeholders, there is room for further improvement in the training for ASEAN stakeholder. The CITC staff has not yet been fully experienced in a series of procedures for implementation of international training. It is also challenging to develop curriculum on climate change by responding to the distinctive and evolving needs of ASEAN countries in a timely manner.

For the attainment of Indicator 2), networking among concerned bodies, such as national/ international organizations, research institutes and universities, has been in great progress for the implementation of training. TGO and JICA experts attended conferences on climate change and bilateral meetings in/outside of Thailand to strengthen the network. In addition, for the continuous cooperation after the completion of the Project, MoC (Memorandum of Cooperation) was signed by the CITC, Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC), Sirindhorn International Institute of Technology (SIIT), Prince of Songkla University (PSU) and The National Municipality League of Thailand (NMT). For the implementation of training for ASEAN stakeholders, it is also necessary to strengthen the network further with ASEAN countries.

Indicators	Achievement
1) Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established.	<p>Indicator 1) has been achieved with room for further continuous improvement.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The model of the whole process of the training management is established for Thai stakeholders. Necessary information, documents, management tools, format and database are accumulated in the CITC. • Through the implementation of the Project, a good progress has been made on the capacity development of TGO staff with their active involvement,

71

C. Pruek

	<p>including logistic skills.</p> <ul style="list-style-type: none"> • In order to set up the standard on training skills and methodology, the tools for training management, such as logistics check sheet, has been introduced. These tools will be modified by the CITC staff and are expected to be utilized after the completion of the Project for further improvement in the quality of their services.
2) Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.	<p>Indicator 2) has been achieved with room for further continuous improvement</p> <ul style="list-style-type: none"> • Network among concerned bodies, such as national/ international organizations, research institutes and universities, has been in great progress for the implementation of training. • Network building by utilization of LoCARNet researchers has been in progress through collaboration with NIES and IGES. The network enables TGO to reflect the latest international trend to the contents of the training. The network is expected to be utilized further for the establishment of collaboration among ASEAN countries. • MoC was signed by CITC, OECC, SIIT, PSU and NMT for the continuous cooperation and networking after the completion of the Project.

3-5. Prospective on Achievement of the Overall Goal

Overall Goal:
The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.

Necessary and important steps are being taken by the CITC with a positive prospect for Indicator 1) to be achieved several years after the completion of the Project if the CITC continues regional training and seminars for ASEAN countries. As mentioned in the previous section, regarding the capacity of the CITC, there is room for further continuous improvement to carry out training for ASEAN stakeholders.

Systems for training management and foundation of network have been established for both in and outside of Thailand. However, it is challenging to meet the dynamic and evolving needs concerning climate change. In addition, the CITC has not accumulated enough experiences on the preparation and implementation of training in response to various needs of ASEAN stakeholders. Although substantial efforts were taken by the CB team to acquire skills and knowledge for the implementation of training, further accumulation of experiences for the implementation of training is expected to enhance the function and recognition of the CITC as a training center on climate change in the ASEAN region.

With the support of the Project, the CITC gives emphasis to quality assurance and customer satisfaction for monitoring and evaluation for training courses, and it will be continued with even more efforts to meet the distinctive needs of the respective ASEAN countries.

Indicators	Achievement
1) Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC.	<p>Necessary and important steps are being taken by the CITC with a positive prospect for Indicator 1) to be achieved several years after the completion of the Project if the CITC continues the regional training and seminars for ASEAN countries. The CITC staff is accumulating experiences for the preparation and implementation of the training, workshops and seminars.</p> <ul style="list-style-type: none"> • TGO and JICA expert team disseminate information about the CITC and its activities to various stakeholders utilizing opportunities at climate change-related conferences and bilateral meetings in/outside of Thailand. • Networking among related organizations such as research institutes, universities, and international organizations is in great progress in order to sustain the activities of the CITC.

3-6. Implementation Process

No problem has been noted in daily communication between the JICA experts and the C/P personnel. Sufficient communication has been secured through positive efforts by both sides in response to the recommendation by the mid-term review.

3-7. Contributing and Constraining Factors

Main contributing and constraining factors of the Project implementation were identified as follow.

(1) Contributing Factor

Strong ownership of the Thai side for CITC should be noted. Budget has been secured for renovating the training facilities within the TGO, preparing publicity and PR materials, designing and printing of PR goods, holding workshops, attending events outside Thailand, engaging in networking activities, configuring e-learning system, developing training materials and so on.

(2) Constraining Factor

While human resources planning and development are one of the most important inputs to technical cooperation, the number of staff of the CB Team is limited.

4. Evaluation Results

4-1. Relevance: Very High

The Project is intended to develop the capacity on Mitigation / Adaptation for climate change in the Southeast Asia Region. The Project is highly consistent with the national policy and development needs of Thailand. The Project is also consistent with the regional policy and Japan's cooperation policy for Thailand.

(1) Consistency with National Policy

The Project is consistent with existing strategies and policies of Thailand related to capacity

development for climate change. In the Government's state policies, delivered by the Prime Minister on 12 September, 2014, the direction of the Thai government for regional networking is stated in the "Policy 7: Roles and Opportunities in ASEAN Community". The importance of the environment issues is also addressed in "Policy 9: Maintenance of natural resources security and balance between conservation and sustainable utilization". In addition, the 11th National Economic and Social Development Plan (NESDP) 2012-2016 proclaims greenhouse gas emission reduction, creating a low-carbon society and developing sustainable growth. Capacity building on climate change is also identified by the National Economic and Social Development Board (NESDB) as the key for the next NESDP 2017-2021. Thus, the Project is in line with the National plan. Furthermore, the Thai Climate Change Master Plan proclaims 3 major strategies: "Adaptation to climate changes", "Promotion of the GHG emissions reduction and low-carbon society" and "Capacity building for climate change control". The Project is consistent with this plan as well.

(2) Consistency with Regional Policies

The mission of the CITC for information sharing and capacity building for climate change Mitigation and Adaptation is consistent with the strategic objective of the "Roadmap for an ASEAN Community (2009 - 2015), which seeks to "enhance regional and international cooperation to address the issue of climate change and its impacts on socio-economic development, health and the environment, in ASEAN Member States through implementation of mitigation and adaptation measures, based on the principles of equity, flexibility, effectiveness, common but differentiated responsibilities, respective capabilities, as well as reflecting on different social and economic conditions." Moreover, one of the strategic measures for sustainable climate, as stated in the ASEAN Political-Security Community Blueprint 2025, is to "strengthen human and institutional capacity in implementing climate change Adaptation and Mitigation".

(3) Consistency with Assistance Policy of Japanese Government

The Project is in line with the "country assistance policy for the Kingdom of Thailand (2012)" of Japan. The priority areas include the environment and climate change. At the Plenary Session of the UN climate Summit in September 2014, the Japanese Prime Minister pledged to assist human resource development of 14,000 people in the area of climate change. The Project is consistent with this pledge.

4-2. Effectiveness: High

The enhancement of the capacity of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, have been achieved by the attaining of Output 1 to Output 3, with room for further continuous improvement

(1) Achievement of the Indicators of Project Purpose

As mentioned in “3-4. Achievement of the Project Purpose”, the Indicators 1) and 2) of the Project Purpose have been achieved with room for further continuous improvement. Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established, and the networking with relevant organizations is in great progress.

The workflow of the process of the training management is set up, and the CITC accumulates experiences of implementation. Necessary tools for training management are prepared and utilized as well. Capacity development for the CITC staff has progressed through their active participation in the Project activity. Networking among concerned bodies, such as national/ international organizations, research institutes and universities, has been in great progress for the implementation of training, as well as updating and development of curriculum and materials.

On the other hand, there is room for further continuous improvement. It is challenging to develop training curriculum in a timely manner in response to the dynamic and evolving needs related to climate change. In addition, the CITC staff needs to accumulate more experiences of managing a process of implementation of international training. For the implementation of training for ASEAN stakeholders, it is necessary to strengthen the network further.

4-3. Efficiency: Fair

The inputs by Japanese and Thai sides are generally adequate. However, there were some issues to be overcome.

(1) Efficiency of Input by Japanese side

For the achievement of outputs, a long-term expert and 9 short-term experts have been dispatched and committed to the Project activities with their expertise. Further effort was suggested by Thai side to set the timing of the dispatch of JICA experts in a more adequate manner. Equipment has been procured according to the necessity for the activities and used mostly in an effective manner. Training in Japan was provided to enhance skills and knowledge of Thai members.

(2) Efficiency of Input by Thai side

While human resources planning and development are one of the most important inputs to technical cooperation, the number of staff of the CB Team is limited. Office space with necessary equipment has been provided by Thai side for the JICA experts.

TL

Q. Project

4-4. Impact: High

As mentioned in "3-5. Prospective on Achievement of the Overall Goal", the prospect for the achievement of the Overall Goal is high with the continuous implementation by the CITC of regional training and seminars for ASEAN countries. During the Project period, the training management system and network are established for the training targeting Thailand stakeholders. However, it is still a challenge to meet dynamic and evolving needs for training on climate change. In addition, the CITC has not accumulated enough experiences on the preparation and implementation of training for ASEAN stakeholders.

Although the substantial efforts were taken by the CB team to acquire skills and knowledge for the implementation of training, further accumulation of experiences of the implementation of training is expected to enhance the function and recognition of the CITC as a training center on climate change in the ASEAN region. It is also important to monitor and evaluate the training to secure quality assurance and customer satisfaction. Thus, to achieve the Overall goal in 3 to 5 years after the completion of the Project, CITC is required to continue the effort for the implementation of programs targeting ASEAN countries with adequate work design and allocation of human and financial resources.

4-5. Sustainability: High

(1) Policy Aspect

The CITC mission is in line with Government's state policies, as delivered by the Prime Minister in September 2014. In addition, the Thai government recognizes the importance of training center for capacity development concerning climate change. The CITC was mentioned by the Prime Minister in December 2015 as a part of the key achievements of MONRE in 2015. In this occasion, CITC was recognized as a climate change knowledge hub for the ASEAN community. The targets of the CITC, as clearly stipulated in the MONRE action plan for important programmes, include ASEAN countries. The 5 years strategy of MONRE (2016-2022) also identifies TGO as an organization to track Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMA) and provide capacity building. All these policies, plan and strategy enhance the sustainability of the Project.

(2) Financial Aspect

Even after the completion of the Project, the CITC intends to continue and upgrade the capacity building activity with a strong sense of ownership, targeting Thai stakeholders and ASEAN countries. The CITC has a clear direction for the future. While budget support for the CITC continues to be expected given its consistency with the government priorities, the TGO gives emphasis on sound work design and associated human and financial resource planning.

JL

C. Proekt

(3) Organizational Aspect

While capacity building for climate change is increasingly important, the recognition of the CITC is being enhanced through its successful achievements in Thailand. However there is still a challenge to improve and/or develop training to meet dynamic and evolving needs in a timely manner.

Workflow for the training management is established during the Project implementation period. However, experiences of the CITC staff in training for ASEAN countries are not sufficient at this time. The accumulation of experiences through continuous implementation of training will contribute to upgrading the capacity of the CITC, thereby enhancing the sustainability.

(4) Technical Aspect

TGO staff are encouraged to share their expertise and collaborate across the different divisions and departments. Several TGO staff outside the CB Team have been involved in the CITC's activities according to their respective areas of expertise. Although TGO staff have technical expertise, their training skills need to be developed further to strengthen the in-house resource base and enhance the technical sustainability of the CITC.

(5) Sustainability of CITC's operation

The CITC has a mission to "Provide capacity development on climate change mitigation and adoption", "Promote climate change networking platform", and "Promote knowledge dissemination on climate change mitigation and adaptation". The CITC intends to pursue the mission not only for Thai stakeholders but also for ASEAN countries. With this respect, it is important to ensure adequate work design and the associated allocation of human and financial resources in order to secure the sustainability.

5. Conclusion

The Project has been carried out in Thailand for the purpose of enhancing capacity of TGO as focal point of CITC in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries. The relevance of the Project is evaluated to be very high, since the Project is highly consistent with the Thai national policy, the regional policy, and the assistance policy of Japanese Government. The effectiveness is rated to be high because the enhancement of capacity of TGO as focal point of CITC, as indicated in the Project purpose, has been achieved, with room for further continuous improvement. The efficiency of the Project is rated to be fair because there were some issues to be overcome regarding input of human resource to the Project. The impact of the Project is considered to be high, given the high prospect on achievement of the indicator for overall goal, "Regional trainings and

78

C. Prasanna

seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC”. The sustainability of the Project is rated to be high because the Project has already been aligned with the existing policies, while for the financial, technical and organizational aspects of sustainability, adequate human and financial resource allocation and continuous capacity building of C/P are required.

6. Recommendations and Lessons Learned

6-1. Recommendations

(1) Further Capacity Development of CITC Staff on Specific Issues

Thai side has strong willingness to expand CITC’s training activities including training courses for ASEAN countries even after the completion of the Project. They are planning to formulate concrete plan of future training courses based on careful examination of growing training needs both in Thailand and ASEAN countries, and to implement these training courses with appropriately allocated staff and budget.

For obtaining greater output from future training courses as above-mentioned, further capacity development of CITC staff for dealing with issues listed below is recommended.

- 1) Development of training curriculum by proactively responding to newly emerging training needs in association with international trend of climate change issues.
- 2) Further improvement in managing training courses for ASEAN countries, including training needs assessment with consideration to diversity of socio-economic and environmental conditions of ASEAN countries.
- 3) Quality assurance and customer satisfaction for monitoring and evaluation of training courses.

(2) Further Expansion of Network

It is highly recommended that the CITC will continuously expand its network with various concerned organizations in/outside of Thailand in order to strengthen its function as networking platform.

6-2. Lessons Learned

TGO was newly established in 2007, and the “Project for Capacity Development and Institutional Strengthening for GHG Mitigation in the Kingdom of Thailand” was conducted under the cooperation between TGO and JICA from 2010 to 2012. This was followed by the current Project, which has been implemented since 2013 with the aim of capacity development of climate change Mitigation and

C. Prasanna

Adaptation in the Southeast Asia region. Throughout these two phases of cooperation, TGO has been making solid progress by responding to the evolving needs of its wide range of stakeholders under the dynamic circumstances of the global and national agenda on climate change. With the strong willingness of the C/P to learn, in combination of the dedication and expertise of JICA experts, the technical cooperation has made significant contributions to the enhancement of the capacities of TGO and its stakeholders.

This is a case where the vision and mission of the C/P have been materialized to a great extent with technical assistance of JICA. This has been possible with the leadership of the C/P organization; their aspirations for continuous improvement; and a strong emphasis on quality assurance and customer satisfaction, among others. The importance of these qualitative attributes for the successful implementation of technical assistance is thus affirmed during this evaluation. This is applicable to other cases: The philosophy and the associated attributes of a C/P organization are among the key points to examine in the formulation and implementation of cooperation for capacity development.

72

C. Brant

ANNEX 1:PDM

Project Design Matrix

The Project for Capacity Development on Mitigation/ Adaptation for Climate Change in the Southeast Asia Region
 PDM version 1 (21 June 2014)
 Target area: Thailand and ASEAN developing countries
 Target group: TGO, Government agencies related to Climate Change
 Cooperation period: 2013- 2016, 3 years

<p>The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.</p>	<p>Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC.</p>	<p>Participants' evaluation sheets of the trainings and seminars.</p>	<p>ASEAN developing countries utilize the CITC for their own capacity building in further implementing Climate Actions.</p>
<p>Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.</p>	<p>Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established. Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.</p>	<p>Progress Report of the Project.</p>	<p>Thai government continues support of the CITC by securing budget and seeks strategic partners to sustain and expand activities.</p>
<p>1. CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document. Website-based knowledge platform for information dissemination is established. Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses. 	<ul style="list-style-type: none"> The CITC business plan Number of literatures/ documents uploaded on CITC website. Training materials for selected training courses. 	<ul style="list-style-type: none"> Related Thai government organizations sustain the support of climate change policy and coordinate with ASEAN developing countries. ASEAN developing countries participate trainings, and collaborate by providing experiences of their own countries.
<p>2. Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Trainers are developed for selected courses. At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents. 	<ul style="list-style-type: none"> Trainer database. Evaluation sheets of participants Record of training contents and participants 	
<p>3. Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries 	<ul style="list-style-type: none"> Progress Reports of the Project Reports of seminar/ workshop/ training 	

C. Prach

78

Activities	Long-term and Short-term experts on specific technical issues	Project Director Project Manager Project Coordinator Relevant counterparts	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-1 Set-up institutional framework of the CITC.	Long-term and Short-term experts on specific technical issues	1) Project Director	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-2 Conduct needs assessment on target groups in Thailand (governments, and non-governments) and ASEAN focal points of climate change.	1) Team Leader	2) Project Manager	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-3 Identify training resources by coordinating stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries depending on the themes	2) LCS	3) Project Coordinator	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-4 Develop curriculum (with Thai stakeholders or with international stakeholders depending on the themes)	3) Mitigation	4) Relevant counterparts	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
1-5 Strengthen information management system by developing information knowledge platform and website	4) Adaptation	<Office space and facilities> Office space in TGO	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
2-1 Conduct trainings on selected topics for related stakeholders.	5) GHG Inventory	Training facility	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
2-2 Develop trainers through train the trainers (TTT) activities	6) Curriculum development and training management	<Operational cost> Necessary expenses for local trainings, meetings and operation cost for activities identified in the Project.	Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
3-1 Develop training courses for ASEAN developing countries based on the needs assessment.	Local consultants (curriculum development, etc.)		Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.
3-2 Organize workshops to share knowledge and experience on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries	<Machinery and equipment> Scanner, notebook, LCD projector, electronic active board, video camera, TV monitor, and training equipment such as analytical tools where needed. <Training> Trainings in Japan. Part of necessary expenses for trainings in Thailand, meetings and operation cost for activities identified in the Project.		Stakeholders in Thailand as well as in ASEAN developing countries acknowledge to the CITC concept.

O. P. P. P.

ANNEX 2: PO

Plan of Operation

Work Item	2013												2014												2015												2016											
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
(Output 1) Preparation for establishment of CMC through collaboration among IGO and relevant organizations																																																
Set up institutional framework of the CMC	■												■												■												■											
Conduct needs assessment on target groups in Thailand and ASEAN focal points of climate change	■												■												■												■											
Identify training resources	■												■												■												■											
Develop training curriculum and train materials	■												■												■												■											
Strengthen information management system by developing LCS information knowledge platform and website	■												■												■												■											
(Output 2) Implementation of training on climate change mitigation/adaptation																																																
Develop and Conduct Comprehensive Course on Low Carbon Society	■												■												■												■											
Develop and Conduct Comprehensive Course on GHG Inventory	■												■												■												■											
Monitoring of capacity development progress	■												■												■												■											
Preparation and Implementation of Training in Japan	■												■												■												■											
(Output 3) Capacity development program on mitigation/adaptation shared among ASEAN developing countries																																																
Develop specific training course for ASEAN developing countries based on the needs assessment	■												■												■												■											
Organize workshop to share the knowledge and experiences on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries	■												■												■												■											
Preparation work and reporting																																																
Conduct Joint Coordinating Committee and Steering Committee	■												■												■												■											
Conduct capacity assessment for TGO staff	■												■												■												■											
Preparation of Progress Report (No.1 to No.5)	■												■												■												■											
Mid-term review and Terminal evaluation	■												■												■												■											
Prepare Project Completion Report	■												■												■												■											

- Legends : ■ Work in Thailand
□ Activities in Japan
△ Submission of the Reports

C. Pradee

ANNEX 3: Evaluation Grid

The Project for Capacity Development on Mitigation / Adaptation for Climate Change in the Southeast Asia Region

I. Achievements of the Project

Main Category	Evaluation Item	Indicator/Evaluation Questions	Source of Information
	Sub-Category		
1. Inputs	Are the inputs from Japanese side (Experts, Equipment, Training and Budget) implemented as planned?	1) Japanese Experts	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project List of Expert
		2) Counterparts training	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project List of trainee (Training)
		3) Equipment	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project List of Equipment
		4) Local cost of project activities	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project
2. Achievement of Outputs	Are the inputs from Thai side (CP, Office space / facility, Budget) implemented as planned?	1) Allocation of counterpart personnel	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project List of Counterpart
		2) Provision of the project office and facilities necessary for the project implementation.	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project Direct observation
		3) Other cost	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project Budget plan of Thai side
2. Achievement of Outputs	<p>Output 1 CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations.</p>	Indicators:	<ul style="list-style-type: none"> CITC business plan Reports of the Project Questionnaire
		1-1. Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document.	<ul style="list-style-type: none"> Website Reports of the Project Questionnaire
		1-2. Website-based knowledge platform for information dissemination is established.	<ul style="list-style-type: none"> Curriculum Reports of the Project Questionnaire
2. Achievement of Outputs	<p>Output 2 Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.</p>	1-3. Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses.	<ul style="list-style-type: none"> Reports of the Project Questionnaire Training reports
		2-1. Trainers are developed for selected courses.	<ul style="list-style-type: none"> Reports of the Project Questionnaire Training reports
		2-2. At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.	<ul style="list-style-type: none"> Reports of the Project Questionnaire Training reports

C. Panch

ANNEX 3: Evaluation Grid

Main Category	Evaluation Item Sub-Category	Indicator / Evaluation Questions	Source of Information
	Output 3 Capacity development program on Mitigation/Adaptation are shared among ASEAN countries.	3-1. Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries	<ul style="list-style-type: none"> • Reports of the Project • Questionnaire • Record and/or Report of Seminar, Workshop and Training
3. Achievement of Project Purpose	Project Purpose Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.	1) Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established. 2) Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.	<ul style="list-style-type: none"> • Reports of the Project • Questionnaire • Interview with Thai and Japanese members • Reports of the Project • Questionnaire • Interview with Thai and Japanese members
4. Prospective on Achievement of the Overall Goal	Overall Goal The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.	1) Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC.	<ul style="list-style-type: none"> • Reports of the Project • Questionnaire • Interview with Thai and Japanese members

II. Process of the Project Implementation

Main Category	Evaluation Item Sub-Category	Evaluation Questions	Source of Information
	Activities of output 1	1-1. Set-up institutional framework of the CITC.	<ul style="list-style-type: none"> • Project document • Interview with Thai and Japanese members
1. Implementation of planned activities		1-2. Conduct needs assessment on target groups in Thailand (governments, and non-governments) and ASEAN focal points of climate change. 1-3. Identify training resources by coordinating stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries depending on the themes	<ul style="list-style-type: none"> • Project document • Interview with Thai and Japanese members • Project document • Interview with Thai and Japanese members • Project document • Interview with Thai and Japanese members

C. Pravee

ANNEX 3: Evaluation Grid

Main Category	Evaluation Item		Evaluation Questions	Source of Information
		Sub-Category		
			<p>1-4. Develop curriculum (with Thai stakeholders or with international stakeholders depending on the themes)</p> <p>1-5. Strengthen Information management system by developing information knowledge platform and website</p> <p>2-1. Conduct trainings on selected topics for related stakeholders.</p> <p>2-2. Develop trainers through train the trainers (TTT) activities</p> <p>3-1. Develop training courses for ASEAN developing countries based on the needs assessment.</p> <p>- Are there any problems in technical transfer?</p> <p>- Validity of activity change</p> <p>- Have regular meeting and/or JCC held at regular interval and worked for issue resolution?</p> <p>- Have the Project team and counterpart sufficiently communicated with each other to share information?</p> <p>- Have the system for chain command and division of roles been established?</p> <p>- Have the counterparts actively participated to the Project activities?</p> <p>- Has the Thai Government allocated sufficient budget for the Project activities?</p>	<ul style="list-style-type: none"> Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Records of Meeting and JCC Interview with Thai and Japanese members Project document Interview with Thai and Japanese members Budget plan of Thai
2. Technical transfer		Activities of output 2		
		Activities of output 3		
3. Change of activities		Method of technical transfer		
		Addition and deletion of activities		
4. Relationship with stakeholders		Relationship among the Project team, between project team and stakeholder		
5. Ownership		Ownership of CP organizations		

P. Prachin

ANNEX 3: Evaluation Grid

Evaluation Item		Evaluation Questions	Source of Information
Main Category	Sub-Category		
6. Monitoring and evaluation	Result of monitoring and achievement of the Project	- Are there monitoring and feedback system?	<ul style="list-style-type: none"> Project document Interview with Thai and Japanese members
	Factors affecting the Implementation Process	- Are there any factor affecting the implementation of the Project? (Implementation structure, policy, social environment, etc.)	<ul style="list-style-type: none"> Project document Interview with Thai and Japanese members
7. Inhibiting and constraining factors			

III. Five evaluation criteria

Evaluation Item		Evaluation Questions	Source of Information
Evaluational Category	Evaluational Items		
Relevance	1. Priorities in relevant national policies of Thai	- Consistency with following policies and plans The 11 th National Economic and Social Development Plan 2012-2016 Thailand's Climate Change Master Plan 2014-2050 etc.	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members Policy document of Thai
	2. Necessity	- Needs of Thailand, ASEAN and other beneficiaries.	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members Questionnaire
	3. Appropriateness of the project approaches	- Is the number and capacity of CP appropriate? - Do they have adequate experiences and capacity for the Project activities? - Example that use of superiority Japanese technology.	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members List of Counterpart Questionnaire
	4. Conformity to ODA policies of the Japanese government	Superiority of Japanese technology Consistency with the priorities in Japanese ODA	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Japanese members Country Assistance Policy for the Kingdom of Thailand Rolling plan for the Kingdom of Thailand
Effectiveness	1. Achievement of the Project purpose	- Probability of achievement of the project purpose when referring to a status of the objectively verifiable indicators	<ul style="list-style-type: none"> Project Documents Interview with Thai and Japanese members Questionnaire
		- Constraints to hinder achievement of the project purpose, if any	<ul style="list-style-type: none"> Project Documents Interview with Thai and Japanese members Questionnaire

P. Prach

ANNEX 3: Evaluation Grid

Evaluation Items Category	Evaluation Items	Evaluation Questions	Source of Information
2. Causal relation "from outputs to project purpose"	Contribution of outputs for achieving the project purpose	- Contribution of outputs on the basis of achievement of the verifiable indicators for achieving the project purpose	<ul style="list-style-type: none"> Project Documents Interview with Thai and Japanese members Questionnaire
	External conditions to affect achievement of the project purpose	- Is external condition satisfied? - Other external conditions	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members Questionnaire Interview with Thai and Japanese members
1. Progress of the inputs	Situation of the progress of the inputs	- Japanese side : Dispatch of the experts, Provision of equipment, Training in Japan, Local cost - Thai side: Allocation of CP, Project cost	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project Records of dispatch of Japanese Expert Input of the Project
	Appropriateness of the inputs	- Appropriateness of the field of the experts, Satisfaction level of participants of the trainings, utilization of result of the Project	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project Training Report Questionnaire
2. Achievement of the output	Achievement of the output	- Situation of achievement of the outputs	<ul style="list-style-type: none"> Reports of the Project Interview with Thai and Japanese members Questionnaire
3. Causal relationship between the inputs and the outputs of the activities	Appropriateness of inputs for achieving outputs	- The excess and deficiency in resources of the Project such as human resources.	<ul style="list-style-type: none"> Input of the Project Interview with Thai and Japanese members Questionnaire
	Do the situations in outside of the Project have any effects?	- Are the external conditions?	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members
4. Coordination with other projects	Collaboration with other JICA project and other cooperation project.	- Cooperation and synergy effects with other JICA project	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Japanese members Questionnaire
	Collaboration with other cooperation partners.	- Cooperation and synergy effects with projects implemented by other donors	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Japanese members Questionnaire
1. Probability of achievement of the overall goal	Probability of achievement of the overall goal	- Prospect of achievement of the overall goal	<ul style="list-style-type: none"> Reports of the Project Questionnaire
	Factors that may promote or hinder generation of the overall goal	- Is there high possibility that the external conditions are satisfied?	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Japanese members Questionnaire
Overall goal	Constraining factor for achievement of Overall goal	- Factors inhibit or promote the achievement of overall goal	<ul style="list-style-type: none"> Interview with Thai and Japanese members Questionnaire

C. Prasanna

78

ANNEX 3: Evaluation Grid

Evaluation Items Category	Evaluation Items	Evaluation Questions	Source of Information
2. Casual relationship	Relationship between overall goal and project purpose	<ul style="list-style-type: none"> - Isn't there significant gap between the Overall Goal and the Project purpose? Does the achievement of the Project purpose contribute the achievement of the Overall Goal? 	<ul style="list-style-type: none"> • Project Documents • Interview with Thai and Japanese members
3. Spillover effects: positive	Positive impact	<ul style="list-style-type: none"> - Are there any positive impacts of the Project? 	<ul style="list-style-type: none"> • Project Documents • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
4. Spillover effects: negative	Negative impact	<ul style="list-style-type: none"> - Are there any negative impacts of the Project? 	<ul style="list-style-type: none"> • Project Documents • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
1. Political aspect	Policies in the post project stage	<ul style="list-style-type: none"> - Possibility of continuation of political assistance in post project stage. 	<ul style="list-style-type: none"> • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
2. Institutional aspect	Institutional capacity of CPs continue the activities in the post project stage	<ul style="list-style-type: none"> - Structure to continue the activities by CITC in post project stage. 	<ul style="list-style-type: none"> • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
3. Financial aspect	Cost estimation for undertaking the necessary activities that should be continued in the post project stage	<ul style="list-style-type: none"> - Possibility of continuation of budget allocation for the activities in post project stage. 	<ul style="list-style-type: none"> • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
4. Technical aspect	Technical capacity of the CP staff to undertake necessary tasks that should be continued in the post project stage	<ul style="list-style-type: none"> - Situation of utilization of techniques and result of the Project. 	<ul style="list-style-type: none"> • Interview with Thai and Japanese members • Questionnaire
Sustainability			

C. Prach

Annex 4: Input by Japanese side

1. List of Japanese Expert

(1) Long term expert

Assignment	Name
Climate Change Policies / Human Resources Development	Mr. Satoshi Iemoto

(2) Short term experts

Assignment	Name
Team Leader/ Climate Change Policy	Mr. Masahiko Fujimoto
Low Carbon Development 1	Dr. Kazuhito Yamada
Low Carbon Development 2/ Mitigation Measures 2/ Curriculum Development 3	Mr. Tetsuya Yoshida
GHG Inventory	Mr. Hitoshi Suzuki
Adaptation Measures/ Mitigation Measures 1	Dr. Mariko Fujimori
Curriculum Development 1	Ms. Tomoko Ishikawa
Training Management 2/ Curriculum Development 2	Mr. Kentaro Ofuji
Administrator/ Training Management 1	Mr. Wataru Morimoto
Business Plan	Mr. Darnp Phadungsri

Annex 4: Input by Japanese side

2. Training in Japan

1) Capacity Development for Establishment of CITC (1)

a) Period: 2013/11/25-2013/12/7

b) Participants

	Name	Position (at the time of training)
1	Dr. Jakkaniit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
2	Dr. Natarika Wayuparb	Director, Strategy Office, TGO
3	Ms. Natchanan Wathanachinda	Assistant Senior Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
4	Ms. Wiriya Puntub	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Ms. Benya Nuengdee	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
6	Ms. Bussabongkot Deewaja	Assistant Senior Official, Strategy Office, TGO
7	Ms. Phakamon Supappunt	Senior Official, Carbon Business Office, TGO
8	Ms. Neeracha Tridech	Assistant Senior Official, Approval and Monitoring Office, TGO
9	Ms. Wararat Cha-umkruea	Assistant Senior Official, Greenhouse Gas Information Center, TGO

2) Capacity Development for Establishment of CITC (2)

a) Period: 2014/1/15-2014/1/22

b) Participants

	Name	Position (at the time of training)
1	Mr. Sunthad Somchevita	Chairman of the Board of Directors, TGO
2	Dr. Damrong Sripraram	Member of the Board of Directors, TGO
3	Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Deputy Executive Director and Acting Executive Director, TGO
4	Dr. Jakkaniit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Mr. Sakol Thinagul	Deputy Director General, Department of Environmental Quality, Promotion, Thailand (DEQP), Ministry of Natural Resources and Environment (MONRE)
6	Dr. Jirapa Inthisang Trochim	Division Director, Office of Agriculture Economics (OAE), Ministry of Agriculture and Cooperatives

Annex 4: Input by Japanese side

3) Training on low carbon and resilient society development and promotion at a local level

a) Period:2015/1/19-2015/1/30

b) Participants

	Name	Position (at the time of training)
1	Dr. Jakkanit Kananurak	Capacity Building and Outreach Office, TGO/ Director
2	Ms. Apaphatch Hunsiritrakun	Capacity Building and Outreach Office, TGO
3	Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Capacity Building and Outreach Office, TGO
4	Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Ms. Nateera Kanjawatkul	Capacity Building and Outreach Office, TGO
6	Mr. Pisanupon Sanguannual	Strategy Office, TGO
7	Mr. Somchai Chariyacharoen	Environment Division, National Municipality League of Thailand (NMT)/ Working Group Committee Member
8	Dr. Chanisada Choosuk	Faculty of Environmental Management, Prince of Songkla University/ Assistant Professor
9	Mr. Arthorn Ukkati	Division of Public Health and Environment, Yantakhao Municipality/ Director of Division of Public Health and Environment
10	Mr. Phuchong Mahawongsanun	Division of Public Health and Environment, Municipality of Huaikaokum, Chun District, Phayao Province/ Director 11of Public Health and Environment
11	Mr. Chawalit Hongyon	Bureau of Public Work, Khon Kaen Municipality/ Environmental Engineer
12	Mr. Thanakhom Thammachuen	Public Health and Environment Department, Salaklang Municipality/ Chief of Public Health and Environment Div.

7d

E. Anach

Annex 4: Input by Japanese side

3. Provision of equipment

The equipment requested by TGO as stipulated in the Minutes of Meeting of Inception Report has been provided to Thai side in 2013 as shown below. TV monitors were provided during the dispatch period of JICA Expert Team in 2014.

Item	Specifications	Number of unit	THB	JPY
Laptop computer	Dell Vostro 3360 Microsoft Windows 7 Professional SP1 32bit MS Office trial McAfee Security Center 15 month subscription	2 units	56,000	176,000
Scanner	N6310 HP Scanjet N6310 Document Flatbed Scanner (L2700A)	1 unit	23,000	72,000
LCD projector (for electronic active board)	GYGAR LW24	1 unit	64,500	203,000
Electronic active board	GYGAR E-7881	1 unit	70,000	220,000
Video recorder sets (camera for recording)	6094B003AA HF M56(EU)	1 unit	20,500	62,000
TV monitor sets (2014)	TV LED 48" SONY KDL-48R470B	2 units	64,000	199,000
Total	-	-	298,000	932,000

Annex 4: Input by Japanese side

4. Operational Costs

Short-term Expert Team

Item	Amount (2013)		Amount (2014)		Amount (2015)	
	THB	(JPY)	THB	(JPY)	THB	(JPY)
Training cost*	15,600	49,000	730,000	2,288,000	4,139,000	14,505,000
Training materials development**	0	0	667,000	2,080,000	76,000	267,000
Workshop cost***	0	0	734,100	2,290,000	4,023,000	14,099,000
Equipment for TGO	302,000	943,000	202,000	630,000	0	0
Local cost (local staff, transportation and communication)	349,500	1,090,000	1,410,800	4,401,000	968,000	3,393,000
Sub Total	667,100	2,082,000	3,743,900	11,689,000	9,206,000	32,264,000
Total	Total 27,388,000 THB					

* Including expected cost for training from January to March 2016

** Including local consultants cost and expected cost from January to March 2016

*** Including expected cost for workshop in March 2016

7d

C. Prasad

ANNEX 5: Input by Thai side

List of Counterparts

No	Name	Current Title	Department
1	Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director	-
2	Dr. Natarika Wayuparb	Deputy Executive Director	-
3	Dr. Jakkanit Kananurak	Director	Capacity Building and Outreach Office
4	Ms. Nareerat Thanakasem	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
5	Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
6	Ms. Apaphatch Hunsiritrakun	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
7	Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
8	Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong	Technical Expert	Capacity Building and Outreach Office
9	Ms. Tanawan Kaomoon	Researcher	Capacity Building and Outreach Office
10	Ms. Ranida Panthong	Researcher	Capacity Building and Outreach Office
11	Ms. Sithanee Yuthasinsawee	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
12	Mr. Siripong Kerdsawang	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
13	Mr. Nutchra Rotjanasom	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
14	Mr. Pisanupon Sanguannual	Director	Strategy Office
15	Dr. Paweena Panichayapichet	Manager	Approval and Monitoring Office
16	Ms. Sumon Sumetchoengprachya	Director	Carbon Business Office
17	Ms. Pakamon Supappunt	Manager	Carbon Business Office
18	Mr. Thada Varoonchotikul	Technical Expert	Carbon Business Office
19	Mr. Chessada Sakulku	Director	Greenhouse Gas Information Center

ANNEX 6: Progress of Training Courses

Course title	Target group	Training Needs Assessment	Curriculum Development and Training Material Development	Training Program (Number of participants)
GHG Inventory Management (GHGI)	Thai central government	Questionnaire survey was conducted in August 2013 and workshop was held in November 2013 for implementers.	Curriculum and materials were developed by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University). Curriculum and training materials were reviewed by Greenhouse Gas Inventory Office (GIO) of Japan.	Training was conducted three times by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University) in August 2014, May 2015, and July 2015 (total 143 participants).
GHG Inventory Management (GHGI): TTT	Thai central government	-	Curriculum and materials were developed by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University).	TTT course was conducted by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University) in August 2014 (19 trainers).
Low Carbon and Resilient Society Development (LCRS)	Thai central government executive	Questionnaire survey was conducted in June 2013 and workshop was held in September 2013 for both central government executives and practitioners.	Curriculum and materials were developed by JICA Expert Team and subcontracted Thai experts (AIT, Thai Research Fund for textbook, various government agencies including NESDB and ONEP for presentation materials).	Training was conducted by CITC with the support from JICA Expert Team in August 2015.
Low Carbon and Resilient Society Development (LCRS)	Thai central government practitioners			Training was conducted by CITC with the support from JICA Expert Team in August and September 2015.
Low Carbon and Resilient Society Development (LCRS)	Thai Local government executives	Participatory workshop was organized by TGO in August 2013 and October 2014 for local government practitioners.	Curriculum was developed by TGO with the support from JICA Expert Team, while training materials were developed by JICA Expert Team and Thai experts (King Mongkut's University of Technology Thonburi (JGSEE) and AIT). Various central government agencies and local municipalities provided presentation training materials.	Training program was conducted by CITC with the support from JICA Expert Team in March 2015 (59 participants).
Low Carbon and Resilient Society Development (LCRS)	Thai Local government practitioners	Workshops in 4 regions (North, South, East and West) in Thailand were held in November 2014 (405 participants) for Thai local government executives and practitioners.		Training program was conducted by CITC with the support from JICA Expert Team in December 2014 (38 participants).
Climate Change Management for Sustainable Development (CCSD) (formerly LCRS)	Thai stakeholders (central and local government, private, academia)	Utilize the result from abovementioned TNA activities and feedback from trainees who participated in the past trainings)	Curriculum was developed by TGO and training materials were developed by subcontracted Thai experts (Naresuan University and other agencies).	Training will be conducted by TGO with limited support from JICA Expert Team in January 2016.
Low Carbon and Resilient Society Development (LCRS): TTT	Thai Local government practitioners	-	Curriculum and materials were developed by TGO and JICA Expert Team.	TTT course was conducted by TGO in December 2014 (9 trainers).

C. Prant

ANNEX 6: Progress of Training Courses

Course title	Target group	Training Needs Assessment	Curriculum Development and Training Material Development	Training Program (Number of participants)
Mitigation Mechanism (MM)	Thai stakeholders	Questionnaire survey was and workshops in 4 regions (North, South, East and West) in Thailand were held in November 2014 (405 participants) for Thai local government executives and practitioners.	Curriculum and materials were developed by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University).	Training was conducted by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University) in September 2015 (88 participants).
Sustainable GHG Management (Climate Change and Economics)	Thai central government	Questionnaire survey was conducted in August 2014.	Curriculum and training materials were developed by subcontracted Thai experts (Thammasat University).	Training was conducted twice by subcontracted Thai experts (Thammasat University) in March 2015, and May-June 2015 (total 61 participants).
GHG Inventory Management (GHGI)	ASEAN participants	Questionnaire survey and workshop were conducted in August 2014.	To be developed in Thai fiscal year 2017.	To be conducted in Thai fiscal year 2017.
Climate Change Management for Sustainable Development (CCSD)	ASEAN central government	Questionnaire survey and workshop were conducted in May 2014. Peer review meeting was conducted in October 2015.	Curriculum was developed by IGO with the support from JICA Expert Team. Training materials were under development by JICA Expert Team and Thai and international experts.	To be conducted in February/ March 2016.
Mitigation Mechanism (MM)	ASEAN stakeholders		Curriculum was developed by IGO with the support from JICA Expert Team. Training materials were under development by JICA Expert Team and Thai and international experts.	To be conducted in March 2016.
Sustainable GHG Management (Climate Finance)	ASEAN stakeholders	TNA workshop was conducted in October 2015.	Curriculum was developed by IGO with the support from JICA Expert Team. Training materials were under development by JICA Expert Team and international experts.	To be conducted in March 2016.

72

C. Prach

